

第 6 次 余市町社会教育中期計画

計画期間：2019 年度 ~ 2023 年度

余市町教育委員会

目 次

第1章 第6次余市町社会教育中期計画の基本的観点	
計画策定の意義	1
計画の策定期間	1
計画の内容	1
第2章 社会教育推進のための目標	
余市町民憲章	2
第4次余市町総合計画の基本理念	2
第6次余市町社会教育推進目標	2
推進の重点	2
推進の視点	2
対象別推進目標	3
第3章 対象別における現状と課題	
1 青少年教育	4
2 成人教育	5
3 高齢者教育	6
4 子育て支援・家庭教育	7
5 条件整備	8
6 文化活動	9
7 文化財	10
8 スポーツ・健康づくり	11
第4章 対象別推進目標と振興方策	
1 青少年教育	12
2 成人教育	14
3 高齢者教育	16
4 子育て支援・家庭教育	18
5 条件整備	20
6 文化活動	22
7 文化財	24
8 スポーツ・健康づくり	25
資 料	
「社会教育に関する利用者意識調査」集計結果の概要	29
パブリックコメントの結果について	67

第1章 第6次余市町社会教育中期計画の基本的観点

◎ 計画策定の意義

余市町は、平成24年度から「住み良く安心して暮らせる元気なまち」を基本理念に据えて「第4次余市町総合計画」に基づき、まちづくりを進めております。

余市町教育委員会では、この総合計画の基本構想をもとに、第5次余市町社会教育中期計画（平成26年度～平成30年度）を策定し、各種事業の実施、社会教育関係団体の育成や社会教育関連施設の充実を図るなど、余市町の社会教育の推進に努めてまいりました。

この間、「余市町社会教育推進計画」を毎年策定し事業を実施しておりますが、著しい人口減少や少子高齢化など、地域社会の変化に対応した生涯学習がますます重要になっています。

のことから、ライフステージに応じた、多様なニーズに対応する環境づくりを、地域住民と共に活動を推進し、町民が学習した成果を社会に活かし、幸せを実感できる生涯学習社会を実現することが必要です。

本年度、その計画が最終年度を迎えるにあたり、余市町総合計画の基本構想の概念を基盤に置き、本町の社会教育の現状と課題を踏まえ、生涯学習の観点に立った「第6次余市町社会教育中期計画」を策定するものです。

◎ 計画の策定期間

2019年度から2023年度までの5年間

◎ 計画の内容

この計画は、本年度まで推進してきた「第5次余市町社会教育中期計画」の反省と評価及びこれまでの現状と問題点を整理し、その中から余市町社会教育推進上の基本的課題を明らかにした上で、余市町民憲章・余市町総合計画との整合性を図り、生涯学習の観点に立った分野・対象領域ごとの推進目標及び施策を示したものです。

計画は、今後5年間の社会教育行政の役割を示すのですが、施策に対する具体的な取組みや事業については、「具体的な施策」を基本に社会情勢の変化や町民のニーズ、財政状況などに応じ、弾力的に見直しを図りながら単年度推進計画において策定するものとします。

○ 対象・領域の区分

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1 青少年教育 | 2 成人教育 | 3 高齢者教育 |
| 4 子育て支援・家庭教育 | 5 条件整備 | 6 文化活動 |
| 7 文化財 | 8 スポーツ・健康づくり | |

第2章 社会教育推進のための目標

余市町民憲章

わたしたちは、青い海と、香りゆたかな、果樹園の丘に囲まれた、余市町民です。

- 1、みんなで親切をつくし、きまりをまもり、明るいまちをつくりましょう
- 2、みんなで元気にはたらき、産業をさかんにし、豊かなまちをつくりましょう
- 3、みんなで自然に親しみ、健康で、美しいまちをつくりましょう
- 4、みんなで郷土を愛し、教養を高め、清新な文化のまちをつくりましょう
- 5、みんなで力をあわせ、希望あふれる、伸びゆくまちをつくりましょう

◇ 第4次余市町総合計画の基本理念 ◇

住み良く安心して暮らせる元気なまち

◇ 第6次余市町社会教育推進目標 ◇

健やかな心身を育み、やさしさと生きがいが実感できる社会教育の推進

◇ 推進の重点 ◇

- 1 家庭・地域が連携し、生きる力を育む青少年の健全育成
- 2 心豊かに健康で生きがいのある人生を送る学習機会の支援
- 3 健康で生きがいのある生活に繋がるスポーツ・健康づくりの支援
- 4 自然や地域の特性を生かした幅広い生涯学習の推進

◇ 推進の視点 ◇

- 1 多様化、高度化したニーズに対応する施策の実施
- 2 関係機関、団体との連携強化による施策の実現
- 3 住民の主体的な学習活動と社会貢献に対する支援
- 4 効率的な施設運営や効果的な情報提供による学習環境の整備

対象別推進目標

1. 青少年教育

青少年の豊かな心と健やかな身体を育くみ、創造と感性を磨く環境の整備

2. 成人教育

学習で得た成果が地域活動や社会貢献へ繋がる環境整備の推進

3. 高齢者教育

高齢者が知識や経験を活かせる機会の拡充と生きがいづくりとなる学習機会の推進

4. 子育て支援・家庭教育

家庭と地域の教育力の向上と子育て支援の充実

5. 条件整備

教養・文化・スポーツ各分野における町民ニーズに適応した支援体制の整備

6. 文化活動

芸術文化活動を通じ感性を磨くための事業の充実と環境整備の推進

7. 文化財

文化財の保存・継承を図り地域財産とその活用の推進

8. スポーツ・健康づくり

生活習慣病の予防と心身の健康増進に資するスポーツ健康づくりの推進

第3章 対象別における現状と課題

1 青少年教育

【現状と課題】

少年期は、保護者のもとで多くの時間を過ごしながら、社会的マナーを身に付ける上で重要な時期となります。近年、核家族化や共働きの家庭が増加し、地域のつながりも希薄となるなか、地域の行事も少子化による影響は避けられず、情報や体験交流の場が失われています。

公民館においては、絵画教室や親子料理教室を平成26年度と平成27年度に実施しましたが、講師や団体の都合により継続実施できませんでした。

図書館においては、計画通りに事業を実施し、一定の人数の参加がありましたが、子ども映画会は、参加者が減少傾向にあることから、上映内容や回数を減らすことを含めた今後の検討が必要です。外国語指導助手による英語を使ったおはなし会では、国際交流推進協議会との共催事業を行い、一定数の参加があり大人からも好評がありました。

また、平成28年度に策定した「余市町子どもの読書活動推進計画」に基づく「めざせ！図書館の達人」を実施しましたが、参加人数が減少傾向となっています。

自然体験活動は、野鳥の会の解散に伴い、新たな協力団体が見つからず事業を実施することができませんでした。

放課後子ども教室は、平成27年度に栄小学校が閉校したことに伴い、登小学校のみの実施となり、安全に配慮しながら放課後における児童の居場所が確保されています。

学校支援地域本部事業は、学校の要望に応じた支援が行われていますが、支援ボランティアの登録者数の減少や、学校からの要望の把握と、積極的な活用が課題です。

ウィークエンドサークル事業は、高校生がボランティアとして積極的に参加していますが、小学生、中学生、一般の参加拡大が課題です。

子どもたちの活動は、地域子ども会や少年団活動の統廃合も進み、今後も縮小が見込まれ、社会教育としての事業展開への取り組みが課題であります。

世代間交流の促進事業としては、「よいちっ子(世代間交流)フロアカーリング大会」を実施しましたが、新たな競技による実施を予定しています。

青年教育については、主たる事業である成人式を計画通りに実施しました。

青年層へのボランティア登録や社会教育事業全般への参加の呼びかけについては、目に見える成果が得られなかったため、今後一層の努力が必要です。

2 成人教育

【現状と課題】

成人期は、社会的に自立し、家庭や職場、地域での責任を果たしていく時期です。学校教育で得た知識をもとに、幅広い視野に立った自己啓発の必要性を認識する時期でもあり、家庭や仕事、社会貢献など、様々な分野に対応する学習内容が求められています。

成人教育については、文化団体加盟の社会教育関係団体や社会教育施設において各種講座を実施し、学習機会の提供に努めました。

公民館事業の文化教室は、人気のある講座を継続するとともに、新規教室を実施しました。しかし、参加者が固定化していることと、新しい教室の講師を探すことに苦慮しています。

公民館や図書館、博物館が互いに施設の専門職員の連携協力のもとに、各種講座や教室を実施しました。

出前講座については、博物館が主体となり、区会や町内施設や各種団体など積極的に出向き、所蔵資料を有効利用しながら講座に取り組んでいますが、より充実した講座内容となるよう取り組みが必要です。

町づくり、地域づくり事業の情報提供には、社会教育各施設の掲示板や声かけを行いました。

情報提供の役割も担っている図書館サービスは、インターネットを活用した調査・学習の要望があり、今後も必要と思われます。

女性教育については、公民館において女性学級を実施し講座内容も好評であり、登録者や参加者数も多く順調な事業と言えます。

女性団体リーダー研修への協力については、相談を受けた際に助言を行っています。

学校支援地域本部事業及び放課後子ども教室は、計画通りに実施されていますが、どちらの事業においても、ボランティアの人数確保に苦労しており、特に放課後子ども教室では地元ボランティアの協力の必要性を感じます。

生涯学習ボランティアについては、図書館においてブックスタート事業でのボランティアが増えてきています。また、個人やサークル団体が、図書館・博物館・スポーツ事業において活躍しています。今後は、既存団体の協力を得てさまざまな事業の展開を図ることが必要です。

3 高齢者教育

【現状と課題】

我が国の平均寿命は男性が81歳、女性が87歳と過去最高を更新しています。本町においても、平成30年8月の高齢化率が38.62%となっています。

平均寿命が伸びると同時に、健康寿命も伸びており、高齢者が元気で生きがいを持って生活できることは、町全体が活気づくとともに、地域活動においても大きな力となっています。

寿大学では、出席率も高く、登録者数も維持されていますが、役員および登録者の高齢化が進んでいます。学習内容は毎年見直しを行うことで、飽きられない内容となるよう考慮しています。また、サークル活動が活発に行われ、寿大学の講座の中で、活動の成果を発表し、生きがいづくりの一端となっていると感じます。

長寿はりきり運動会は、年々参加者数は減少傾向にあり、老人クラブ連合会との連携強化が必要です。

学校支援ボランティアは、学校支援地域本部事業に登録した個人及び団体が、町内の小中学校において活動していますが、ボランティア登録者数は減っており、広報活動の強化が必要です。

世代間交流事業については、学芸員による本町の生活文化伝承を目的として事業を実施しましたが、世代間交流とはなっておらず、小中学校との連携を図りながら、事業を取り進めることが必要です。

生活文化伝承活動では、博物館において町内の歴史資料を積極的に収集し保存すると共に、伝統文化の奨励に努めました。

公民館が実施した教室からサークルとなった団体が、町内の施設や他の自治体からの出演要請を受けて、講演の実施やイベントへの参加をしています。

学習活動に情報収集と提供を行いましたが、指導者やボランティアリストの整備までには至りませんでした。

福祉行政や保健行政とボランティアが連携を図りながら、ブックスタート事業を実施しましたが、今後も継続することが大切であり、高齢者ボランティアの参加を呼びかけていきます。

個人で創作活動を続けている高齢者を対象としたシルバーアート展を実施し、出品者に好評を得ています。個人の成果を町民に広く鑑賞してもらい、創作意欲の高揚が図られることから、さらに多くの高齢者が気軽に参加できるよう、事業内容と周知方法について検討が必要です。

4 子育て支援・家庭教育

【現状と課題】

家庭教育は、基本的な生活習慣や人間関係の基礎を養う上で重要であり、子どもの心身の発達に、家庭環境が大きな影響を与えます。

余市町子どもの読書活動推進事業の一環として、本と家庭と親子をテーマとした赤ちゃんタイム、ぬいぐるみおとまり会を実施し、いずれも好評でした。

ブックスタート事業については、関係機関と連携して効果を上げており、子育て支援を図る上からも継続することが必要です。

男性の育児参加推進事業として、平成26年度より「パパと絵本であそぼう！」を本町栄養士に協力を得て実施しています。

子育てサークルとの関わりは、まだ希薄であることから、組織化の取り組みまで至っていませんが、支援の強化が必要です。

図書館において、親子の体験事業を多く実施しています。また、中学生の子育て体験は、毎年町内の保育所での体験事業が好評でしたが、平成29年度は参加者が少なかつたことから、広報活動に力を入れる必要を感じます。

図書館のおはなし会、おたのしみ会は、計画通りに実施し概ね好評でした。ボランティアとの連携による活動については、継続することが必要です。

年に1回行われる「本のひろば」のおたのしみ会は、好評を得ております。毎週水曜日に行なっているボランティアによるおはなし会では、参加対象が乳幼児へと変化していますが、親子の憩いの場となっています。司書によるおはなし会では、参加者が少ないため、広報活動が必要です。

学校や家庭でも読書を習慣とするため、「朝読」「家読」の啓発は、今後も継続していくことが必要です。

5 条件整備

【現状と課題】

現在は、高度情報化や少子高齢化など、社会は急速な変化の中に置かれ、正確な情報の見極めが難しい社会となっています。また過疎化は、地方における担い手不足など、地域が抱える課題が山積しています。これらの課題に当事者としての意識を持ち、行動できる地域住民の育成に向けた学習が求められています。

教育行政執行方針において、生涯学習社会の実現を目指として掲げていることから、生涯学習基本構想の必要性を認識しておりますが、策定及び整備に向けた手段について、継続して検討していくことが必要です。社会教育担当職員は、さまざまな研修やセミナーに出席をしていますが、各種委員においては、出席率は低い状態であります。生涯学習基本構想の策定に向けた検討のためにも、各種研修会やセミナーへの参加が必要です。

スポーツ部門での指導体制の確立や、地域との教育ネットワークの整備まで至っておらず、各種目ごとの専門性を生かした指導は行われていますが、民間指導者の養成と活用は課題となっており、時代のニーズに合わせた組織づくりのため、社会教育関係の各委員会の改編が必要です。

社会教育施設においては、隨時あらゆる学習相談に対応しています。またホームページや生涯学習だより・図書館だより・体育館だよりによる、情報提供に努めるとともに、内容の充実と見やすい誌面づくりが大切です。博物館においても、定期的な広報誌の発行に向けた検討が必要です。

学校施設開放事業は継続実施され、使用する団体のマナーも向上し有効に活用されています。

学社連携会議としては、図書館において町内の中高校の担当者との連絡会議を開催し、情報の共有化と連携について協議しています。

各種ボランティア事業も、個人及び団体ボランティアの協力を受けながら、広がりつつありますが、人数を増やすためには、広報活動と丁寧な説明が必要です。

文化財施設の管理運営方法は継続的に検討しているが、運上家と福原漁場については、補修の必要性が高まっていることから、北海道教育委員会を通して、文化庁と大幅改修作業の取り組みを始めています。

各社会教育施設の整備については、施設の老朽化は懸案事項となっており、指定管理に移行した温水プール・総合体育館を含め、耐震診断をはじめ大規模改修について、改修計画を作成し施設の維持を図ることが必要です。

6 文化活動

【現状と課題】

芸術文化は、創造性を育み、表現力を高め、多様性を感受できるなど、心豊かな活力のある社会の形成にとって重要な意義を持っています。

本町では、中央公民館を中心として芸術文化に関する事業を実施しており、文化の日にちなみ実施している文化祭は、文化協会と共に公民館サークルや文化協会加盟団体が協力し実施している伝統的な事業です。個別の団体では、高齢化と会員数の減少は大きな問題ですが、文化祭への参加団体数や参加者及び鑑賞者の人数は横這い状態となっています。また、日ごろの学習の成果を発表することができる機会であるとともに、町民にとっても、貴重な鑑賞機会となる大切な事業となっています。

近隣自治体の鑑賞機会の情報については、各社会教育施設においてポスター掲示などの広報活動に協力しています。

文化祭以外においても、関係団体が開催する発表会や展示会に協力・支援を行い、社会教育施設が実施する事業に対し、それぞれの事業に合わせたボランティア活動が行われており、社会教育が実施する事業の大きな支援となっています。

青少年の文化活動では、ソーラン太鼓少年団が活動していますが、部活動については、指導者の確保が大きな課題となっており、学校との連携が大切です。

吹奏楽や合唱などの発表については、定期的に行われており、支援の拡充は継続して取組む必要があります。また、指導者の発掘については、人口減少などの影響もあり難しい状況です。

世代間交流事業は2年度にわたり試行的に実施しましたが、今後も継続実施に向けた取り組みが必要です。

図書館については、地域の情報拠点であり、生涯学習推進の役割が求められるとともに、本に触れる機会を提供する図書館の重要性が高まっています。さまざまな読書活動については、ボランティアの協力のもと実施していますが、施設利用者及び事業参加者が年々減少傾向です。今後は住民が積極的に利用できる事業展開や、システム作りが必要と思われます。

関連自治体との相互観光支援事業を、新規事業として図書館で実施しました。

各小学校において、ブックイベントを開催するなど、学校との連携が図られており、平成28年度より施行された「余市町子どもの読書活動推進計画」に基づき、様々な新規事業を開催し、子どもたちが読書に親しみ、より多くの読書機会を提供できたと感じます。今後も、学校・地域・図書館が連携しながら、子ども達が本を身近に感じることができる環境づくりに、努めていくことが必要です。

7 文化財

【現状と課題】

郷土の歴史・自然・風土の中から形成された文化財は、貴重な文化遺産であり、後世に継承されるとともに、将来の郷土発展の基礎となることから、次の世代に守り伝えていかなければならぬものです。

本町には国指定文化財 4 件、北海道指定文化財 2 件、町指定文化財 34 件、国登録文化財 1 件があり、本町が誇る貴重な文化財となっています。この他にも、64カ所の埋蔵文化財包蔵地が点在し、また各家庭や企業、学校などには、古写真や文書、歴史的資料が相当量保管されていると推測されます。

文化財保護思想の啓発とボランティア活動の推進にあたり、文化財ボランティア説明員の活動は好評ですが、高齢化による人員が減少しており、広報募集で対応していますが、必要人数には達していない状況であり、商工観光課、観光協会と協力し、ガイド育成に努めることが必要です。

文化財施設管理体制の検討と保存修復計画の策定による、文化財の適切な保存と活用のために、日常的な管理を行っています。重要文化財旧下ヨイチ運上家は耐震診断調査が終了し、耐震改修を含めた修理工事を実施すべく、保存活用計画策定の準備に入ってています。史跡旧余市福原漁場については、再整備計画を策定中であり、同史跡の防災設備改修工事を実施予定です。

水産博物館においては、展示の充実と研究成果の公開の推進を図り、特別展や常設展示の更新を随時行い、好評を博しています。博物館所蔵品を中心とした、本町の歴史を振り返る特別展を毎年開催し、所蔵品の保存はもとより、資料の公開により、本町の良さを、町民にも再発見してもらえるよう努めなければなりません。

フゴッペ洞窟においても、企画展やミニ展を定期的に実施し、おおむね評価されていますが、展示期間・内容などについては検討が必要です。

また、周知については、町広報の「生涯学習だより」と町ホームページなどにより、広く周知・広報を行うことが必要です。

町民が文化財に親しめる事業の拡充として、歴史探訪講座、歴史ウォーキングは参加者も多く人気の事業となっています。

総合学習などへの協力として、学校へ赴いたり、文化財の見学や、調べ学習の協力を行っています。

歴史教育については学校の要望に隨時応えながら実施していますが、親子で参加できる体験機会を設けることは出来ませんでした。

埋蔵文化財行政の推進と埋蔵文化財保管場所の検討については、国や道と協力しながら行政発掘を実施していますが、埋蔵文化財収蔵庫の確保が課題であり、今後も発掘調査が見込まれることから、円滑に対応できる調査体制整備が必要です。

8 スポーツ・健康づくり

【現状と課題】

スポーツは余暇時間の有効活用・心身の健全な育成や健康の維持・増進に欠くことの出来ないものです。町民が生涯にわたって、健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、スポーツの担う役割は極めて大きく、だれもが気軽にスポーツやレクリエーション活動ができる環境整備が求められています。

個人の生涯各期におけるスポーツ・健康づくりのために、国や道が力を入れている総合型地域スポーツクラブについては、よいち総合型地域スポーツクラブが設立され、各種競技に取り組んでいることから、今後とも助言や協力について協議を進めるとともに、小中学校との連携も検討が必要です。

生涯健康づくりへの意識の高揚により、中高年のスポーツ活動に対する意識は高まっています。

本町では、健康スポーツ教室等の事業を実施していますが、年齢に適したスポーツなどが求められ、一層の学習機会を拡充する必要があり、そのためスポーツ推進委員の活用を含め、指導者の確保、養成を積極的に推進することが必要です。

教育委員会が主催する各種大会は、参加者の減少や関係する競技団体の状況等により、大会運営の見直しや、継続に向けた取り組みの強化が必要です。

スポーツサークルについては、少子高齢化に伴い、既存のサークルが休会し、新たなサークル結成も無い状態であり、会員の新規加入や活動の活性化について更に支援を図ることが必要です。

体育連盟、スポーツ少年団本部については、長い間教育委員会で事務局を務めていますが、町行政が担当することの問題点についても十分留意し、今後継続して団体との事務分担等を含め、運営体制について見直しを検討する必要があります。

指導者の養成については、スポーツ推進委員、体育連盟、スポーツ少年団指導者等を対象に、各種講習会等への参加奨励が必要です。

スポーツ施設については、耐震化も含めて施設及び設備の老朽化対策が課題あります。学校開放事業については、各スポーツ団体が有効に活用しています。

指定管理施設については、温水プール・総合体育館ともに適切に管理運営がなされ、水泳教室やスポーツ教室等自主事業も活発に行われています。今後も2施設の管理状況について十分に把握しながら、他のスポーツ施設を含め、町民の利用しやすい施設のあり方について指定管理者と連携し、より良い方向性について検討することが必要です。

第4章 対象別推進目標と振興方策

1、青少年教育

○目標 青少年の豊かな心と健やかな身体を育み、創造と感性を磨く環境の整備

○振興方策

①青少年の学習機会の拡充と図書館での対象事業の強化

〔重点項目〕

- ・子どもを対象とした各種体験学習の継続的な活動の推進
- ・ボランティア活動の周知と活動機会の推進
- ・図書館の青少年対象事業と体験活動の拡充

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・子どもを対象とした各種文化サークル、講習会への支援	継	文化協会、公民館サークル
・中学生子育て体験	継	保育所、中学校
・自然体験活動事業の開催	継	
・青少年の体験活動推進事業への派遣	継	教委・各中学校・後志教育局
・図書館子ども映画会	継	
・図書館おたのしみ会	継	読書サークル他
・図書館1日司書	継	
・図書館探検キッズ隊	継	
・めざせ！図書館の達人	新	
・英語deおはなし会	継	国際交流推進協議会

②学校支援と放課後での安心安全の場の確保及びボランティア活動の奨励

〔重点項目〕

- ・放課後における地域教育力を活用した事業の推進
- ・家庭、学校、地域の連携による協力体制の推進
- ・ボランティアの強化と活動推進に向けた組織体制の推進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・放課後子ども教室	継	小学校、地域実施委員会
・学校支援地域本部事業	継	小中学校、地域教育協議会
・ウィークエンドサークル	継	

③各関係機関、団体等との連携した世代間交流事業の促進及び子ども達の文化活動機会と指導者育成の促進

〔重点項目〕

- ・各種少年団サークルの育成と加入促進の推進
- ・世代間交流事業の推進
- ・関係機関、団体サークル等との連携協力の推進
- ・各種リーダー、ボランティア養成、指導者育成の推進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・スポーツ少年団活動支援	継	スポーツ少年団本部、小学校
・子ども会活動の支援	継	地域子ども会育成連絡協議会
・世代間交流の促進	継	
・青少年育成団体事業の支援	継	地域子ども会育成連絡協議会
・地域子ども会育成連絡協議会への援助	継	地域子ども会育成連絡協議会
・学社連携会議（業務担当者会議など）	継	小中学校

④青年層の活動環境の整備と事業の実施

〔重点項目〕

- ・学習ニーズの把握と社会参画を促す学習機会の推進
- ・現状把握と学習会やボランティア活動への積極的参加の奨励
- ・青年団サークルの育成と組織化の促進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・成人式の開催	継	
・町内青年団体等事業への支援	継	青年会議所、職域青年部他
・ボランティア活動の推進	継	高校他
・学習ニーズの把握と学習機会の企画	継	勤労青少年ホーム他

2. 成人教育

○目標 学習で得た成果が地域活動や社会貢献へ繋がる環境整備の推進

○振興方策

①地域活動への参画と社会貢献を意識した事業の検討と各種団体と連携した環境整備

〔重点項目〕

- ・時代の変化に対応した学習機会の推進
- ・社会教育施設相互の連携と、有効活用した学習機会の強化
- ・関係機関、団体サークルの育成支援と連携
- ・出前講座の積極的な実施と生涯学習に関する学習機会の推進
- ・学習成果と実践活動の条件整備の強化
- ・男女共同参画事業の情報提供と学習支援

〔具体的な施策〕

具体的な施策	継・新	連携組織・団体サークル
・各講習、教室などの開催	継	社会教育団体、サークル他
・生涯学習セミナーの開催	継	関係機関・団体
・既存施設の有効活用と利用促進	継	
・団体サークルとの支援と連携	継	
・出前講座の実施	継	
・成人教育、生涯学習に関する学習機会の開催	継	
・町づくり、地域づくり事業の情報提供と参加奨励	継	

②図書館でのインターネットの活用

〔重点項目〕

- ・図書館でのインターネットの活用
- ・女性が抱える課題解決に向けた学習機会の促進
- ・女性指導者の育成強化

〔具体的な施策〕

具体的な施策	継・新	連携組織・団体サークル
・図書館でのインターネットを活用した調査と学習及び情報提供	継	
・女性教育事業の企画と実施	継	女性団体連絡協議会他
・女性団体リーダー研修会への協力	継	女性団体連絡協議会

③各種ボランティアの活動促進・指導者の育成と学校支援の継続

〔重点項目〕

- ・学校支援ボランティア活動の推進
- ・指導者及び生涯学習ボランティアリストの整備と活動の場の設定
- ・ボランティア団体活動への支援と協力

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・学校支援地域本部事業の実施	継	小中学校、関係団体
・放課後子ども教室への支援	継	小中学校、関係団体
・ボランティア活動の推進	継	関係機関
・指導者の育成と生涯学習ボランティアリストの整備と活用	継	
・ボランティア団体への支援と協力	継	

3、高齢者教育

○目標 高齢者が知識や経験を活かせる機会の拡充と生きがいづくりとなる学習機会の推進

○振興方策

①高齢者のニーズに応じた多様な学習機会の提供

〔重点項目〕

- ・高齢者が相互に学びあえる学習活動の推進
- ・寿大学の学習・交流機会の提供と参加の促進
- ・高齢者団体サークル活動への支援と情報提供の推進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・各種団体サークルへの支援協力と加入促進	継	文化協会、女連協、体育連盟など
・生涯学習セミナーの開催	継	文化協会、女連協、体育連盟など
・出前講座の継続実施	継	文化協会、女連協、体育連盟など
・寿大学の魅力ある講座の実施	継	老人クラブ、関係機関
・寿大学への参加者の拡大	継	老人クラブ、関係機関
・長寿はりきり運動会の内容の充実	継	老人クラブ、関係機関
・団体サークルへの自主的活動の支援	継	老人クラブ、関係機関
・シルバーアート展の実施	継	老人クラブ、関係機関

②学習成果を活かした生きがいづくりの学習機会と伝統文化継承を目的とした世代間交流事業の実施

〔重点項目〕

- ・ボランティア活動を含めた経験や知識、技能を活かす場の設定
- ・学芸員による世代間交流事業の拡充
- ・生活文化伝承活動による資料保存と奨励

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・学校支援ボランティア活動の推進	継	小中学校、関係機関
・指導者リストの整備と活用	継	
・学芸員による世代間交流事業の企画、実施	継	保育所、小中学校、老人クラブ
・生活文化伝承活動による資料保存と奨励	継	

③福祉行政や関係団体との連携を深め、ボランティア活動を通した社会貢献の促進
〔重点項目〕

- ・人材活用の促進のための活動機会の提供
- ・指導者、ボランティアリストの整備と推進
- ・福祉行政、保健行政など関係機関や団体サークルとの連携協力

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・イベントへの積極的参加促進	継	
・ボランティア活動の推進	継	
・学習活動に関する情報収集と提供	継	
・関係機関、団体との連携による事業の企画、実施	継	

4、子育て支援・家庭教育

○目標 家庭と地域の教育力の向上と子育て支援の充実

○振興方策

- ①「基本的生活習慣を見つける」ための地域と連携した取り組みの実施

〔重点項目〕

- ・小中学校、保育所との連携した学習機会の推進
- ・子育てサークルの自主的活動への支援
- ・ブックスタート事業の推進
- ・男性の育児参加機会の促進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・家庭教育に関する学習機会の企画と実施	継	保育所、小中学校、関係機関・団体
・生活リズムチェックシートの活用	継	
・関係機関、団体との情報交換と連携促進	継	子育て連絡会
・ブックスタート事業	継	保健課、町民福祉課、本のひろば
・男性に向けた育児参加事業の実施	新	

②家庭、地域、関係機関が結びついた子育て意識の高揚

〔重点項目〕

- ・子育てサークル活動への支援と組織化への支援
- ・親子が一緒に体験出来る場や機会づくりの促進
- ・図書館読書普及事業の推進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・子育て関係団体への支援協力	継	町民福祉課
・中学生子育てふれあい交流	継	保育所
・図書館おはなし会	継	本のひろば他
・図書館おたのしみ会	継	沢町児童館母親クラブ他

③親子が気軽に参加でき、子育てが楽しくなるサークル活動の支援と相談体制の充実

〔重点項目〕

- ・家庭教育、子育て支援に関する情報収集と提供
- ・相談窓口の整備と情報共有の推進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
・子育てサークルへの社会教育関係施設の開放	継	町民福祉課
・子育てサークルの活動支援	継	子育てサークル、読書サークル他
・子育て支援活動への協力	継	関係機関、団体
・「朝読」「家読」などの読書活動の啓発	新	小中学校、高等学校
・家庭教育に役立つ情報の提供	継	保健課、町民福祉課

5、条件整備

○目標 教養・文化・スポーツ各分野における町民ニーズに適応した支援体制の整備

○振興方策

①生涯学習社会の実現に向けた推進体制の基盤整備

〔重点項目〕

- ・生涯学習推進体制の整備と基本構想の策定
- ・社会教育担当及び各種委員の研修機会の拡充

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・生涯学習基本構想策定の検討	継	各学校・社会教育関係団体他
・生涯学習推進体制整備の検討	継	
・生涯学習ボランティアリストの作成	継	
・生涯学習関係各研修会参加	継	社会教育関係団体他
・生涯学習セミナーの開催	継	

②指導体制の充実と各種委員会の運営の活性化を図るとともに地域との教育ネットワーク体制の整備

〔重点項目〕

- ・指導体制の充実と教育ネットワークの整備
- ・民間指導者の発掘養成と活用
- ・社会教育関係各種委員会の検証と考察

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・地域との教育ネットワークの整備	継	
・専門性を活かした指導体制の充実	継	
・民間指導者の発掘養成と活用	継	
・社会教育関係各委員会体制の検証	新	
・各種委員の研修会への参加	継	

③学習相談への支援と各種学習情報提供の充実

〔重点項目〕

- ・関係機関、団体と連携した学習相談体制の推進
- ・社会教育施設の情報提供及び発信強化

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・学習相談体制の確立	継	
・生涯学習だよりの発行	継	
・HPの充実による情報提供	継	
・体育館、図書館の情報提供と発信の強化	継	
・博物館の広報活動の検討	新	
・公民館の日曜・祝祭日の開館時間の延長検討	新	

④社会教育施設の計画的な改修整備と効率的な管理運営の検討及びボランティア活動の支援

〔重点項目〕

- ・学校、地域、行政による学社連携と学校開放事業の推進
- ・学校週5日制に対応したボランティア事業の促進
- ・各種ボランティア団体活動への支援協力
- ・文化財施設の補修整備と管理運営方法の見直しと利用促進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・学校体育施設開放事業の推進	継	
・学社連携会議（業務担当者会議など）	継	小中学校
・社会教育施設へのボランティアの受け入れ促進と活動への支援	新	社会教育関係団体、サークル
・ボランティア団体の活動支援の促進	継	各体育・文化団体他
・各社会教育施設の耐震診断と補修整備及び有効活用の促進	新	社会教育関係団体、サークル
・文化財施設の管理運営方法の検討	継	
・文化財施設の改修	新	

6、文化活動

○目標 芸術文化活動を通じ感性を磨くための事業の充実と環境整備の推進 ○振興方策

①芸術文化の鑑賞機会の提供と活動への奨励

〔重点項目〕

- ・各関連機関との連携による芸術鑑賞機会の提供と充実
- ・各種芸術文化活動の拡充及び講座教室の開催
- ・芸術文化に関する各種情報の発信・収集の強化

〔具体的な施策〕

具体的な施策	継・新	連携組織・団体サークル
・芸術文化活動の発表機会の拡充	継	文化協会、公民館サークル他
・文化祭開催及び支援	継	文化協会、公民館サークル他
・舞台芸術等の鑑賞機会の拡充	継	文化協会、小中学校
・近隣自治体の鑑賞機会の情報提供	継	

②芸術文化団体活動の促進と団体と連携した事業の充実

〔重点項目〕

- ・団体サークル育成と連携強化、加入促進と自主的活動への支援協力
- ・各種研修会、養成講習会などの開催及び派遣
- ・ボランティア団体の育成と有効活用

〔具体的な施策〕

具体的な施策	継・新	連携組織・団体サークル
・芸術文化鑑賞団体への協力支援	継	文化協会
・団体サークル自主的活動の支援	継	文化協会、公民館サークル他
・団体活動への協力、支援	継	文化協会、サークル
・ボランティア活動の促進	継	文化協会、サークル

③学校及び関係団体と連携した文化活動への支援強化

〔重点項目〕

- ・世代間交流を通した文化伝統活動の推進
- ・芸術文化鑑賞機会の拡充と発表機会の充実
- ・文化活動指導者の発掘と育成

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・青少年文化活動の支援及び育成	新	小中学校、高等学校
・部活動などの文化活動への協力支援	継	中学校、高等学校
・吹奏楽、合唱など発表機会の支援と拡充	継	中学校、高等学校、文化協会他
・指導者リストの整備と活用	継	
・文化活動指導者の発掘と育成	継	文化協会、サークル
・世代間交流事業	継	文化協会、公民館サークル他

④読書普及活動の推進

〔重点項目〕

- ・町民ニーズに即した資料の提供と読書普及活動の充実
- ・広域的な読書活動の推進
- ・学校図書室や関係サークルとの連携による子どもの読書環境の充実
- ・余市町子ども読書活動推進計画の事業実施

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・月曜日開館の検討	継	
・図書資料の収集と整理、保存	継	
・図書館だより他の発行とHPによる広報活動の充実	継	
・レファレンスサービスの拡充	継	
・夜間開館の実施	継	
・青空図書館の実施	継	
・ブックスタート事業の充実	継	保健課、市民福祉課、本のひろば
・大人対象読書普及事業の企画と実施	継	
・企画展示の実施	継	小中学校
・相互観光支援展示（エクスチェンジ）	新	
・移動巡回文庫、動く図書館の充実	継	町内5カ所ステーション
・学校図書館との連携による読書環境の整備	継	
・小中学校図書室担当教員との連絡会議の開催	継	小中学校
・子ども対象読書普及事業の実施	継	本のひろば他
・読書感想文コンクールの実施	継	
・読書会、読み聞かせの推進	継	保健課、市民福祉課、本のひろば
・親子で楽しむワークショップの開催	新	
・読書ボランティアの養成と支援	新	
・支援を必要とする子ども達への読書推進	新	
・学校図書館の環境整備と支援	新	
・ブックイベントの実施	新	小中学校

7、文化財

○目標 文化財の保存・継承を図り地域財産とその活用の推進

○振興方策

- ①文化財の適切な保存とボランティア組織や関係機関と連携した事業の実施

〔重点項目〕

- ・文化財保護の啓発とボランティア活動の推進
- ・郷土資料の収集と調査及び展示機会の充実
- ・古文書の解読・保存・活用の拡充
- ・文化財施設管理体制の検討と保存修復計画の策定

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・文化財ボランティア説明員の拡大と育成	新	郷土研究会他
・余市水産博物館活動協力会との協力	継	
・郷土資料の収集と調査研究と成果の公開	継	
・文化財の適切な保護保存	継	
・文化財施設の管理体制の強化	新	
・文化財施設の保存活用計画の策定	継	
・観光に関係する団体との連携促進	新	商工観光課・観光協会

- ②郷土資料を有効活用した学習機会の提供と文化財整備にかかる体制の充実

〔重点項目〕

- ・展示の充実と研究成果の公開の推進
- ・市民が文化財に親しめる事業の拡充
- ・文化財の伝承後継者育成の検討
- ・郷土の歴史教育と親子で参加できる体験機会の推進
- ・埋蔵文化財行政の推進と遺物保管場所確保の検討

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・出前講座の拡充	継	
・水産博物館特別展の充実	継	
・企画展、ミニ企画展の実施	継	
・歴史探訪講座の実施	継	小中学校、区会他
・余市歴史ウォーキングの実施	継	郷土研究会
・総合学習、調べ学習への協力	継	公民館文化教室・郷土研究会
・親子の体験型事業の実施	継	郷土研究会、小中学校
・埋蔵文化財発掘調査の推進	継	
・遺物保管場所確保の検討	継	

8、スポーツ・健康づくり

○目 標 生活習慣病の予防と心身の健康増進に資するスポーツ健康づくりの推進

○振興方策

①スポーツ・健康づくり活動の啓蒙と各種主催スポーツ大会や教室等の取り組み強化

〔重点項目〕

- ・総合型地域スポーツクラブへの協力と推進
- ・各種スポーツ大会、レクリエーション及び各種ニュースポーツ教室の実施
- ・年代別のトレーニングとスポーツ活動の推進
- ・地域、団体サークル、各学校との連携した事業実施の推進
- ・各種主催スポーツ大会の検証と運営方法等の見直し

〔具体的な施策〕

具体的な施策	継・新	連携組織・団体サークル
・総合型地域スポーツクラブ設立の協力と連携	新	体育連盟、スポーツ少年団、その他関係団体
・各種生涯健康スポーツ教室の実施	継	
・ニュースポーツ教室の開催	継	体育連盟他
・町民スキー大会	継	スキー連盟、小中学校
・ジュニアサマージャンプ大会	継	小中学校
・よいちっ子スポーツ教室「夏、冬」	継	小中学校
・よいちっ子オリンピック陸上競技会	継	小中学校
・味覚マラソン大会	継	小中学校、体育連盟
・少年野球大会	継	野球連盟
・長寿はりきり運動会	継	老人クラブ
・ニッカ・竹鶴・笠谷杯ジャンプ大会支援	継	スキー連盟
・ロータリークラブ杯少年水泳大会支援	継	水泳協会

②スポーツ少年団指導者の育成とスポーツ関係団体やスポーツサークルへの支援

〔重点項目〕

- ・団体サークルへの加入促進、組織強化と相互の連携を図る
- ・スポーツ講演会、講習会の開催及び派遣
- ・各種競技団体の活動支援と競技力の向上
- ・体育連盟、スポーツ少年団本部の事務局体制見直しの検討と自主活動の促進
- ・指導者、ボランティア養成事業への参加促進及び確保と有効的な活用

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・体育連盟活動への支援と事務局体制の見直し検討	継	体育連盟及び加盟団体
・既存スポーツサークルの育成支援と加入促進	継	スポーツ少年団本部及び加盟団体
・新規スポーツサークルの育成支援と加入促進	継	
・スポーツ少年団活動への支援と事務局体制の見直し検討	継	
・スポーツ、健康づくり活動の促進につながる情報の提供	継	スポーツサークル他
・スポーツ指導者養成講習会等の情報提供と参加奨励	継	
・各種競技大会等へのボランティアスタッフの協力促進	継	体育連盟他
・スポーツ教室等への指導者の活用	継	体育連盟他

③スポーツ施設の適切な維持と指定管理者や総合型地域スポーツクラブと連携した事業の推進

〔重点項目〕

- ・既存社会体育関連施設の維持管理と利用促進
- ・学校体育施設開放事業の充実
- ・スポーツ施設の管理運営方法の検証と指定管理者との連携強化

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・各スポーツ施設の補修整備と有効活用	継	体育連盟他
・学校体育施設開放事業の推進	継	小中学校、体育団体、サークル
・指定管理による温水プール、総合体育館の運営継続	継	体育連盟他利用団体、指定管理者

資料

○「社会教育に関する利用者意識調査」集計結果の概要

P29

○パブリックコメントの結果について

P67

「社会教育に関する利用者意識調査」集計結果の概要

1. 調査の目的

第6次余市町社会教育中期計画の策定に伴い、社会教育関係団体の活動実態と社会教育に関する意識と状況などについて把握し、今後の社会教育推進のための基礎資料とする。

2. 調査機関 余市町教育委員会

3. 調査対象 社会教育に関する団体（社会教育関係団体、公民館サークル、余市文化協会加盟団体、余市体育連盟加盟団体、スポーツに係るサークル及び愛好会、図書館事業に係る団体、文化財解説ボランティアの会等）及び社会教育施設利用者（アンケートボックス設置場所・中央公民館・総合体育馆・温水プール・図書館・余市町役場 教育委員会）

4. 調査項目

- (I) 生きがい、余暇について
- (II) 学習活動の状況について
- (III) 今後の学習活動について
- (IV) 学習情報について
- (V) 図書館・読書活動について
- (VI) 文化財について
- (VII) スポーツ・レクリエーションについて
- (VIII) 芸術・文化
- (IX) 学習施設について
- (X) 今後の社会教育行政に望むこと

5. 調査方法 各団体及び社会教育施設利用者へアンケート調査と回収

6. 配付数 800部配付

7. 回収数 477部 男性 155名 女性 322名

8. 調査期間 平成30年7月2日から7月31日まで

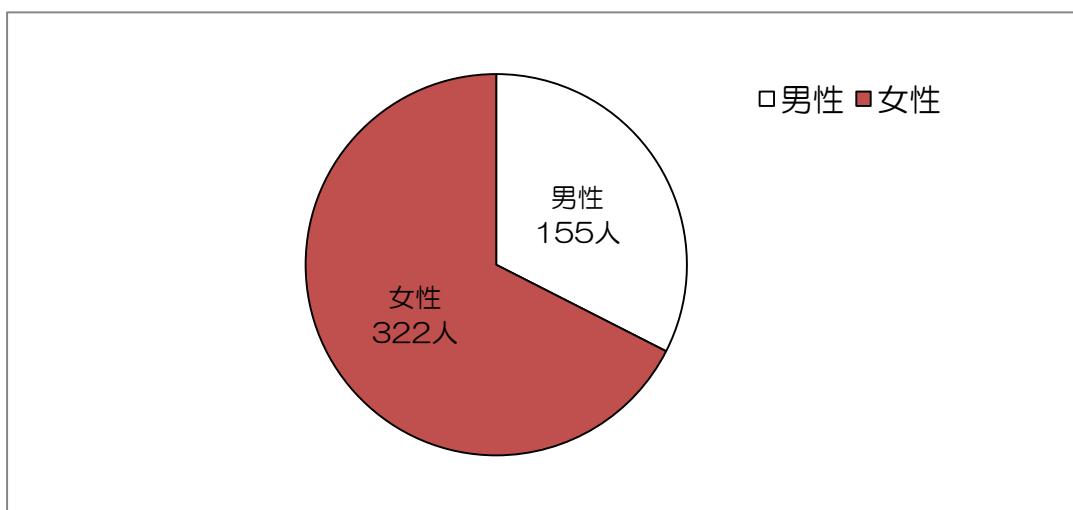
『社会教育に関する町民意識調査』集計結果

○回収数 発送部数 800部 回収件数 477 回収率 59.6%

	男性	女性	合計
合計	155	322	477
男女比	32.5%	67.5%	

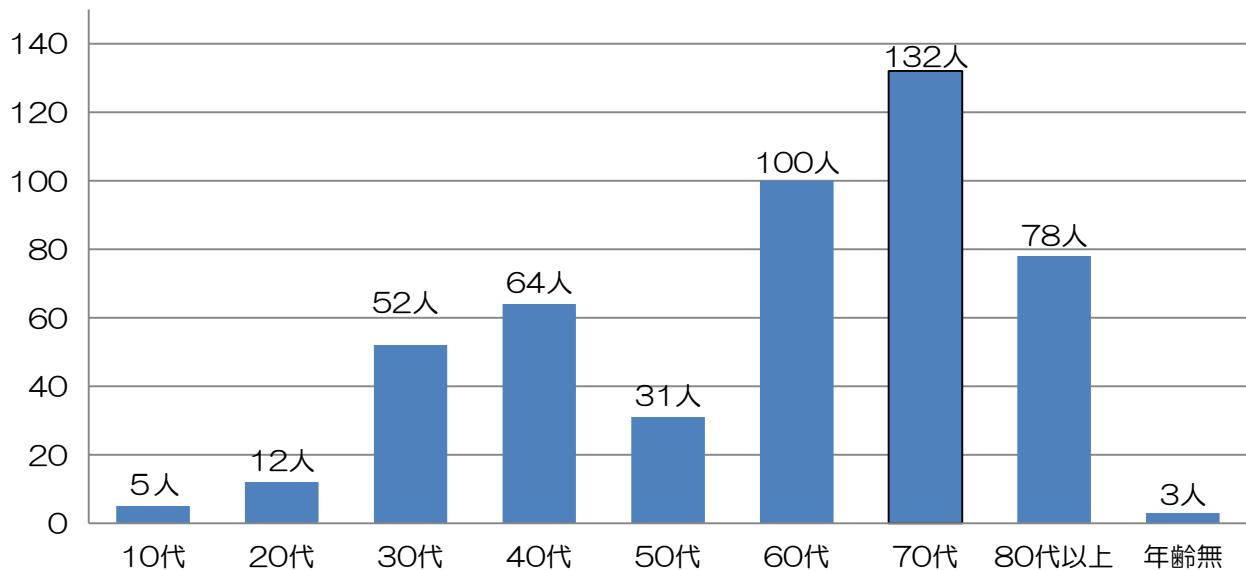
問1 あなたの性別はつぎのどれですか。

- ① 男性 ② 女性



問2 あなたの年齢は、つぎのうちどれですか。

- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代
⑦ 70代 ⑧ 80代以上

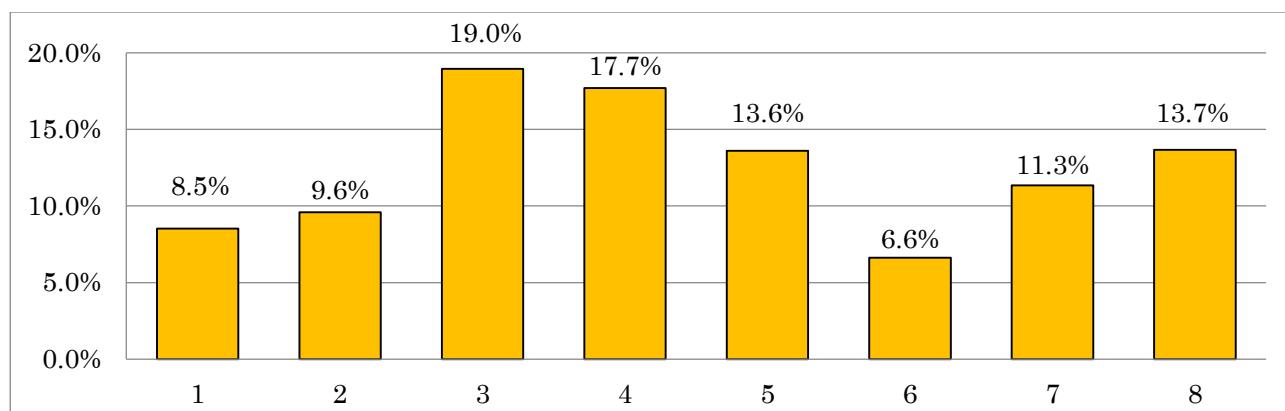


I 生きがい、余暇について

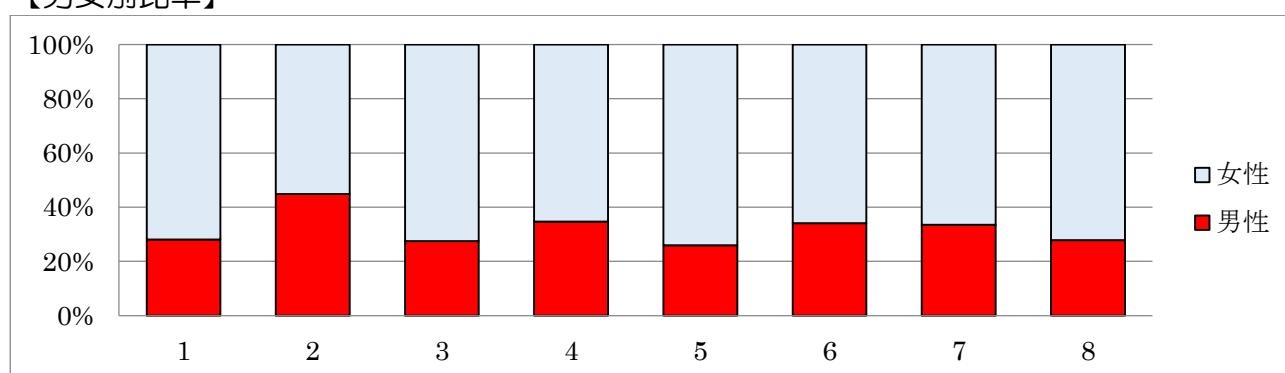
問3 あなたはどんな時に生きがいを感じますか。(複数可)

- ① 仕事をしているとき
- ② スポーツ、レクリエーション活動をしているとき
- ③ 友人や仲間と交流しているとき
- ④ 趣味や文化活動などをしているとき
- ⑤ 家族で団らん、旅行しているとき
- ⑥ 地域活動や社会活動に参加しているとき
- ⑦ 子どもの成長を見ているとき
- ⑧ 一人で自由な時間を楽しんでいるとき

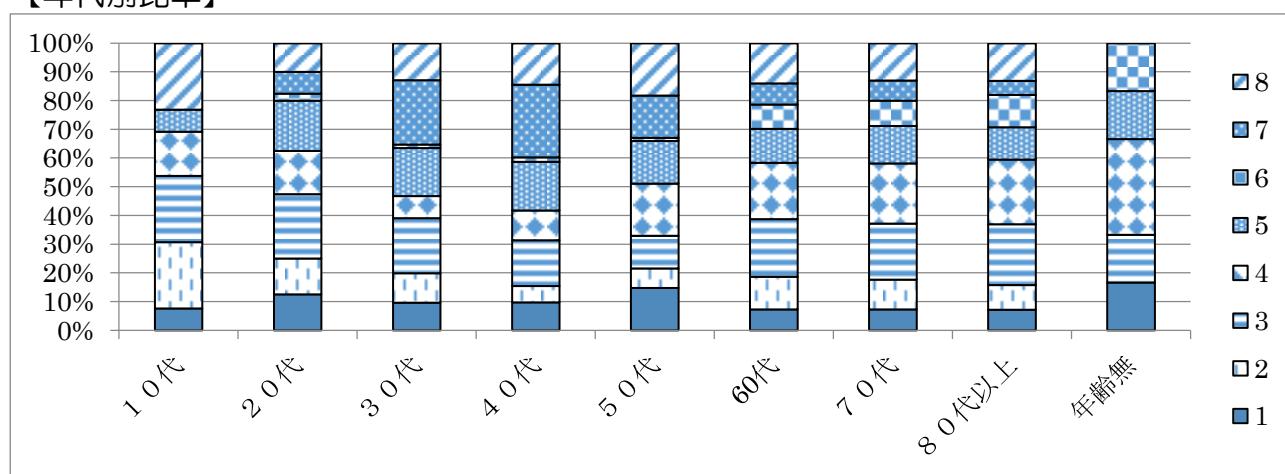
【生きがい、余暇については、前回の友人や仲間と交流から、趣味や文化活動の割合が増えた中で、一人で自由の時間を楽しむが依然高い割合となっています。】



【男女別比率】



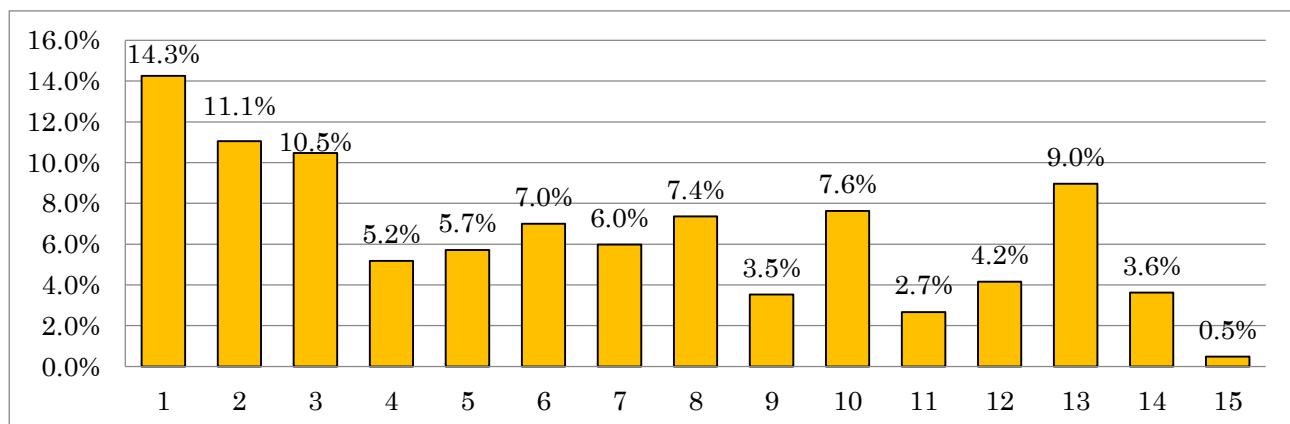
【年代別比率】



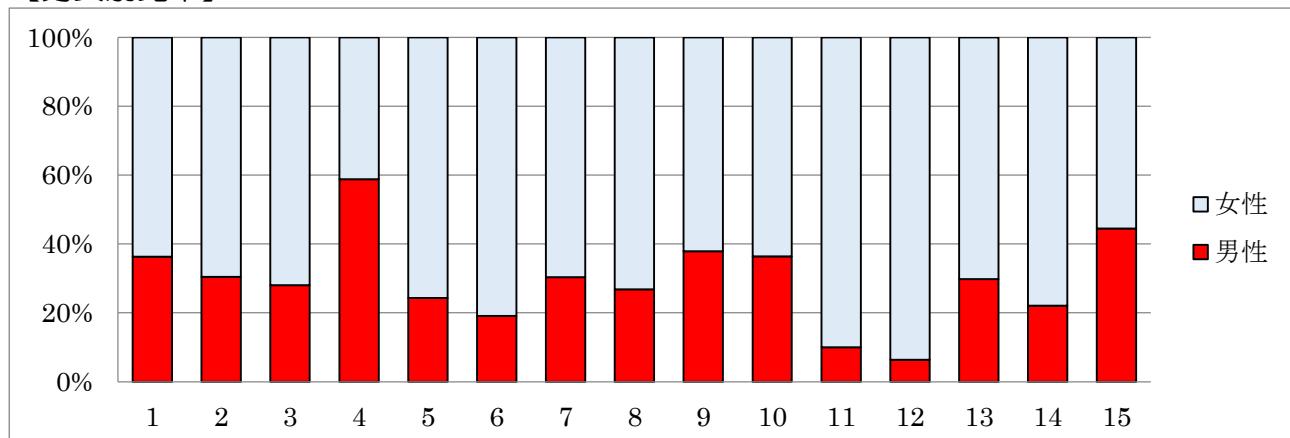
問4 あなたは余暇を主に、どのように過ごしていますか。（複数可）

- | | |
|----------------|--------------|
| ① 趣味・娯楽 | ② テレビ・ラジオ |
| ③ 読書・新聞・雑誌を読む | ④ スポーツ |
| ⑤ 休養・ごろ寝 | ⑥ 買い物 |
| ⑦ ガーデニング・日曜大工 | ⑧ 家族との団らん |
| ⑨ パソコン・インターネット | ⑩ ドライブ・行楽・旅行 |
| ⑪ 近所づきあい | ⑫ 習い事 |
| ⑬ 団体・サークル活動 | ⑭ ボランティア活動 |
| ⑮ その他（
） | |

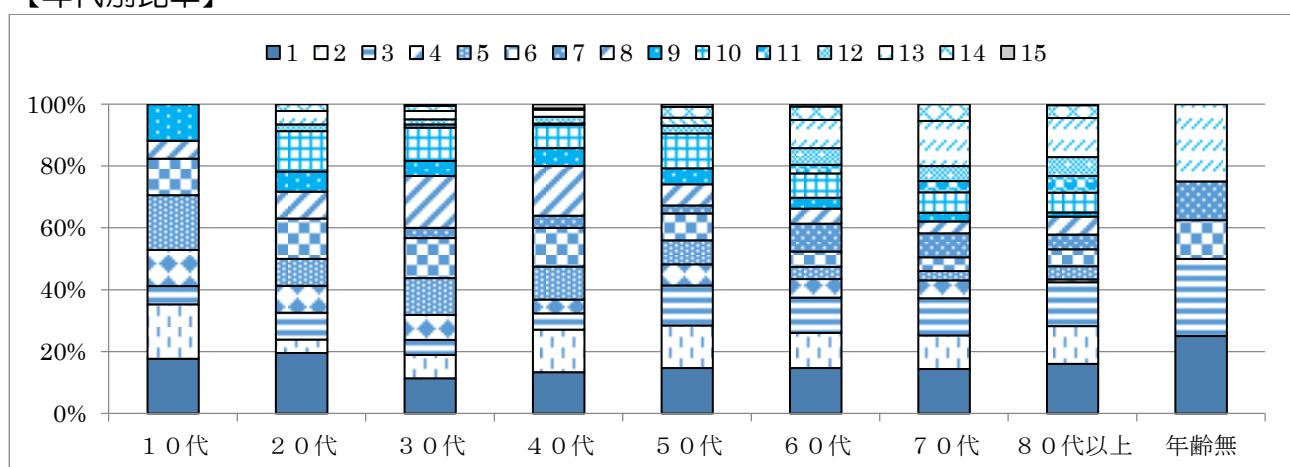
【余暇の過ごし方については、前回のテレビ鑑賞から、趣味・娯楽と、団体・サークル活動の割合が高くなっています。】



【男女別比率】



【年代別比率】

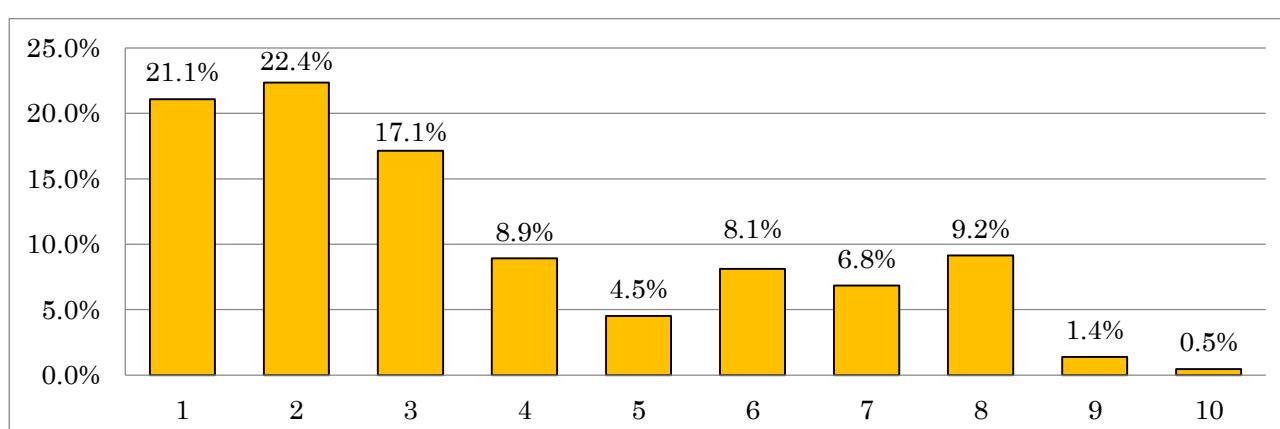


II 学習活動の状況について

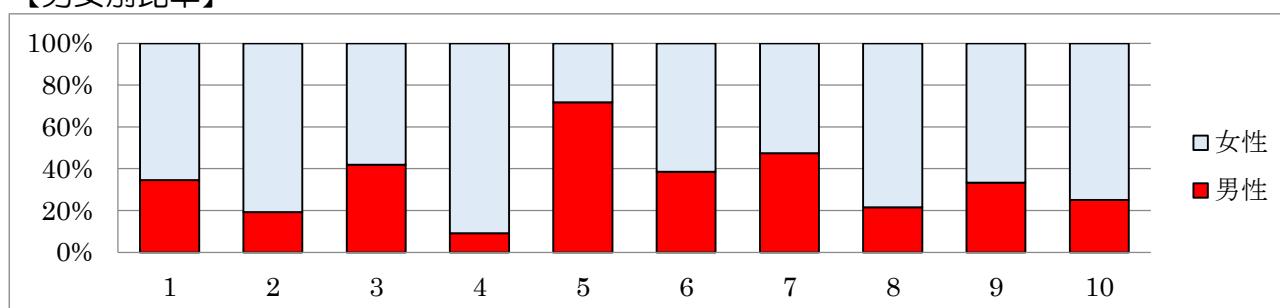
問5 あなたが学習した（している）主な内容を次の中から選んで下さい。（複数可）

- ① スポーツ、レクリエーションなどの運動や健康に関する学習
- ② 茶道、華道、舞踊、絵画、書道、音楽などの趣味や芸術・芸能に関する学習
- ③ 仕事や職業上の知識、技術に関する学習（パソコン含む）
- ④ 料理、和洋裁、育児など家庭生活に関する学習
- ⑤ 政治、経済、時事問題など社会生活に関する学習
- ⑥ 語学、文学、歴史など一般教養に関する学習
- ⑦ 余市町の歴史、文化財などに関する学習
- ⑧ 社会福祉・ボランティア活動に関する学習
- ⑨ 国際交流・国際文化に関する学習（英会話など）
- ⑩ その他（ ）

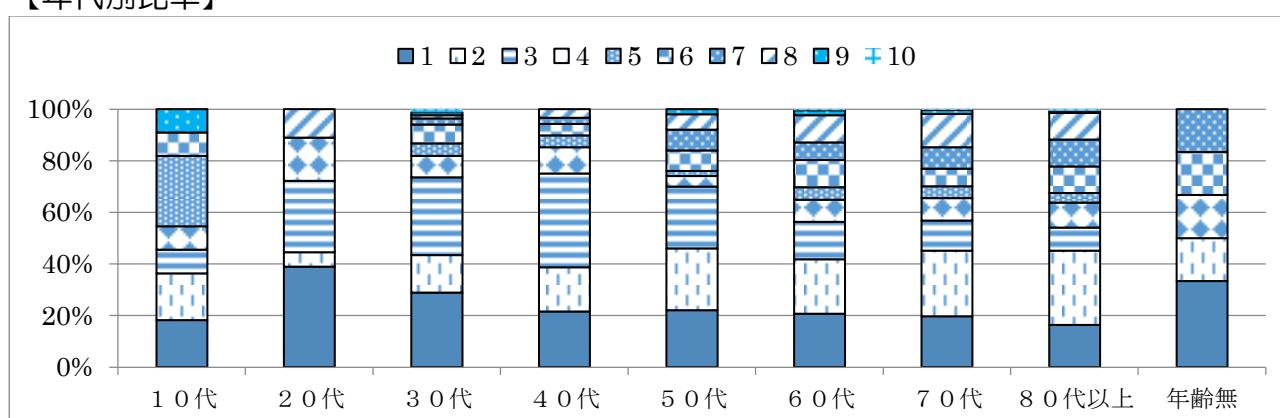
【学習活動については、前回の仕事に対する学習から、趣味・スポーツに関する学習割合の関心が高くなっています】



【男女別比率】



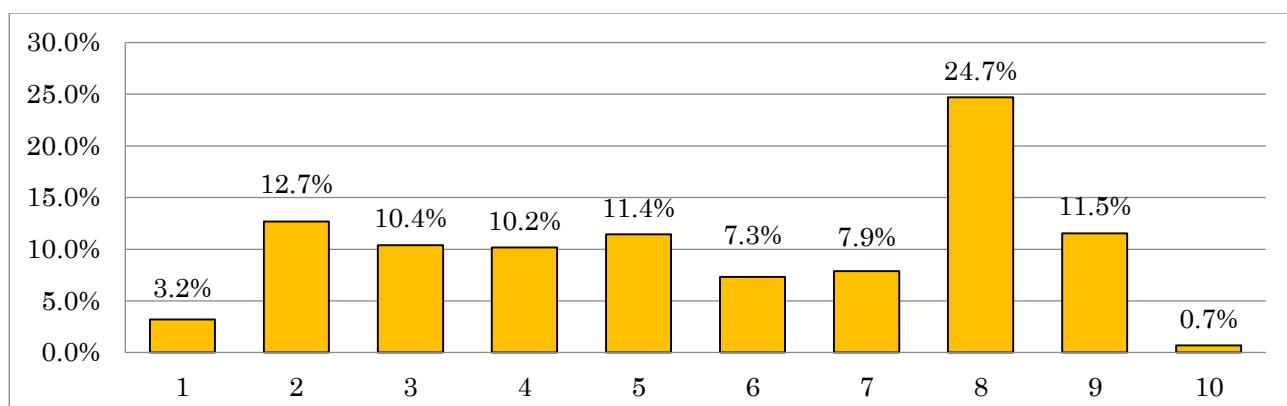
【年代別比率】



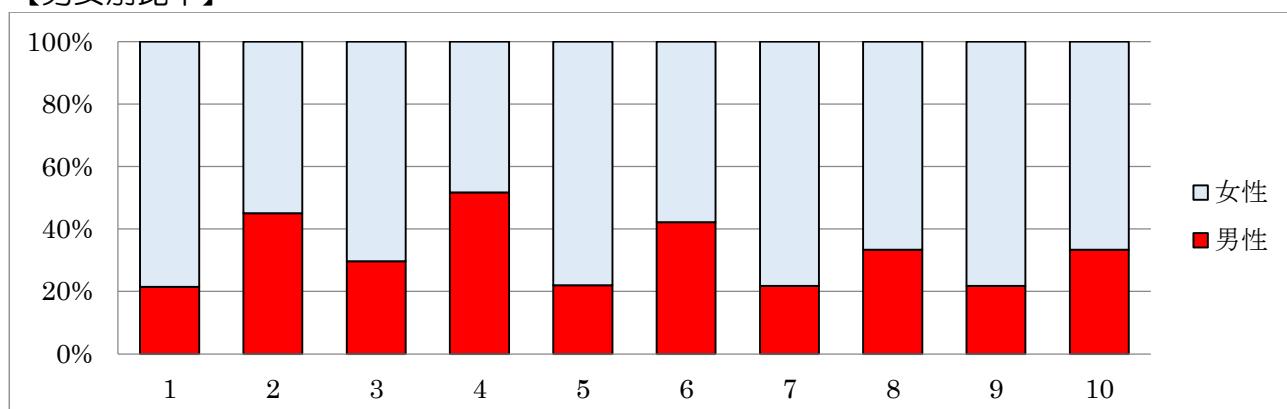
問6 どのような機会で学習を行いましたか。（複数可）

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| ① 通信教育、放送大学などを利用 | ② テレビ、図書などを利用 |
| ③ 民間が開設する教室や各種学校に参加 | ④ インターネットを利用 |
| ⑤ 家族や友人など仲間同士で活動 | ⑥ 職場の研修会などに参加 |
| ⑦ 青年・女性団体、PTA、老人クラブなどの活動に参加 | |
| ⑧ 趣味の会、文化・スポーツ団体、サークルに参加 | |
| ⑨ 町や教育委員会が開設する講座、教室などに参加 | |
| ⑩ その他（ ） | |

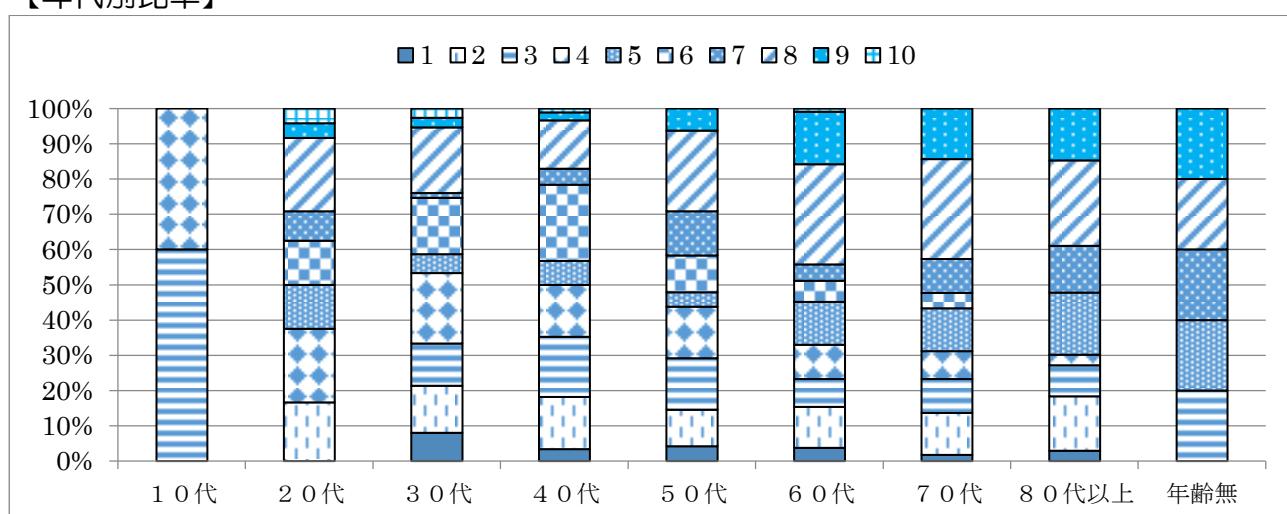
【学習機会・方法については、前回のテレビ・インターネットの学習から、趣味・スポーツ団体への参加での学習割合が高くなっています。】



【男女別比率】



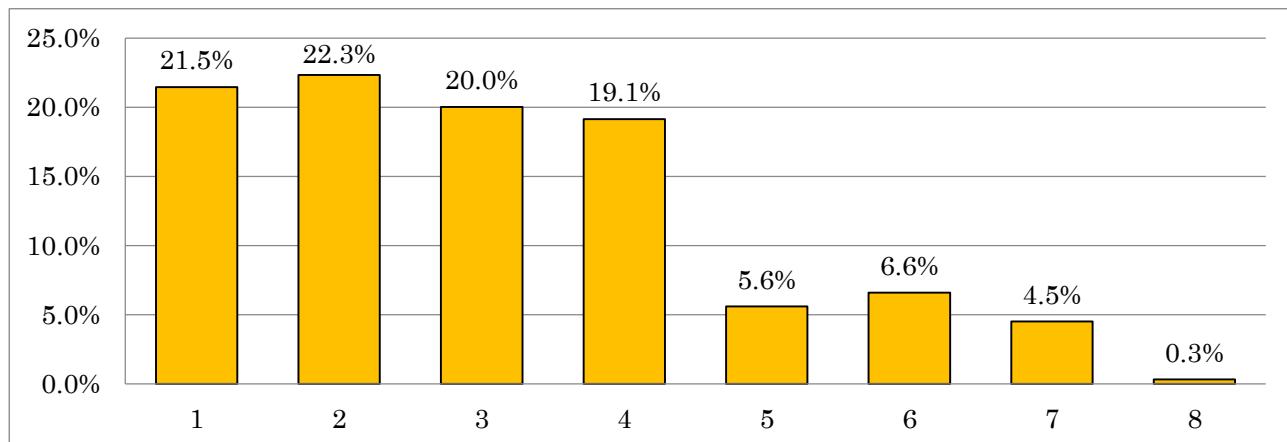
【年代別比率】



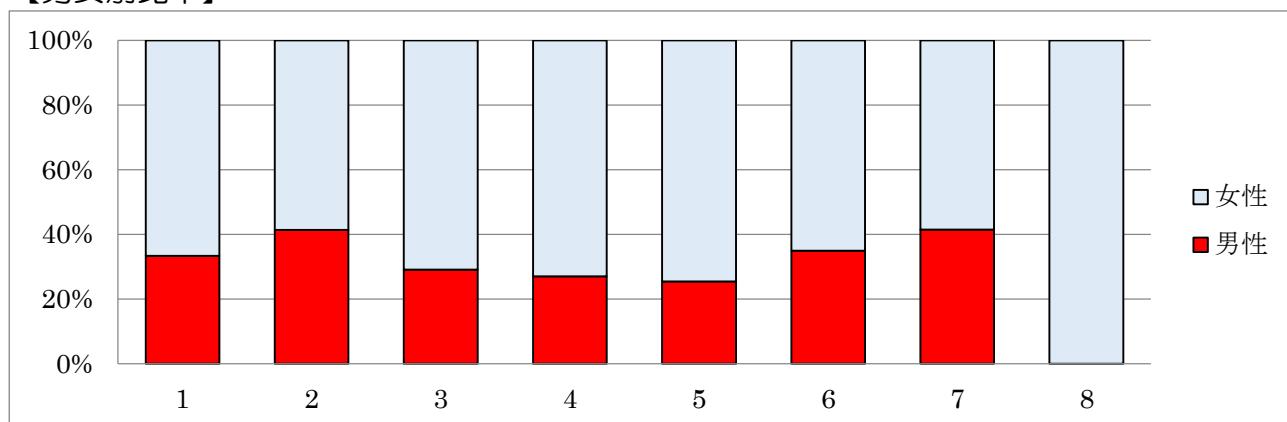
問7 あなたが学習を行った主な理由についてお答え下さい。(複数可)

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 生きがいづくりのため | ② 知識・教養を高めるため |
| ③ 多くの人と交流をするため | ④ 健康・体力づくりのため |
| ⑤ 家庭生活をより良くするため | ⑥ 仕事又は、収入を得るため |
| ⑦ 資格を得るため | ⑧ その他 () |

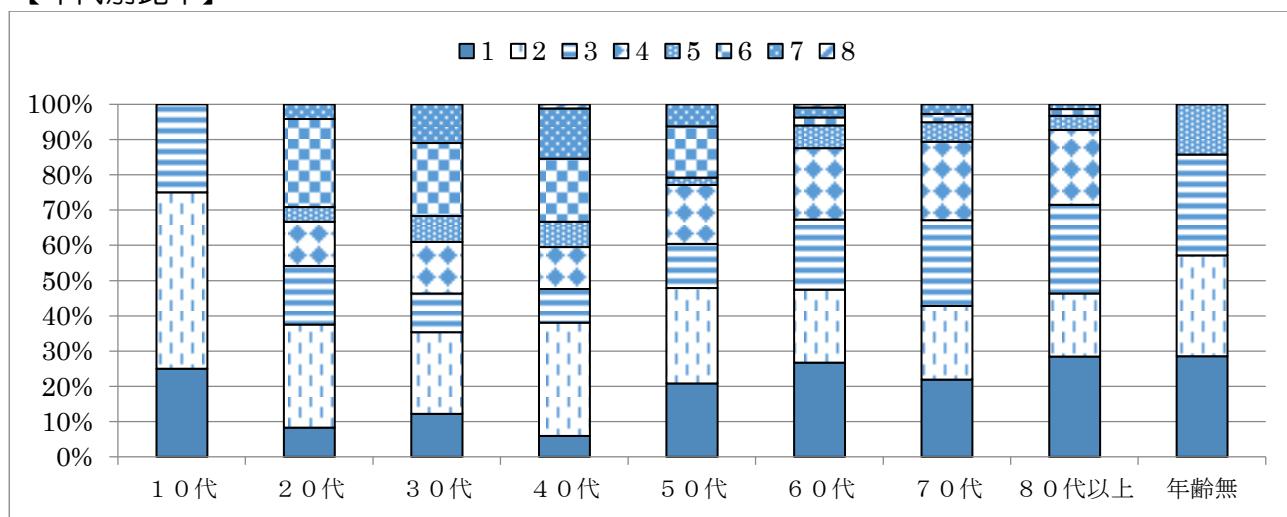
【学習を行なった主な理由については、生きがいづくり、知識・教養の割合が変わらず高く、仕事・収入を得るための割合が低くなっています。】



【男女別比率】



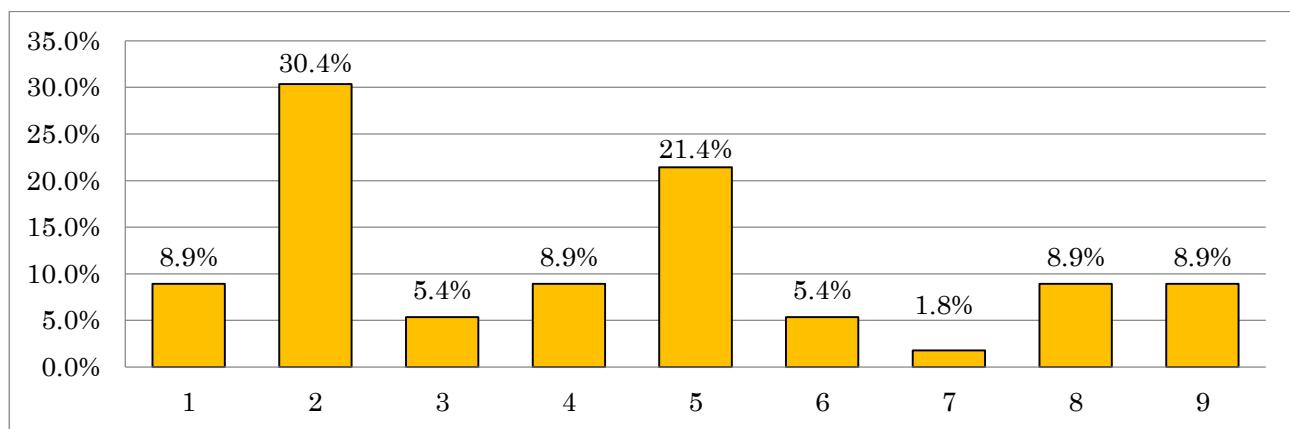
【年代別比率】



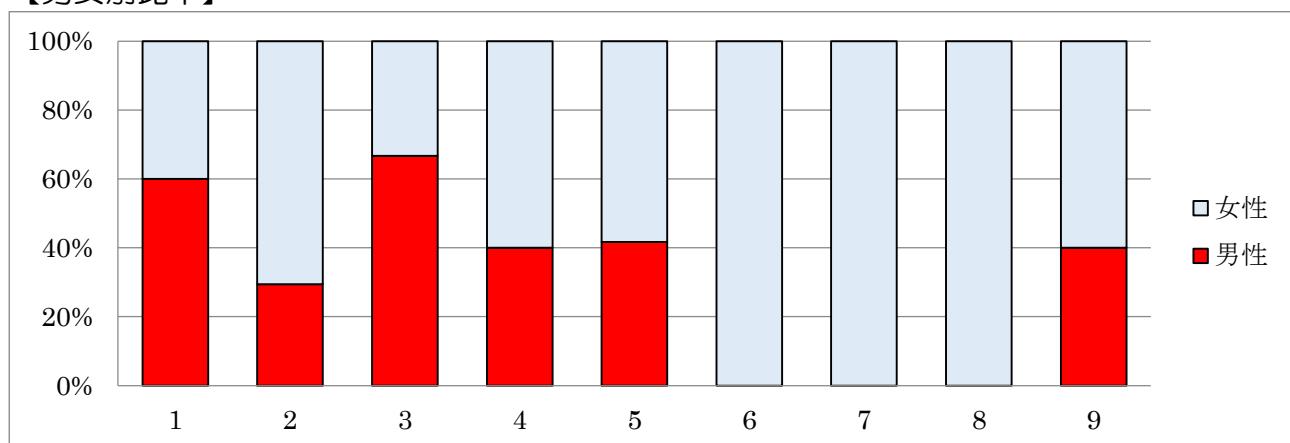
問8 あなたが学習を行なわなかった主な理由をお答え下さい。（複数可）

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 学習する必要を感じない | ② 忙しくて時間が無い |
| ③ 自分に適した学習がわからない | ④ 関心のある講座や教室が無い |
| ⑤ 参加できる時間帯が合わない | ⑥ 一緒にに行う仲間がいない |
| ⑦ 参加方法がわからない | ⑧ 費用がかかる |
| ⑨ きっかけがつかめない | |

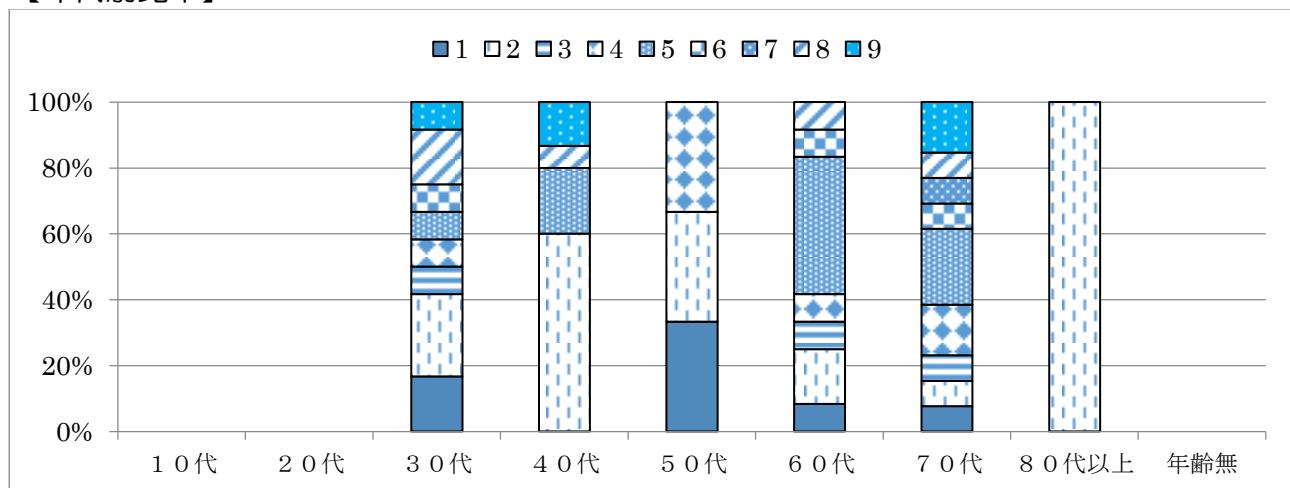
【学習を行なわなかった理由については、時間が無いと時間帯が合わないとの理由が変わらない状況にあります。】



【男女別比率】



【年代別比率】

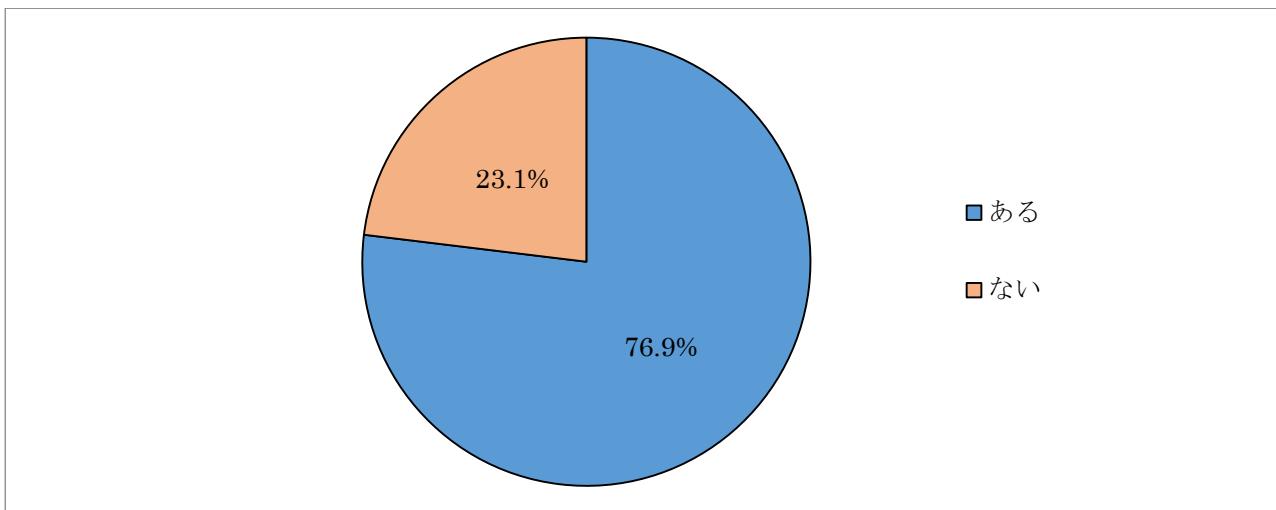


問9 あなたは公民館、体育館、図書館、博物館が行った事業（各種教室、講座、講演会、大会など）に参加したことがありますか。

① ある

② ない

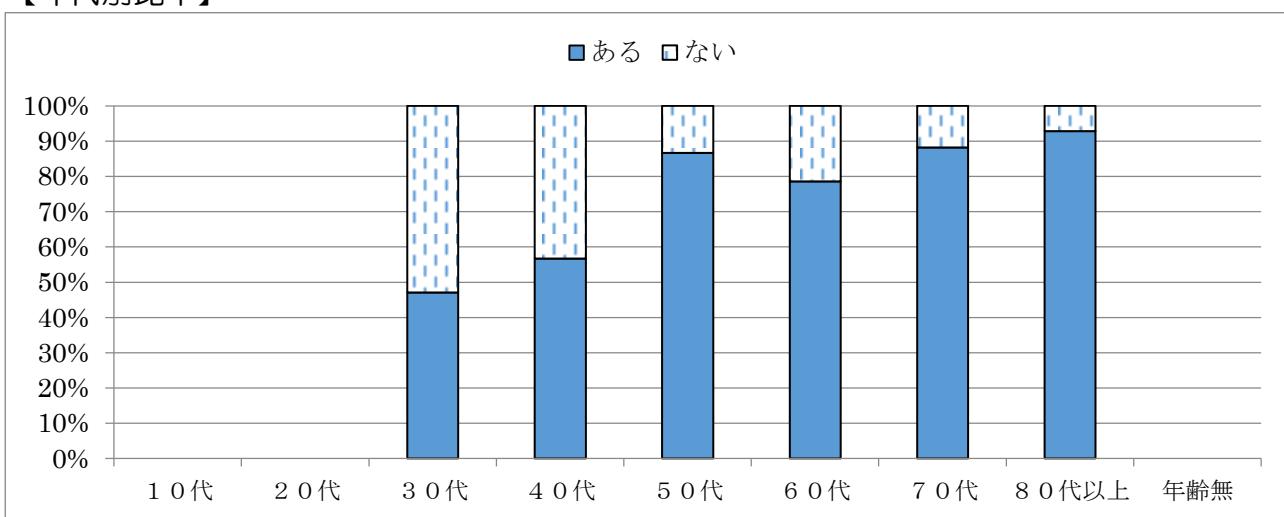
【事業への参加について、前回の 43.2%から 76.9%へ増加しており、各種事業の成果が見られる結果となっています。】



【男女別比率】



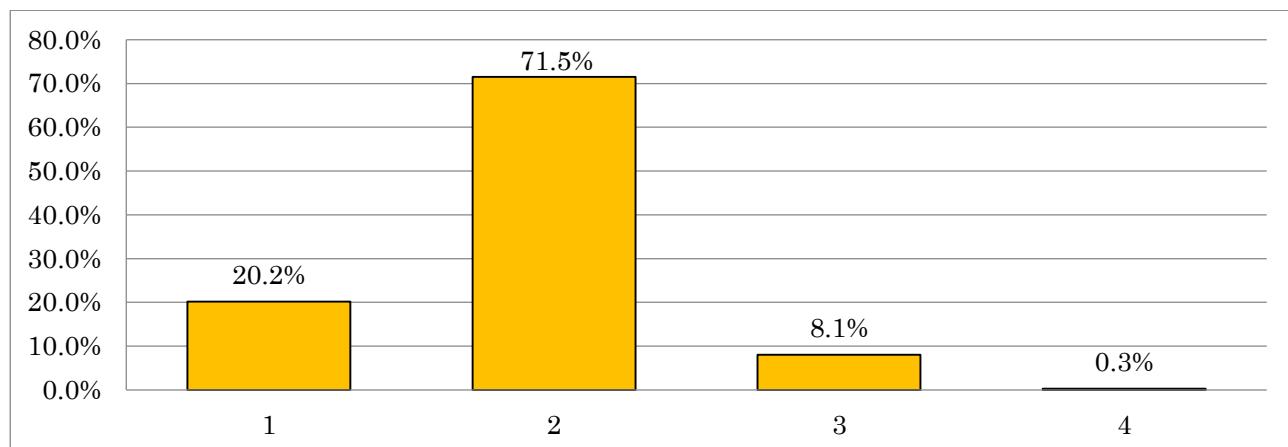
【年代別比率】



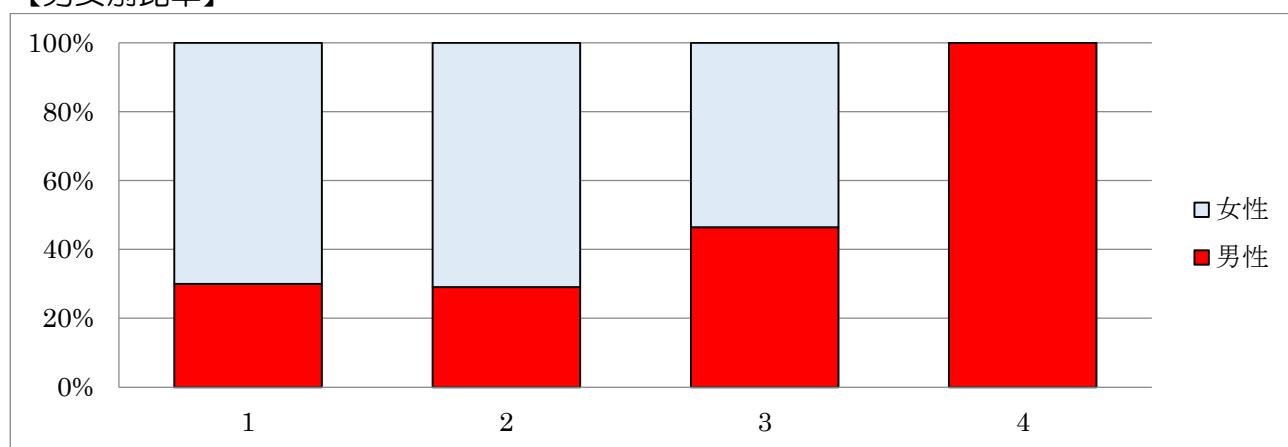
問10 参加された方で、事業に参加をしてどのように感じましたか。

- ① 十分満足している
- ② ある程度満足している
- ③ あまり満足していない
- ④ 全く満足していない

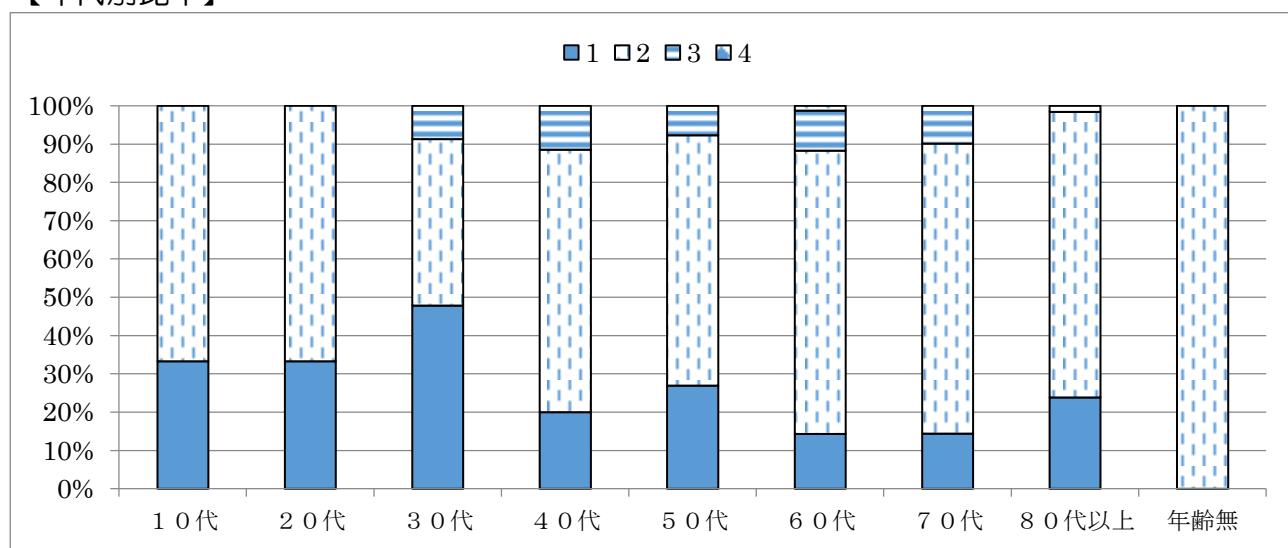
【事業参加の満足度については、十分満足・ある程度満足の割合が、前回 78.7%から 91.7%となっています。】



【男女別比率】



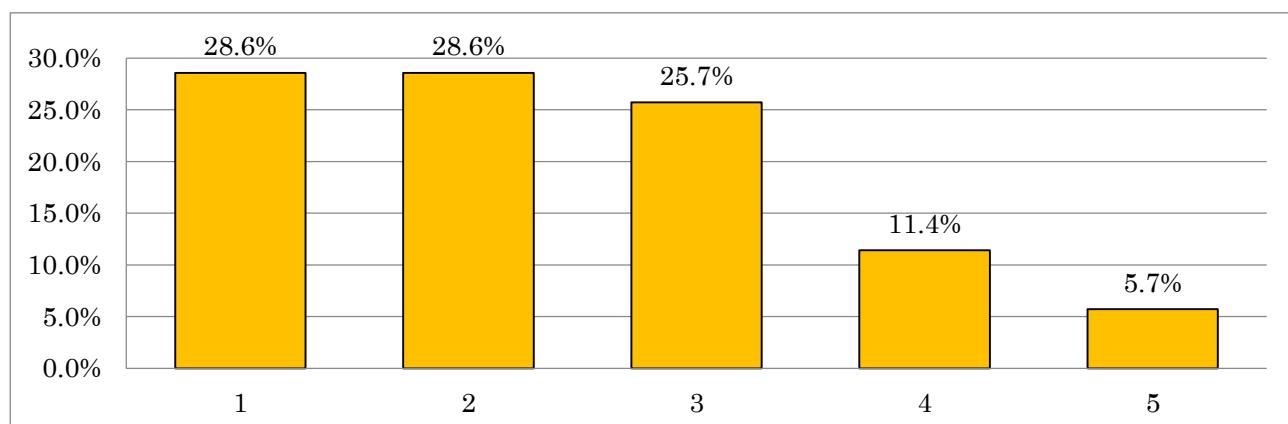
【年代別比率】



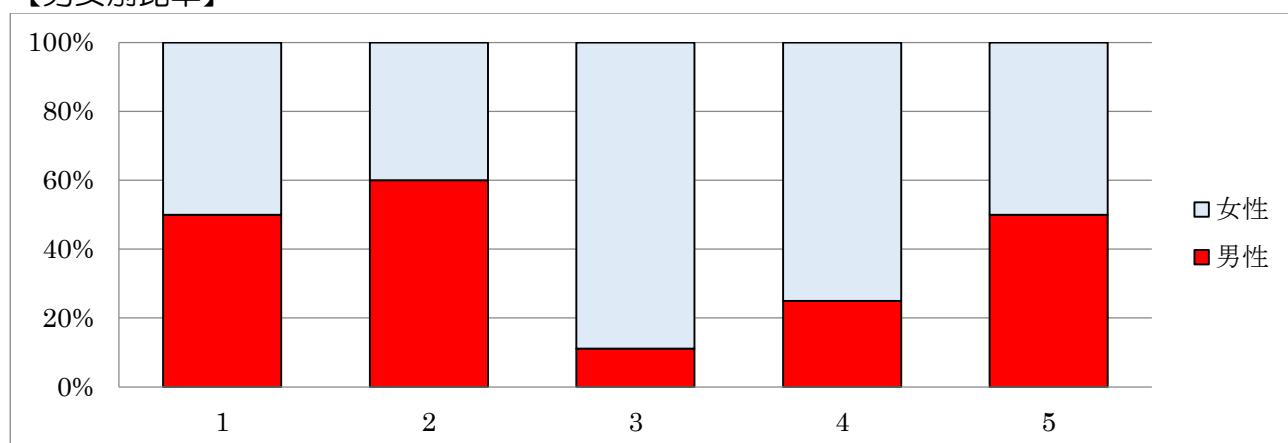
問111 問10で③、④を選んだ方は、満足できない理由を選んでください。

- ① 内容・講師がマンネリ化している ② 学習程度に応じた講座がない
③ 事業の種類や事業の数が少ない ④ 事業の開催時期、時間が偏っている
⑤ その他 ()

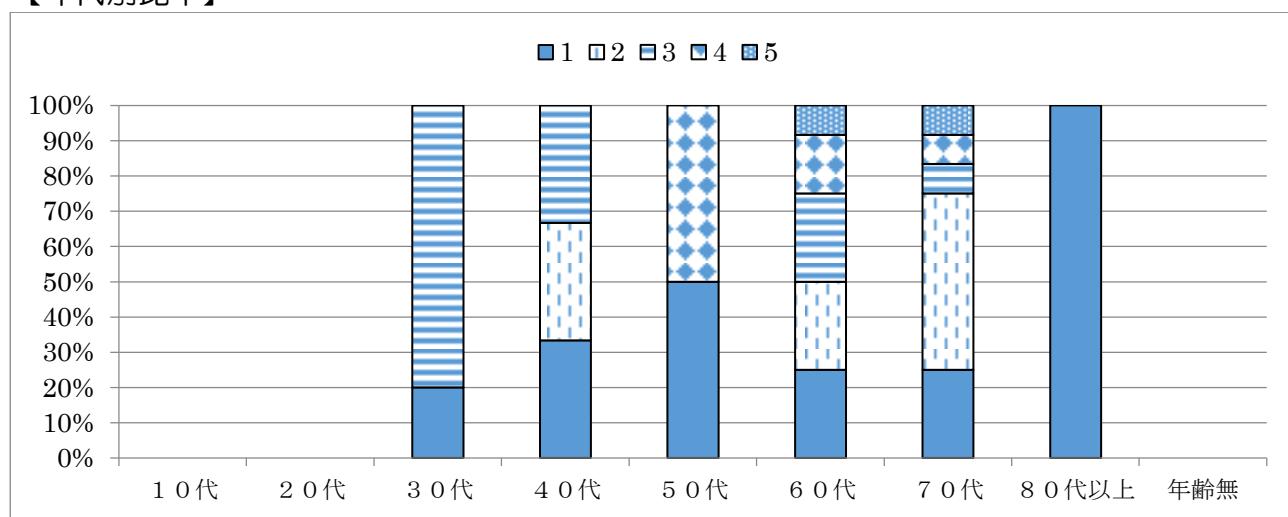
【満足できない理由については、①②③の理由割合に変化がなく、事業内容の強化が必要となる結果となっています。】



【男女別比率】



【年代別比率】

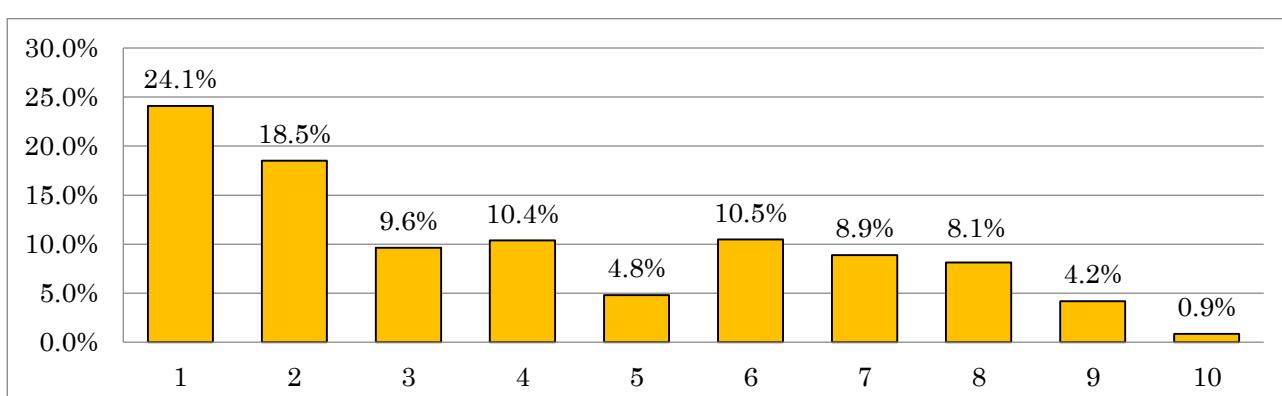


III 今後の学習活動について

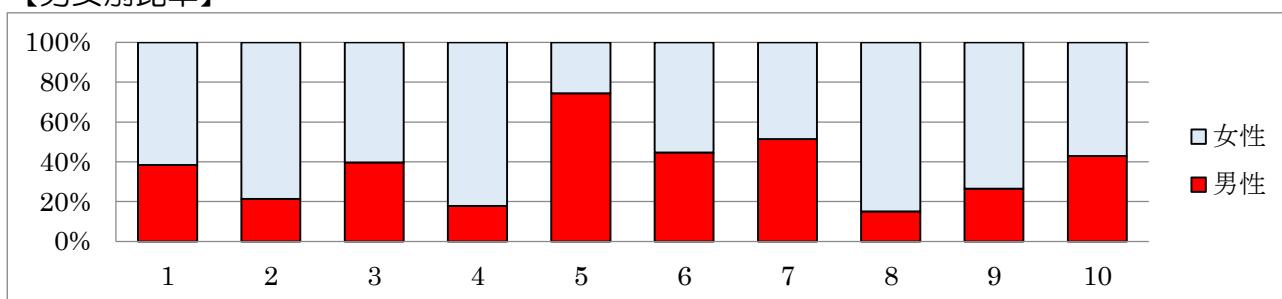
問12 あなたが今後学習したい又は、関心のあることは何ですか。（複数可）

- ① スポーツ、レクリエーションなどの運動や健康に関する学習
- ② 茶道、華道、舞踊、絵画、書道、音楽などの趣味や芸術・芸能に関する学習
- ③ 仕事や職業上の知識、技術に関する学習（パソコン含む）
- ④ 料理、和洋裁、育児など家庭生活に関する学習
- ⑤ 政治、経済、時事問題など社会生活に関する学習
- ⑥ 語学、文学、歴史など一般教養に関する学習
- ⑦ 余市町の歴史、文化財などに関する学習
- ⑧ 社会福祉・ボランティア活動に関する学習
- ⑨ 国際交流・国際文化に関する学習（英会話など）
- ⑩ その他（ ）

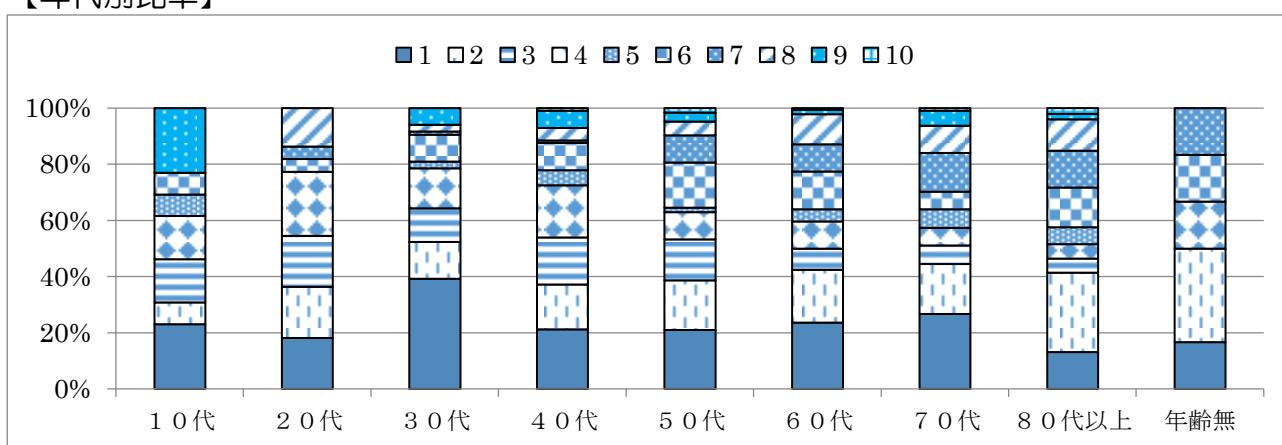
【関心のある学習については、スポーツ・健康と趣味に関する関心の割合が依然として高く、割合に変化はありませんでした。】



【男女別比率】



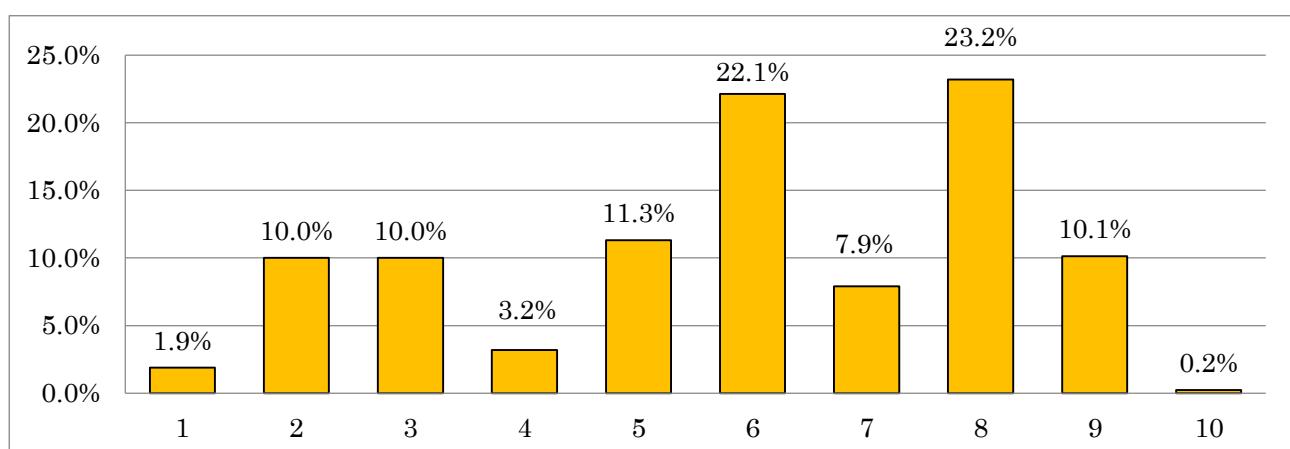
【年代別比率】



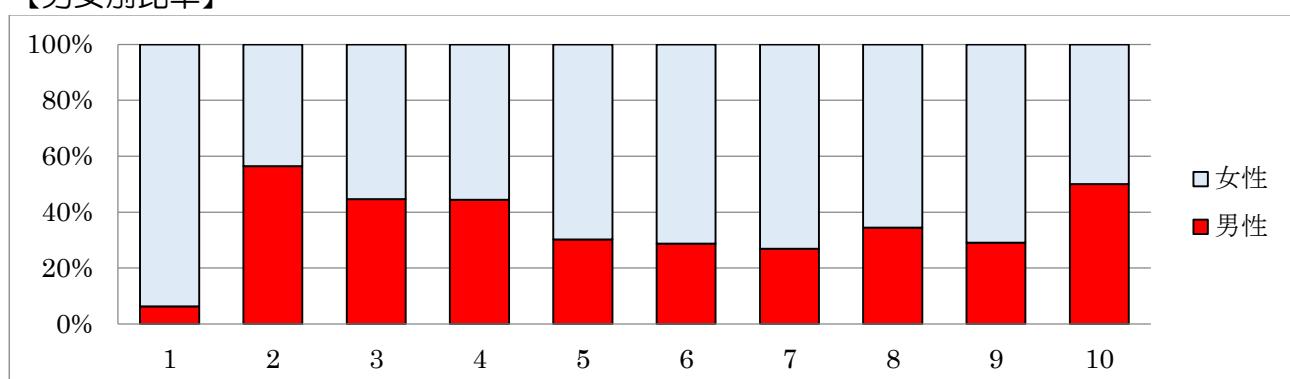
問1 3 どのような方法で学習を行いたいですか。（複数可）

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| ① 通信教育、放送大学など | ② インターネットなどを利用 |
| ③ テレビ、図書 | ④ 職場の研修会などに参加 |
| ⑤ 民間が開設する教室や各種学校に参加 | |
| ⑥ 町や教育委員会が開設する講座、教室などに参加 | |
| ⑦ 青年・女性団体、PTA、老人クラブなどの活動に参加 | |
| ⑧ 趣味の会、文化・スポーツ団体、サークルに参加 | |
| ⑨ 家族や友人など仲間同士で活動 | |
| ⑩ その他（ ） | |

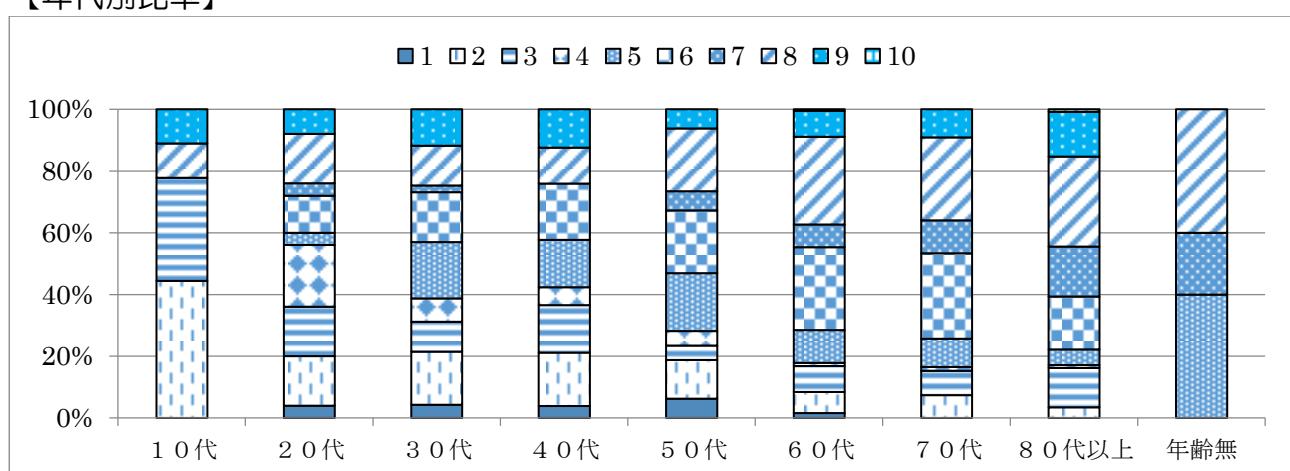
【学習方法については、町や教育委員会の講座・教室と趣味の会やサークルに参加するが、前回同様高い割合であり、学習機会の提供・推進が求められています。】



【男女別比率】



【年代別比率】



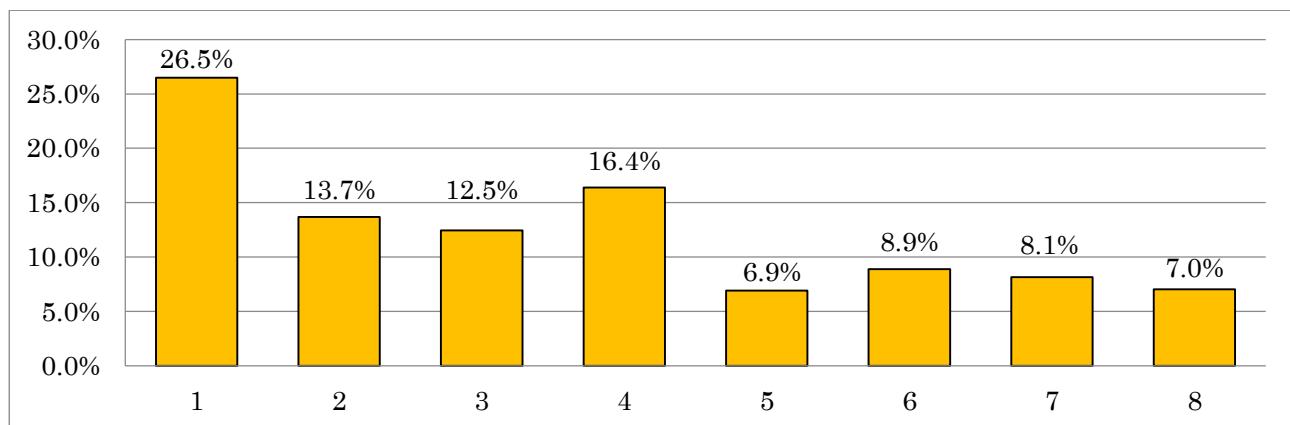
IV 学習情報について

問1 4 学習やスポーツ活動を進める上で、必要な情報をどこから得ていますか。

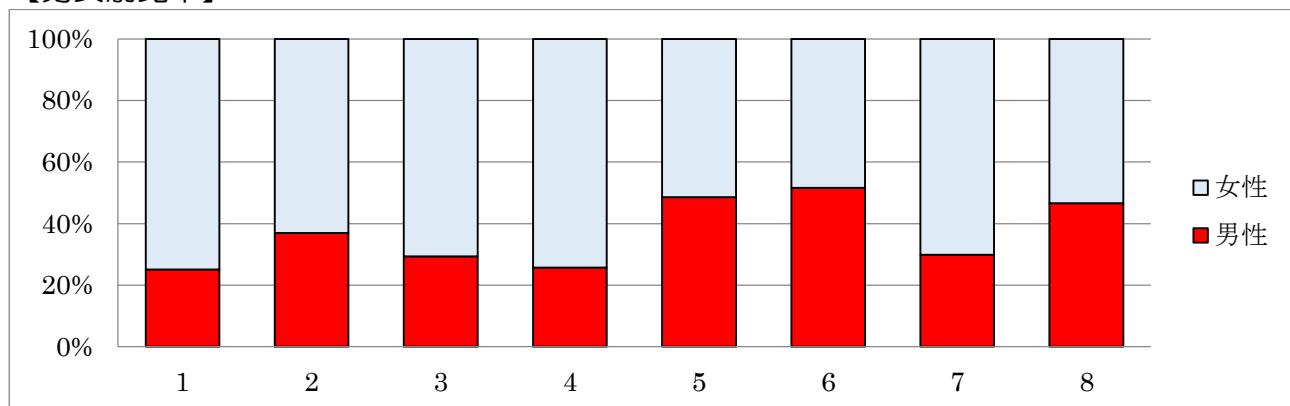
(複数可)

- ① 町広報「よいち」、教育委員会「生涯学習だより」
- ② 新聞、雑誌、新聞折込み
- ③ 公民館、体育館、図書館などの施設
- ④ 知人や友人の口コミ
- ⑤ テレビ、ラジオ
- ⑥ インターネット
- ⑦ 区会の回覧やお知らせ
- ⑧ 学校、職場、所属団体

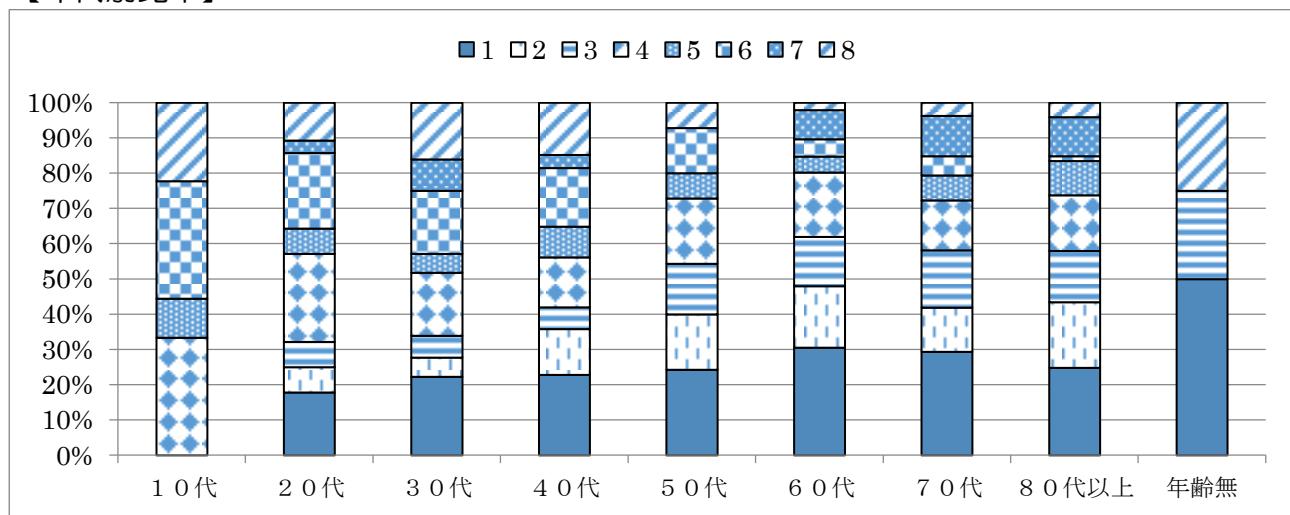
【学習情報も前回同様、広報・口コミの割合に変わりはありませんでした。】



【男女別比率】



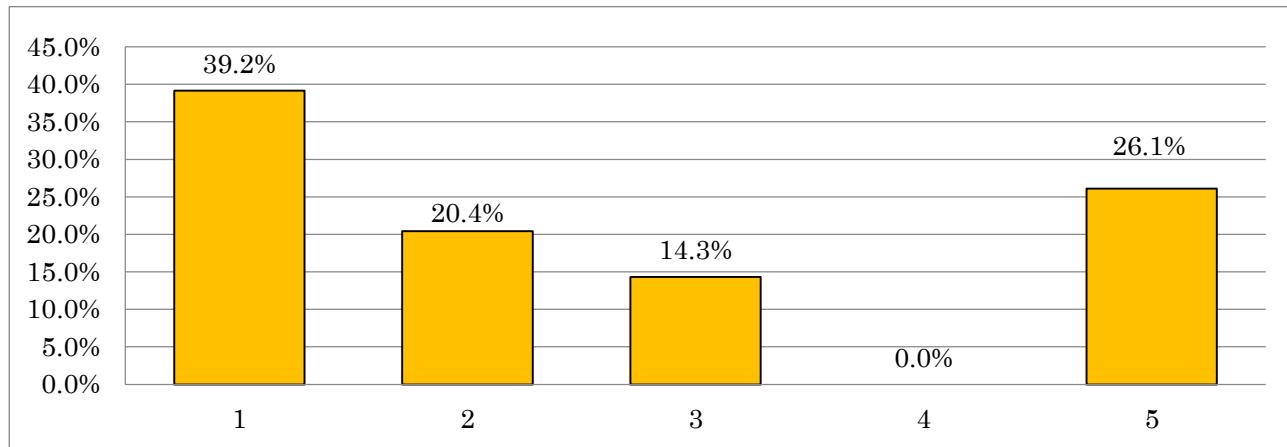
【年代別比率】



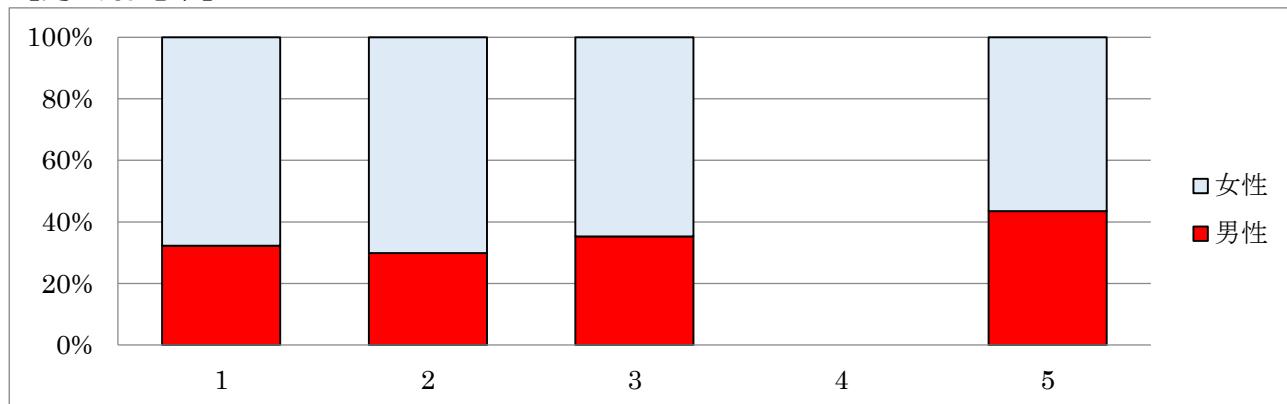
問15 学習のために知りたい情報、又は提供してほしい情報がありますか。

- ① 各種学級、講座などの学習機会に関する内容、日時、参加方法
- ② サークルや団体などの活動状況や入会方法
- ③ 講師、指導者について
- ④ その他（
）
- ⑤ 特になし

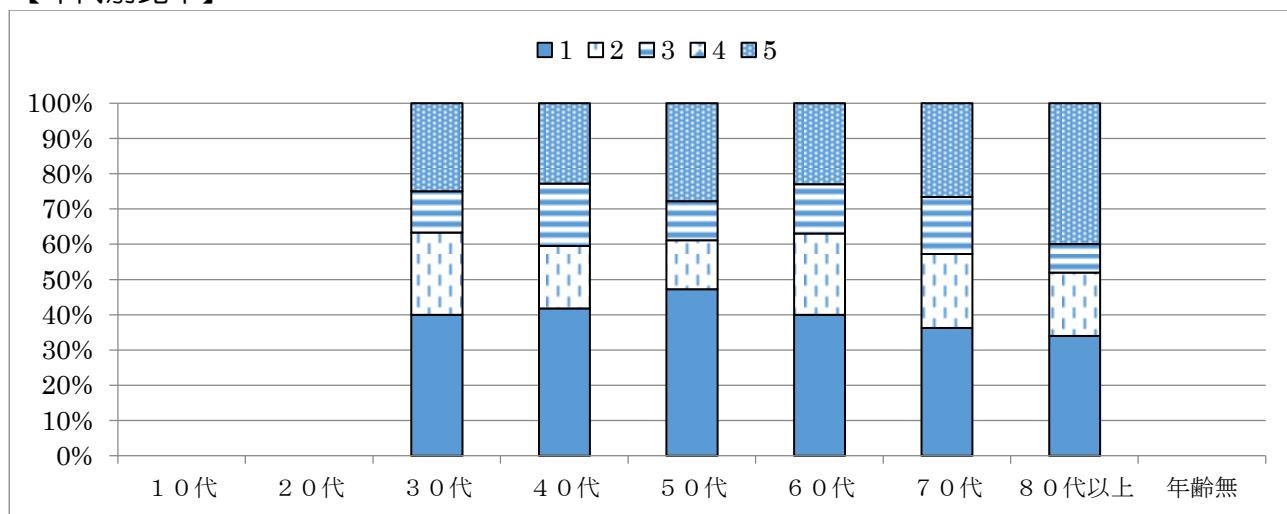
【提供して欲しい情報についても、割合に変化はありませんでした。】



【男女別比率】



【年代別比率】

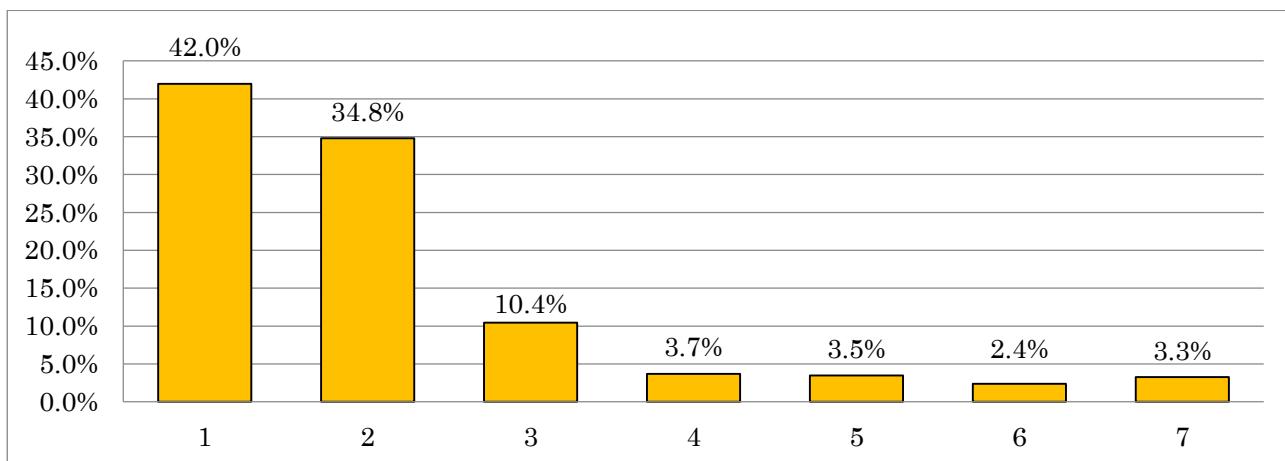


V 図書館・読書活動について

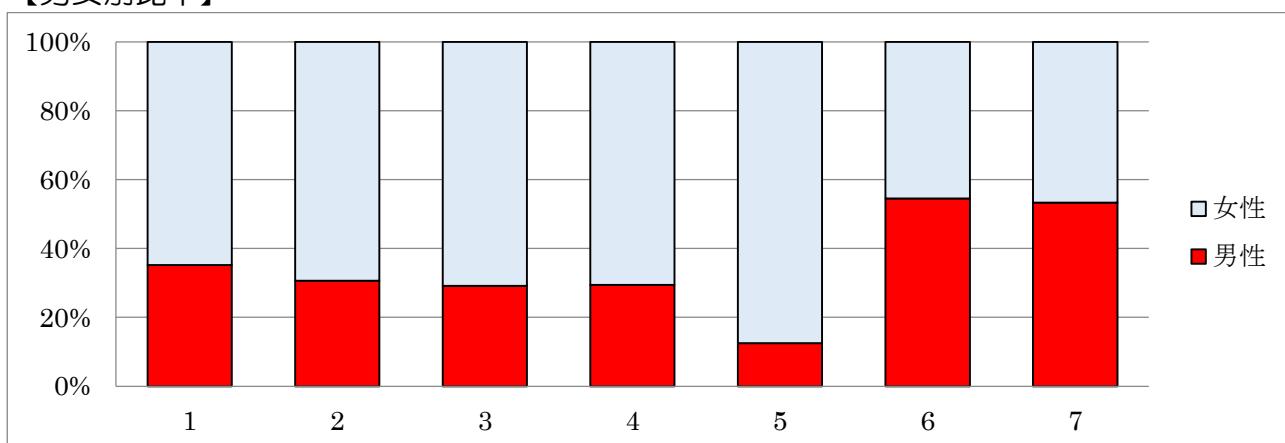
問16 あなたは、この1年間で図書館を何回利用しましたか。

- ① 利用しなかった ② 1～10回 ③ 10回以上 ④ 20回以上
- ⑤ 30回以上 ⑥ 40回以上 ⑦ 50回以上

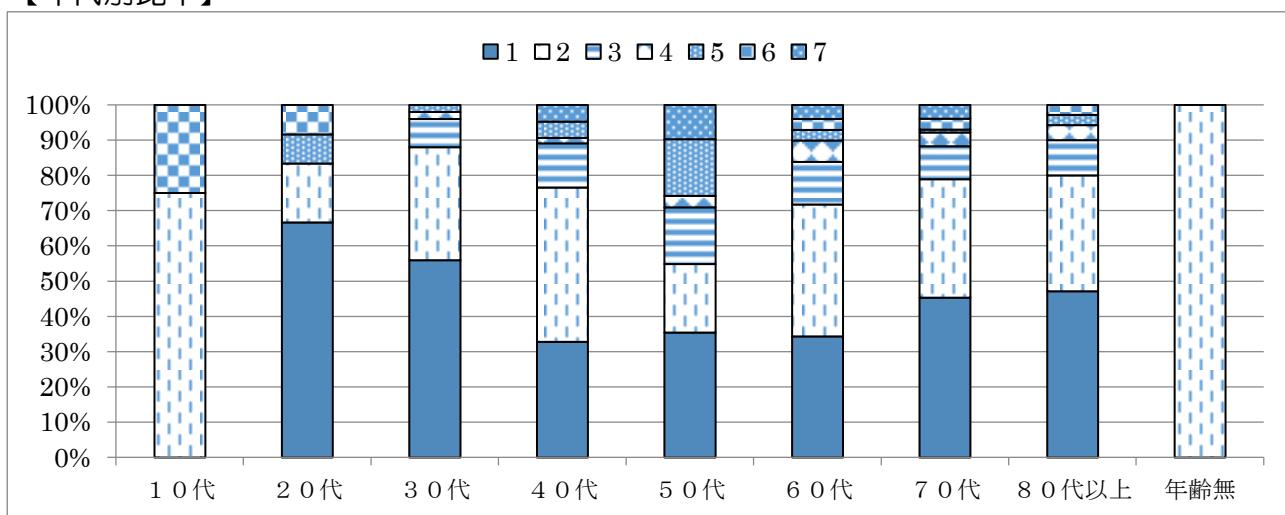
【図書館利用については、前回 70%の町民が利用しなかったと回答しましたが、今回は 42%となっており、着実に利用率の増加がみられ、子どもの読書活動推進計画策定により事業成果が上がっています。】



【男女別比率】



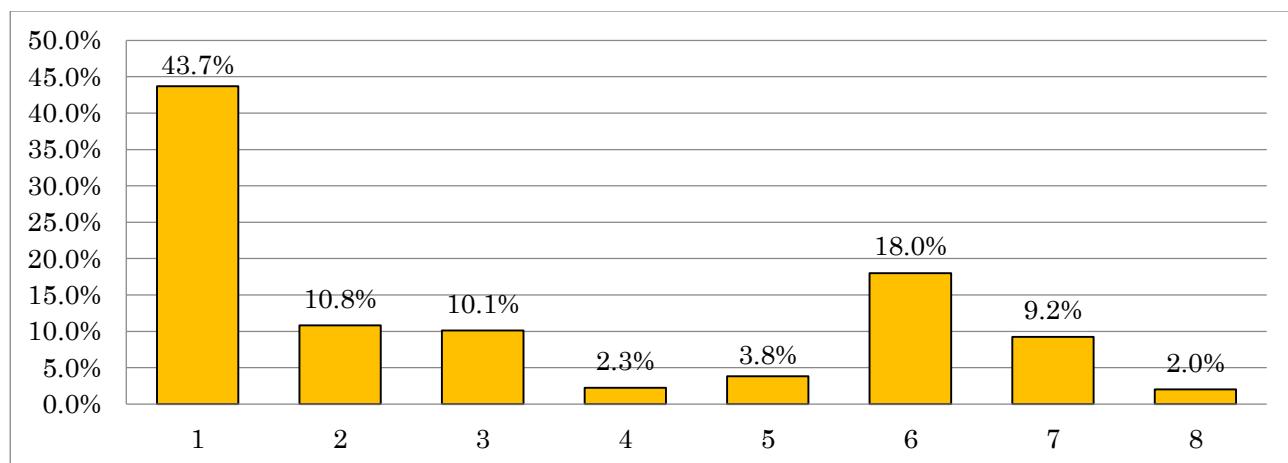
【年代別比率】



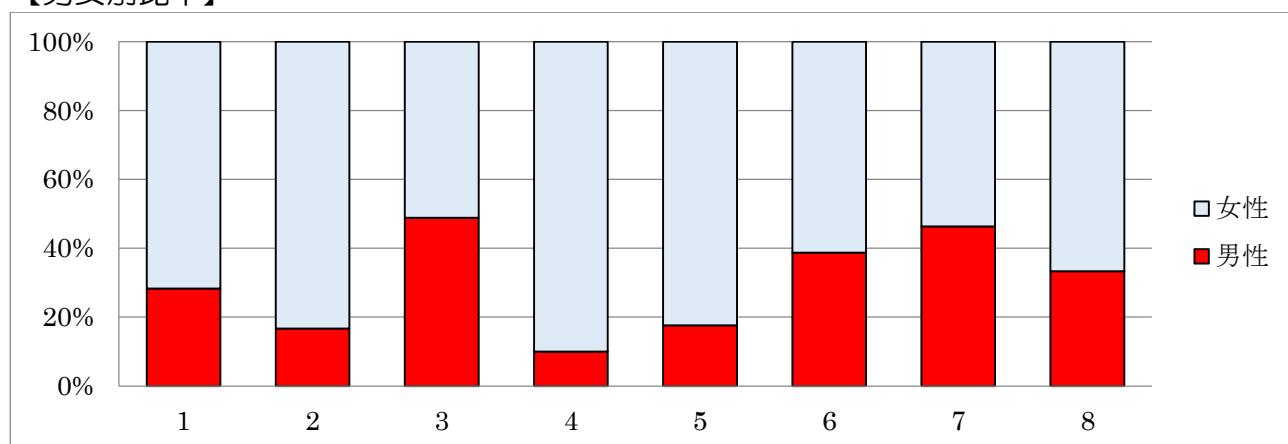
問17 あなたはこの1年間でどのような事で図書館を利用しましたか。

- ① 本を借りた
- ② イベントや事業に参加した
- ③ 新聞・雑誌を利用
- ④ ビデオ・DVDなどを利用した
- ⑤ 映画会を利用
- ⑥ 調べ物をするため利用
- ⑦ 利用したことがない
- ⑧ その他（ ）

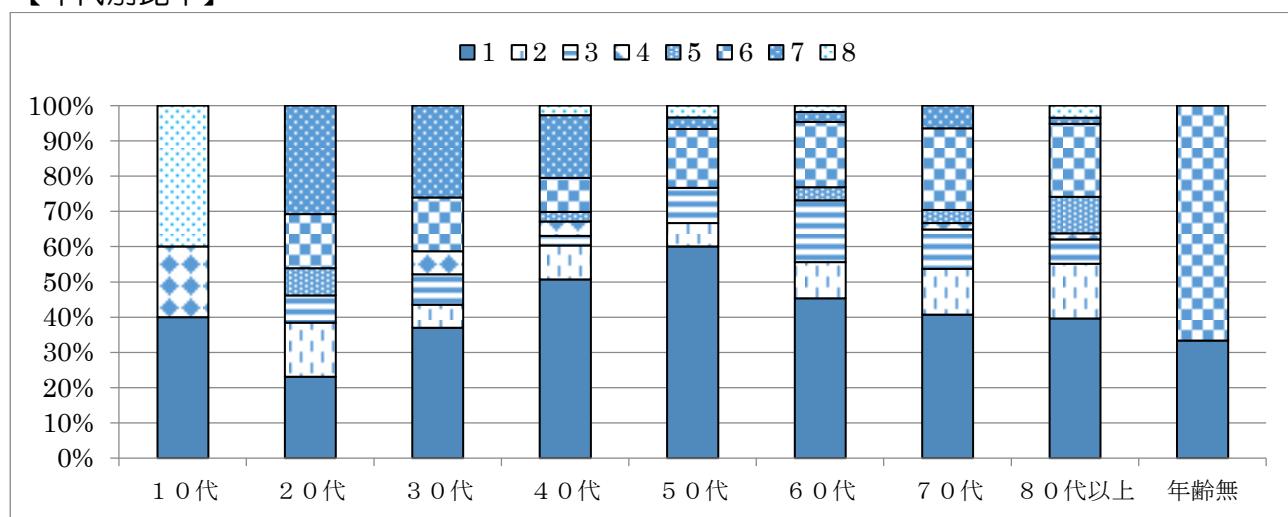
【図書館利用の内容ですが、本を借りたが半数を占めており、本の貸出以外のサービスについてPRが必要です。】



【男女別比率】



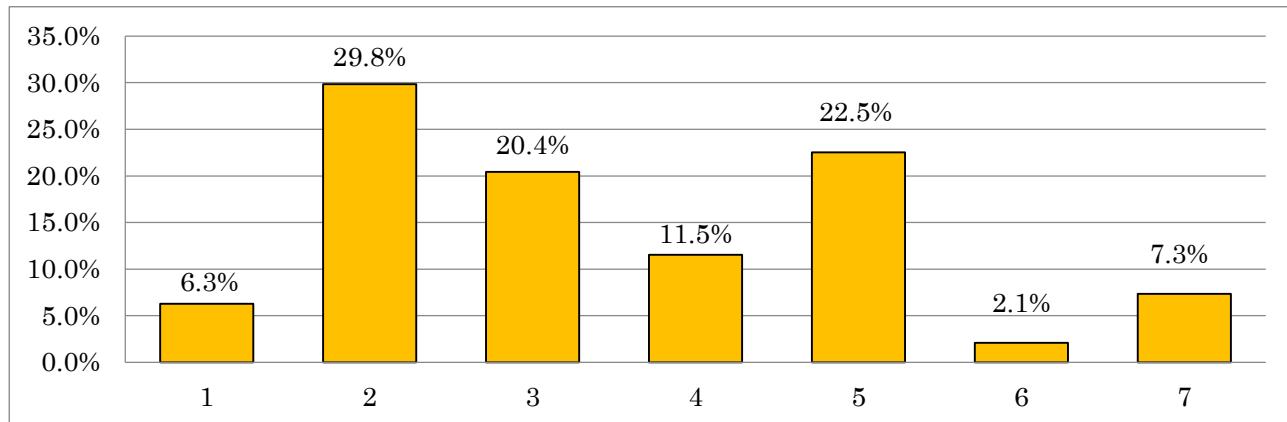
【年代別比率】



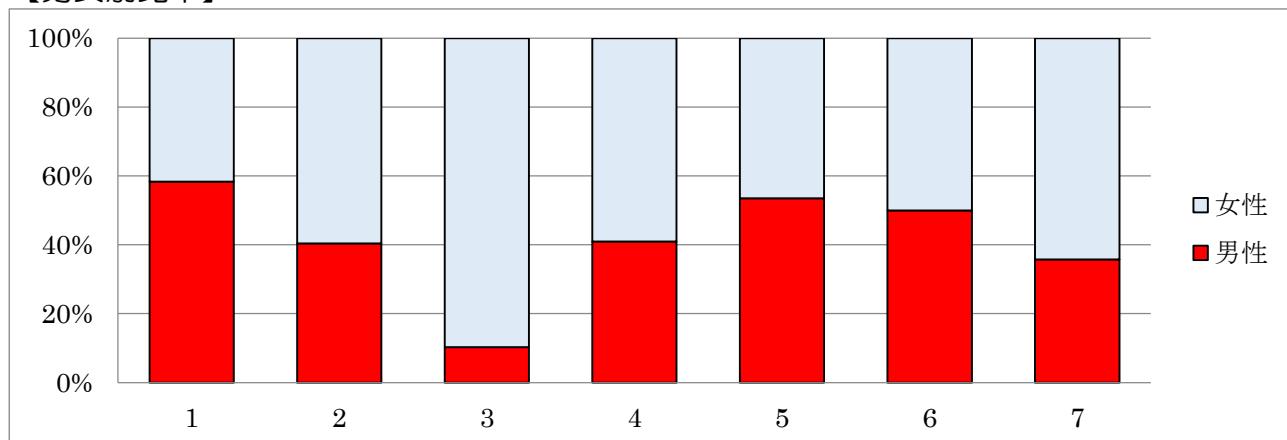
問18 利用しなかった人にお聞きします。図書館を利用しなかったのは、下記のどの理由に当てはまりますか。

- ① 読みたい本がない ② 本は自分で買ってくる ③ 遠くて行けない
- ④ 開館時間に行けない ⑤ 興味が無い ⑥ 利用のしかたがわからない
- ⑦ その他 ()

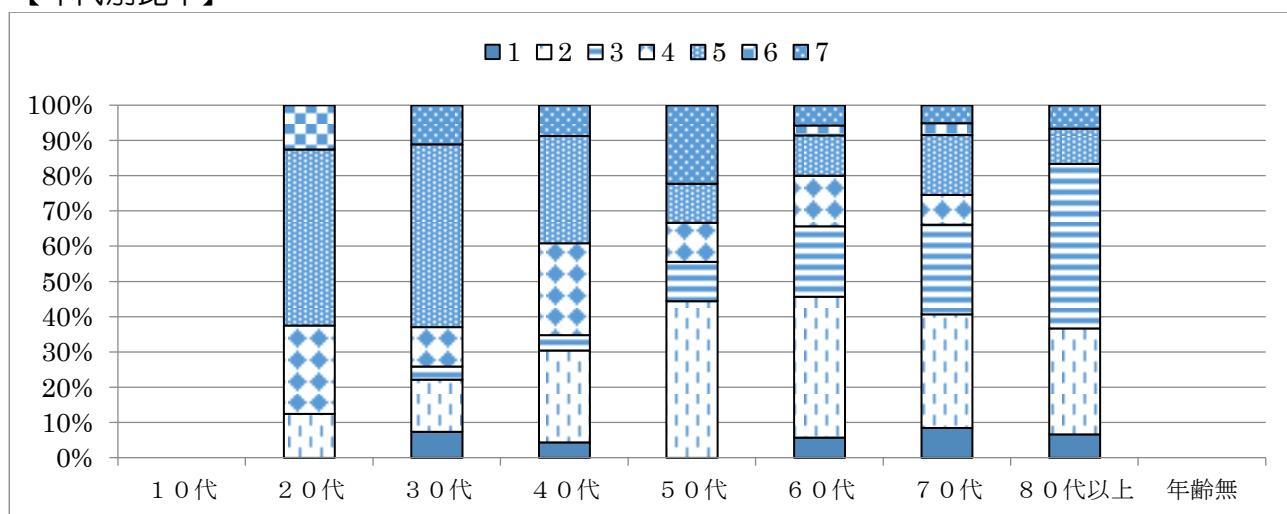
【利用しなかった理由として新設の問い合わせで、本は自分で買うの後に、興味が無いとの回答が多く、本を読まない潜在者に対する掘り起しが必要となる結果となっています。】



【男女別比率】



【年代別比率】

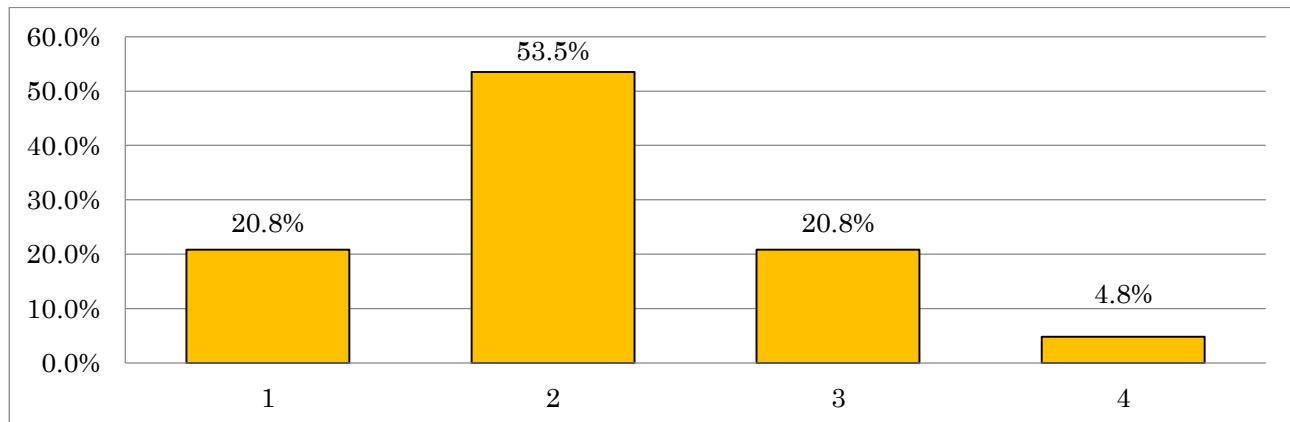


VI 文化財について

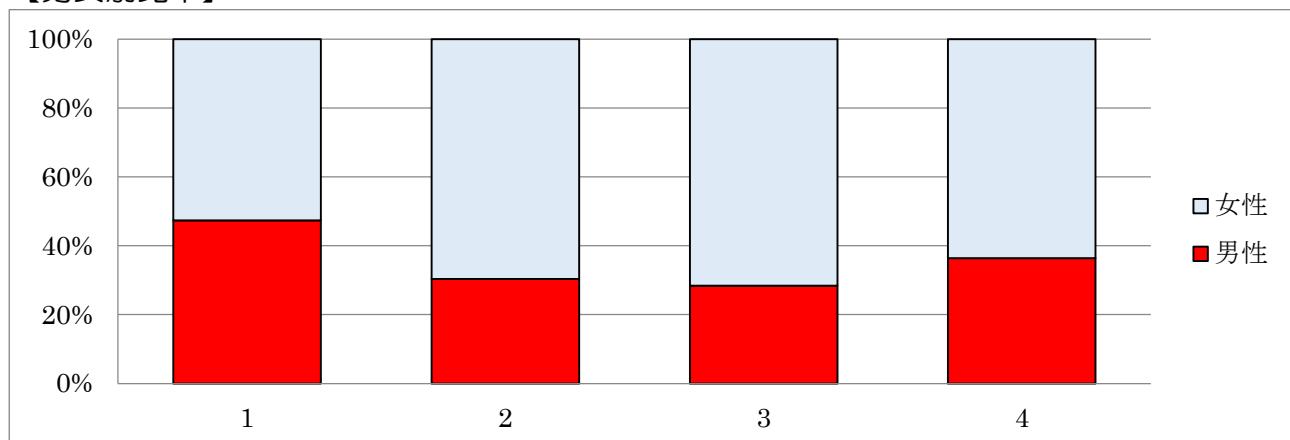
問19 余市町は国指定のものを含め、貴重な文化財が多くありますが、あなたは文化財について関心がありますか。

- ① 大いに関心がある
- ② 少今は関心がある
- ③ あまり関心がない
- ④ まったく関心がない

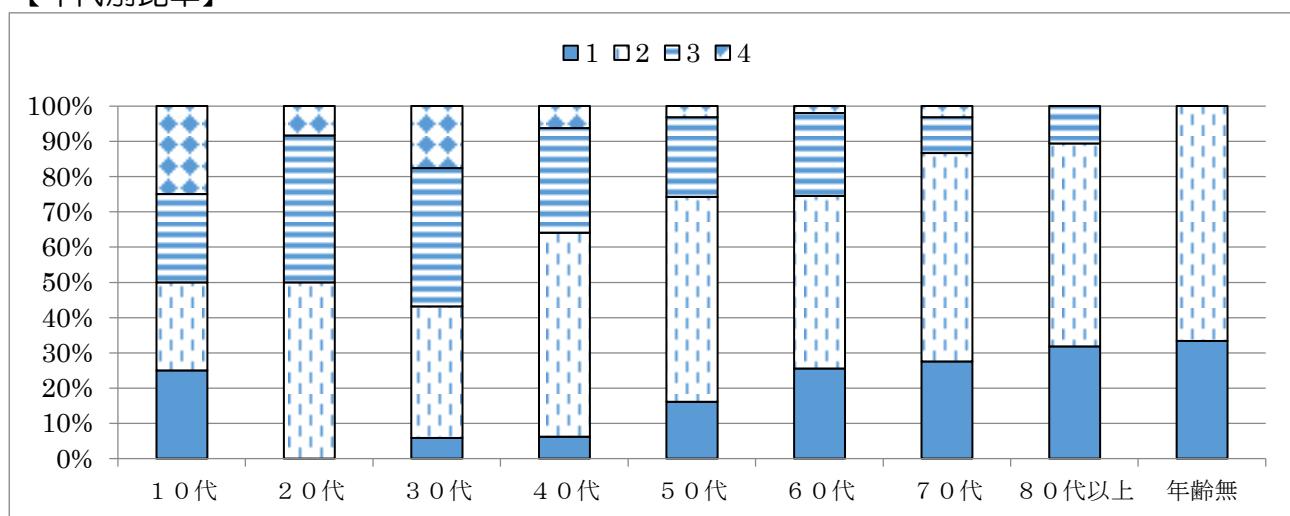
【文化財の関心度については、関心がある・多少関心があるの割合に変化はありませんでした。】



【男女別比率】



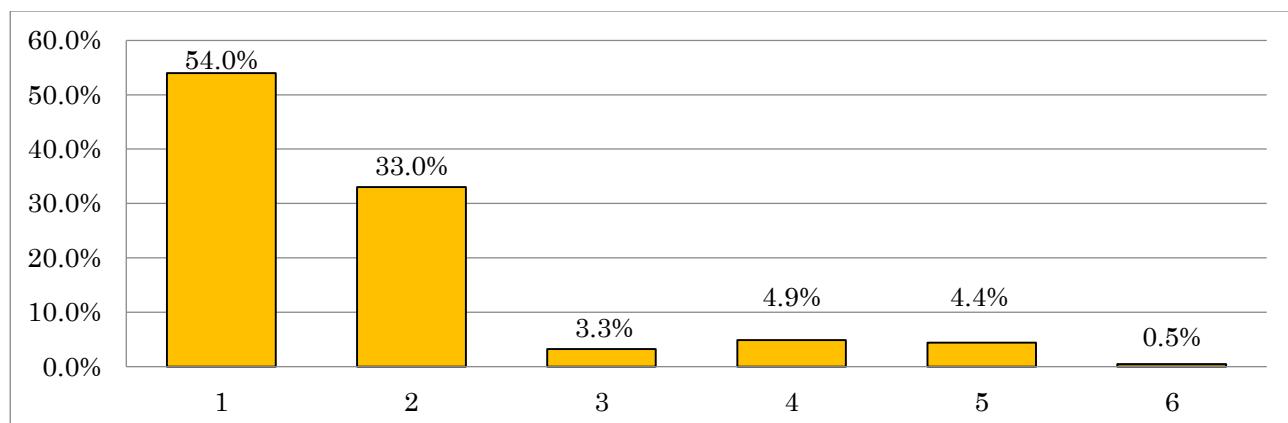
【年代別比率】



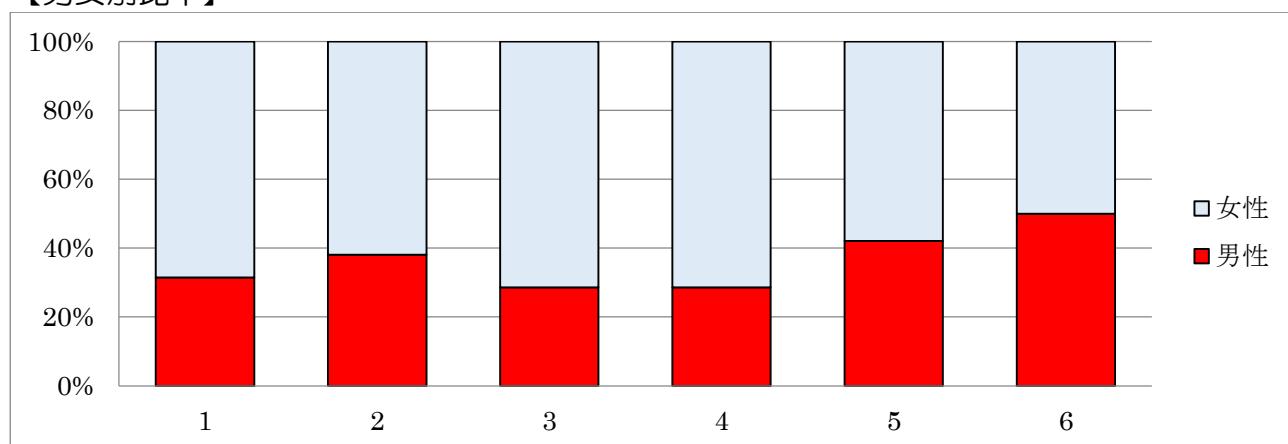
問20 町内の文化財に关心があり、関わってみたいと思うものをお答え下さい。

- ① 見学するだけでよい
- ② 関係する講座、講演会への参加
- ③ 解説ボランティア
- ④ 施設の整備等のボランティア
- ⑤ 文化財の資料整理のボランティア
- ⑥ その他 ()

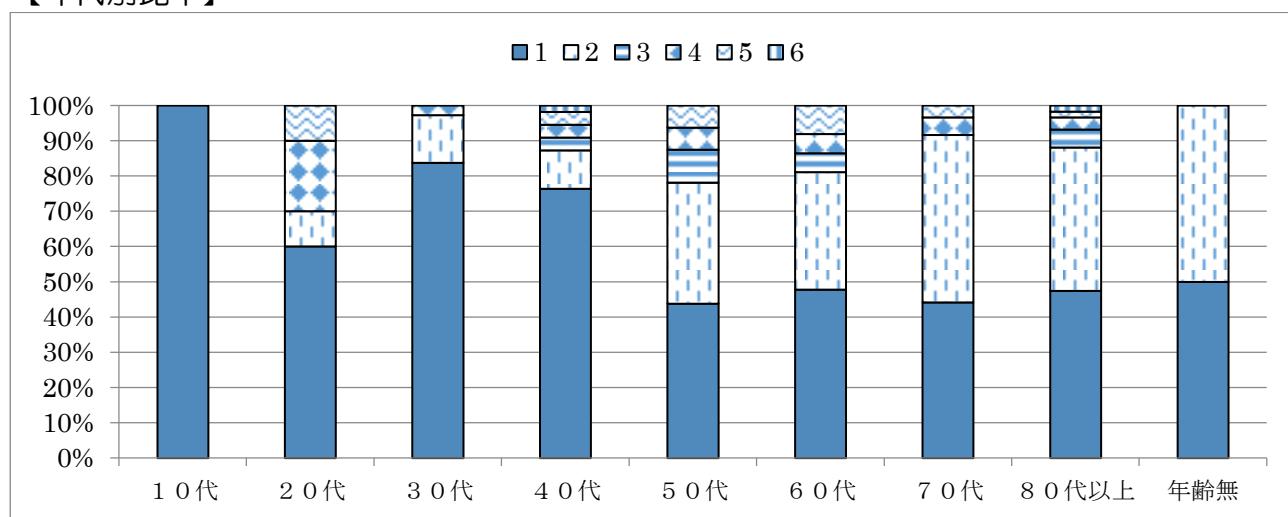
【文化財の関心について新設の問い合わせ、見学・講演会への参加が87%で、ボランティアとしての関わりについては低く、参加型の取組に課題であります。】



【男女別比率】



【年代別比率】

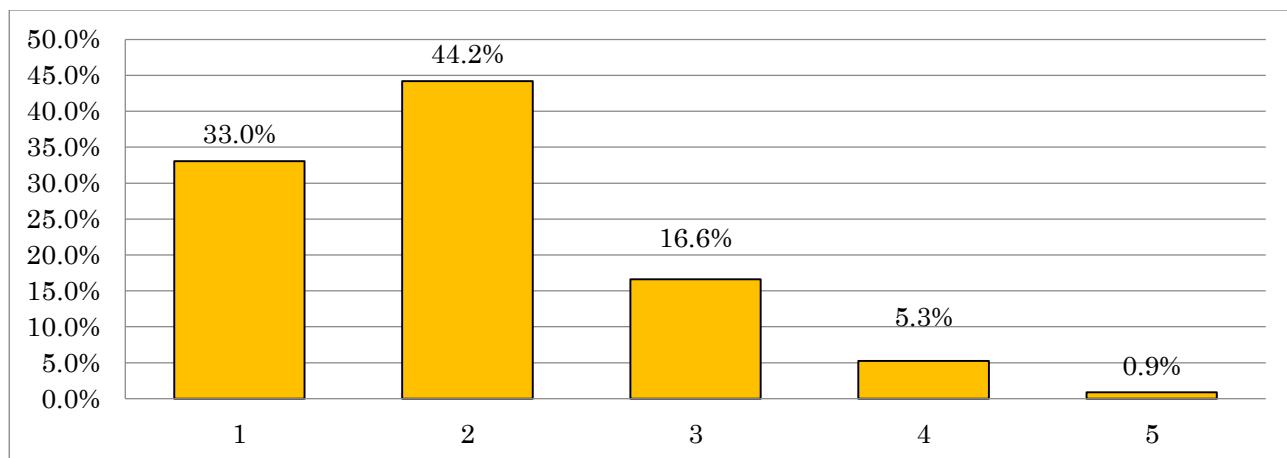


VII スポーツ・レクリエーションについて

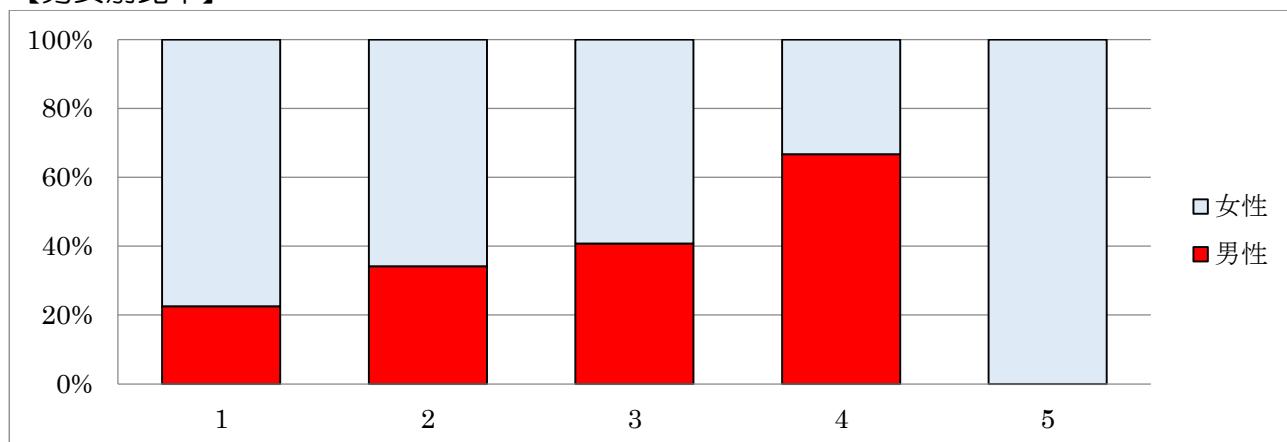
問21 あなたは現在、運動不足を感じていますか。

- ① 大いに感じる ② 少し感じる ③ あまり感じない
- ④ 全く感じない ⑤ わからない

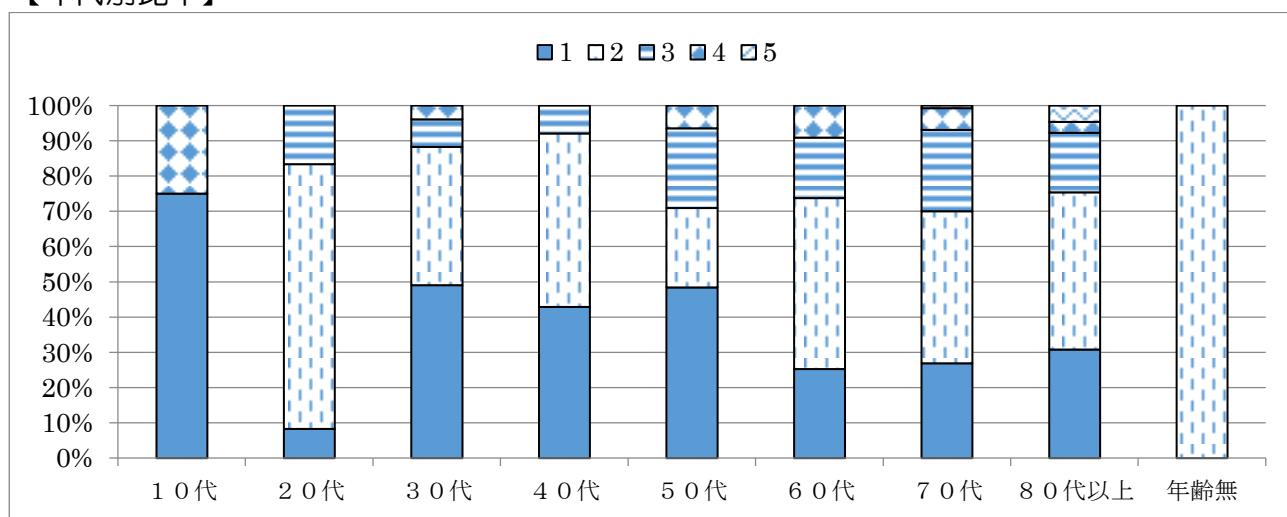
【運動不足については、8割の町民が運動不足を感じている回答となりました。】



【男女別比率】



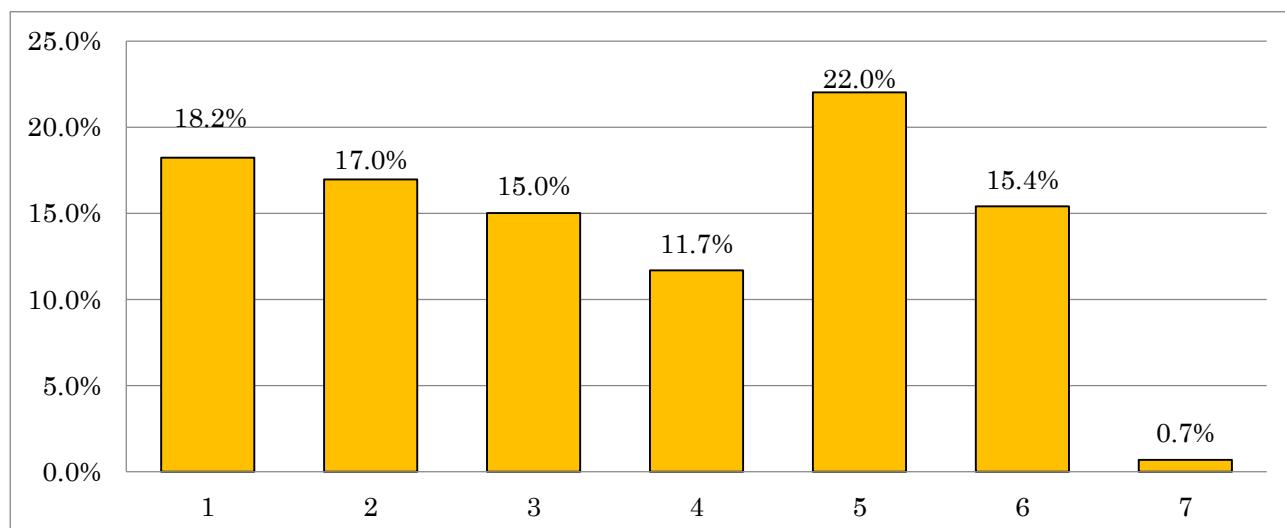
【年代別比率】



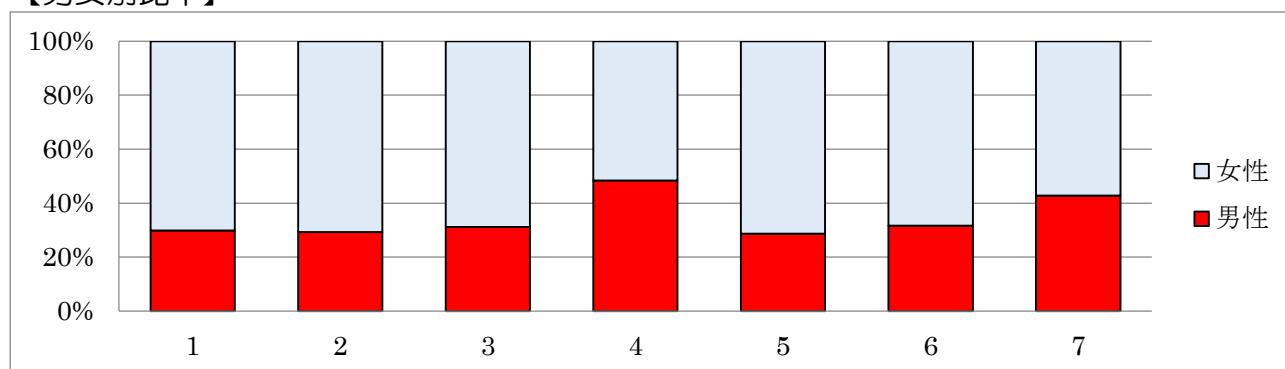
問22 あなたは、日頃から健康や体力維持のために心がけていることはありますか。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① 睡眠や休養ができるだけとる | ② 規則正しい生活を送る |
| ③ ストレスを溜めない | ④ 運動やスポーツをする |
| ⑤ 食生活に気を付けている | ⑥ 日常できるだけ体を動かしている |
| ⑦ その他 () | |

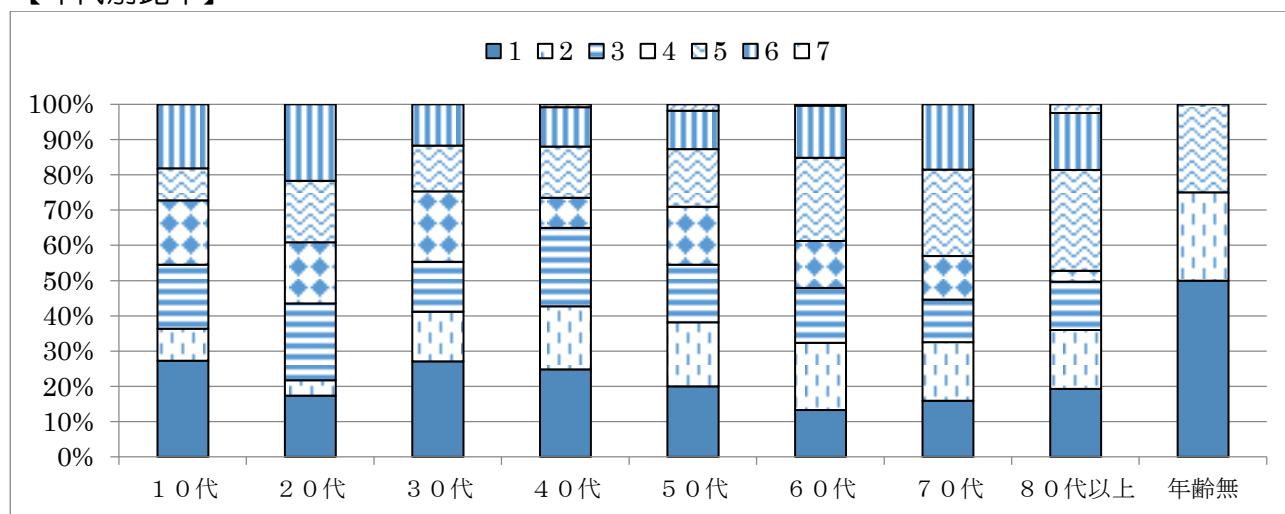
【健康・体力維持については、運動による体力維持の割合より、食事に気を付けている割合が高くなっています。】



【男女別比率】



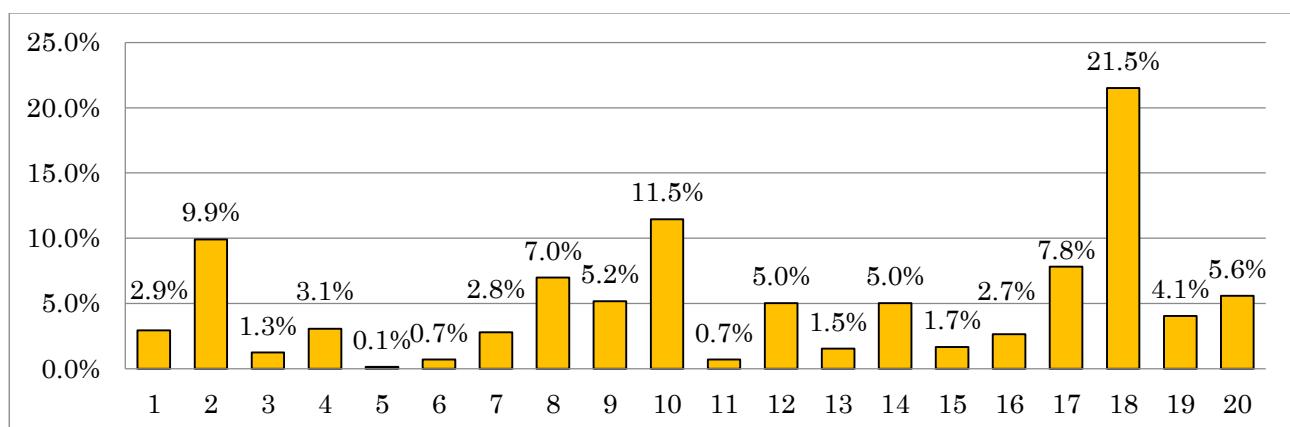
【年代別比率】



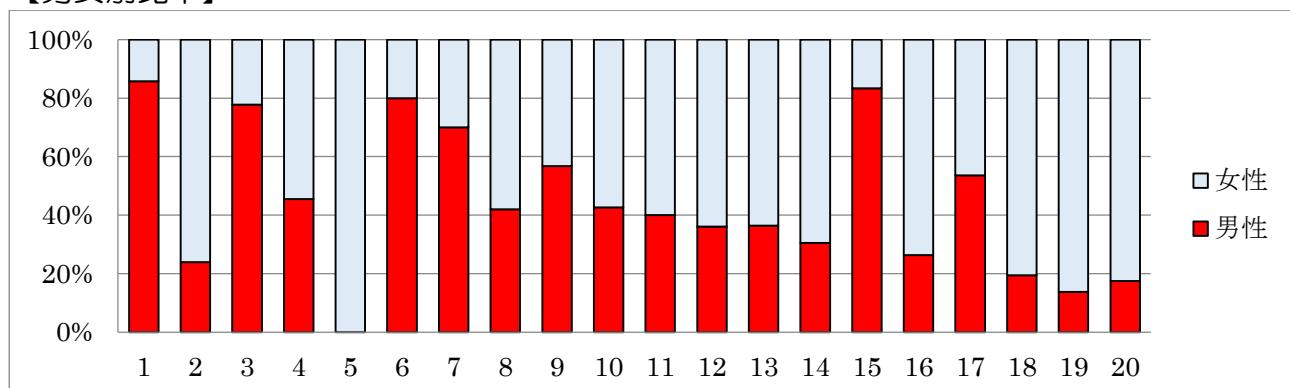
問2 ③ あなたがこれから行ってみたいスポーツについてお答え下さい。(複数可)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| ① 野球 | ② 水泳 | ③ サッカー |
| ④ バレーボール | ⑤ 剣道 | ⑥ 柔道 |
| ⑦ ゴルフ | ⑧ ジョギング | ⑨ スキー |
| ⑩ パークゴルフ | ⑪ ゲートボール | ⑫ バトミントン |
| ⑬ バスケットボール | ⑭ 卓球 | ⑮ ソフトボール |
| ⑯ テニス | ⑰ 登山 | ⑱ 健康づくり体操 |
| ⑲ エアロビクス | ⑳ その他 () | |

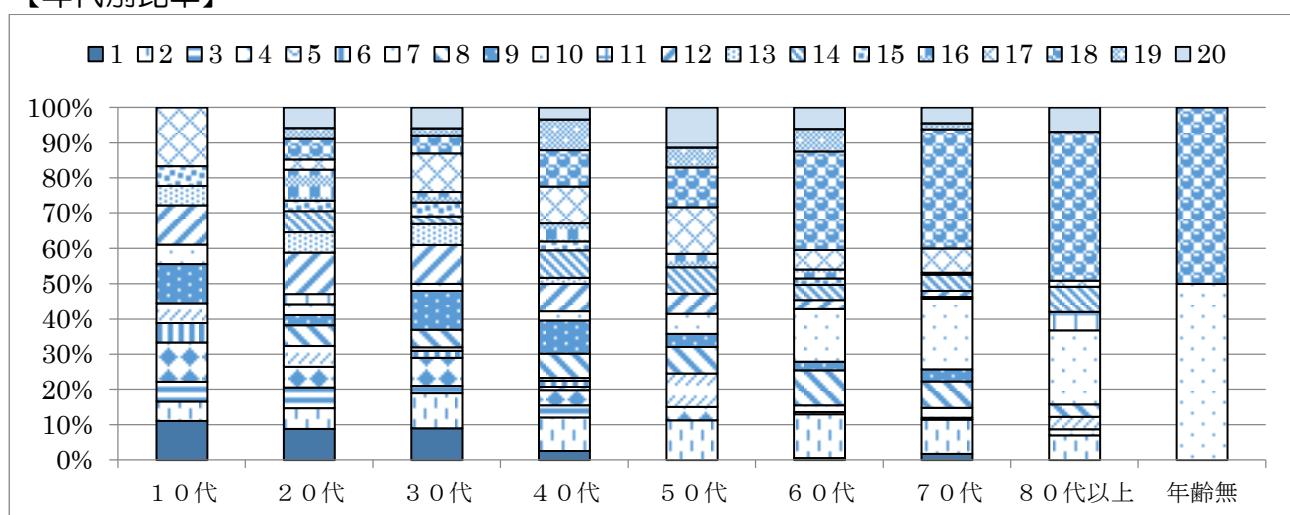
【これから行なってみたいスポーツについては、依然、健康づくり体操に対する割合が高くなっています。】



【男女別比率】



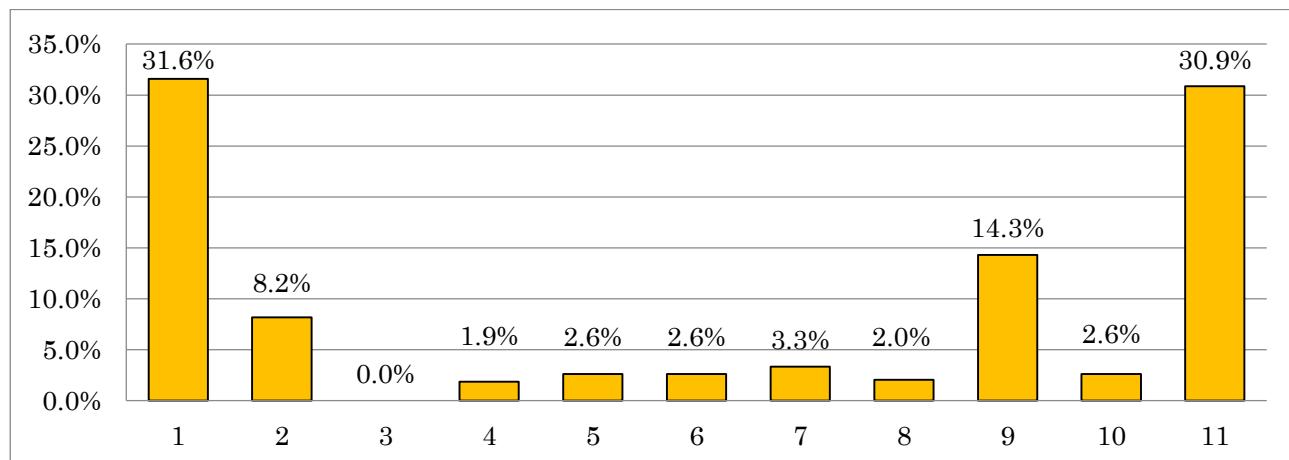
【年代別比率】



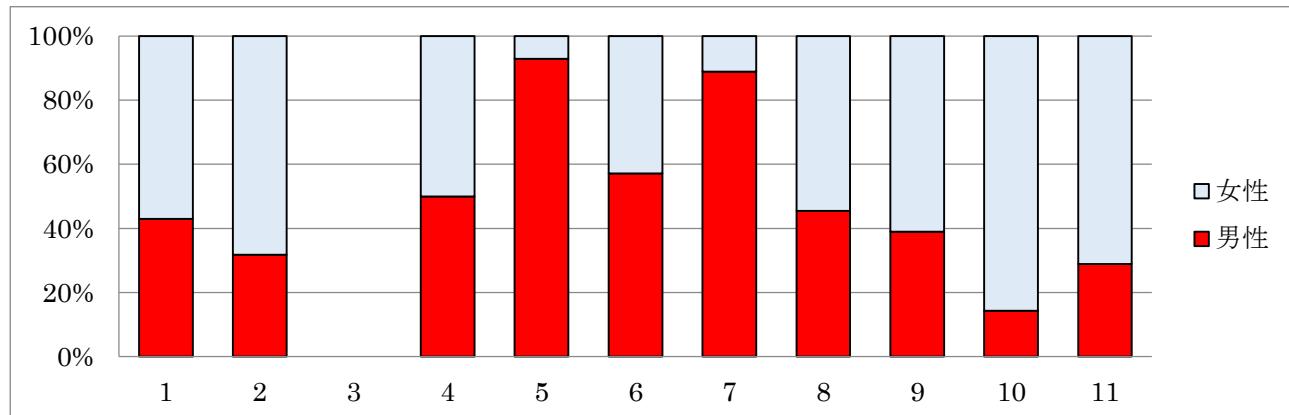
問24 次のスポーツ施設の中で、あなたが一年間にスポーツ活動で利用したことがある施設をお答え下さい。(複数可)

- | | | |
|-----------|---------|-----------------|
| ① 総合体育館 | ② 温水プール | ③ 沢西児童生徒あけぼのプール |
| ④ テニスコート | ⑤ 野球場 | ⑥ 陸上競技場 |
| ⑦ 自由広場 | ⑧ 多目的広場 | ⑨ パークゴルフ場 |
| ⑩ その他 () | | ⑪ 利用したことがない |

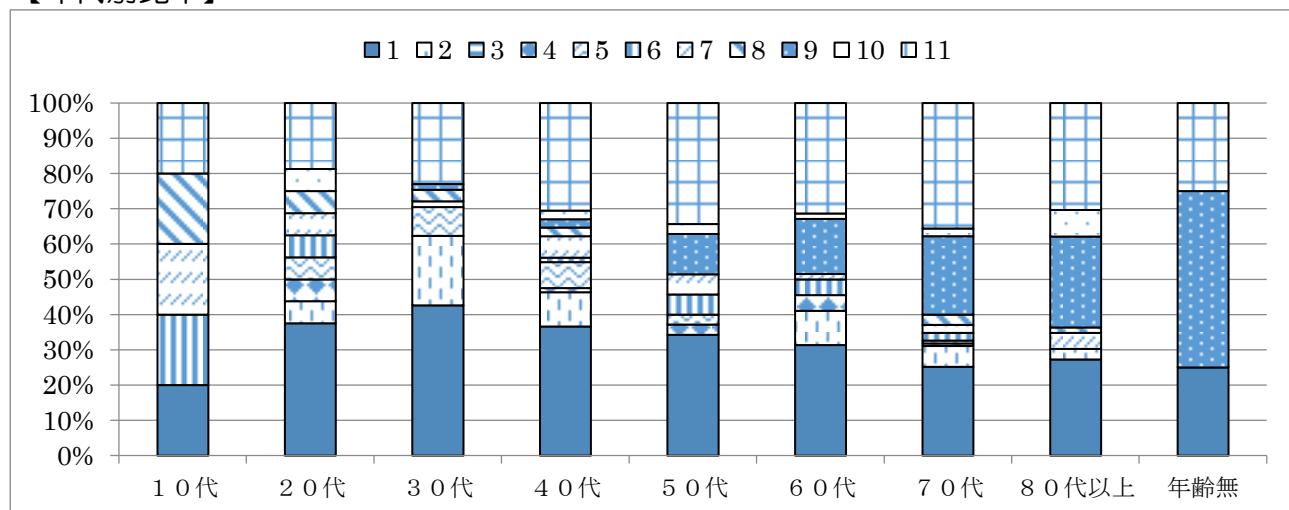
【スポーツ施設の利用については、総合体育館の利用が多く、利用したことがないについては、52.1%から30.9%と利用率は上がっています。】



【男女別比率】



【年代別比率】

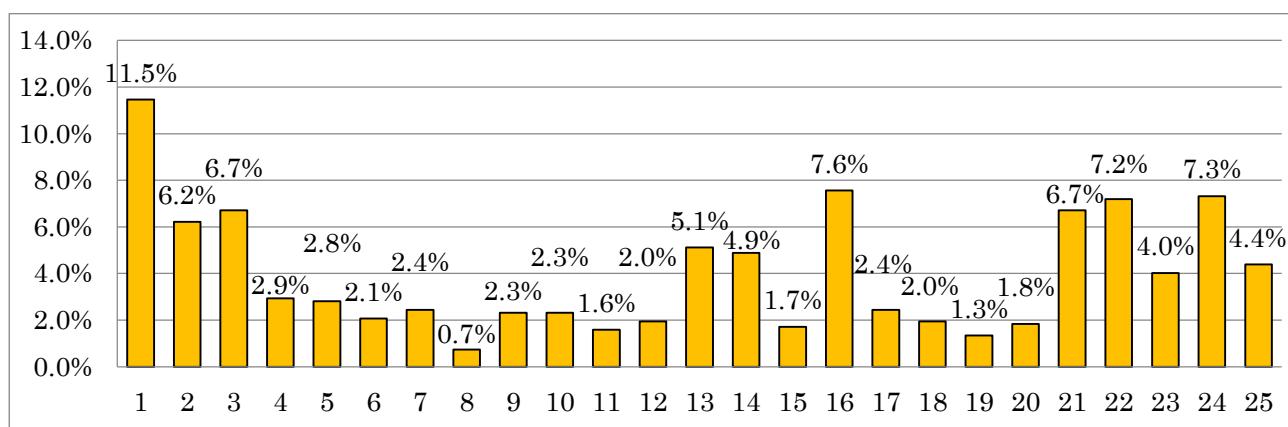


Ⅷ 芸術・文化

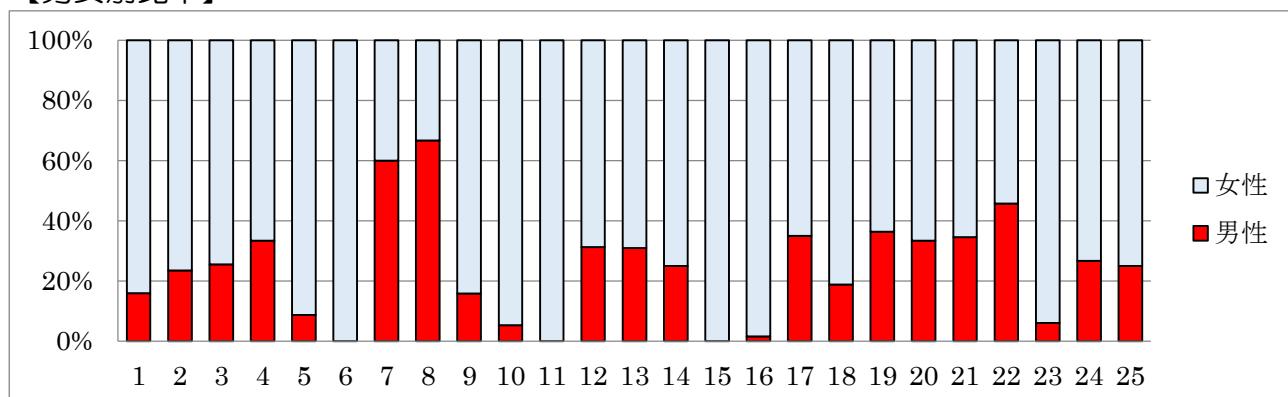
問25 あなたが行っている、行ってみたい、文化活動についてお答え下さい。（複数可）

- | | | | | |
|----------|--------|------|----------|---------|
| ① 書道 | ② 絵画 | ③ 陶芸 | ④ 工芸 | ⑤ 茶道 |
| ⑥ 華道 | ⑦ 土碁 | ⑧ 将棋 | ⑨ 民謡 | ⑩ 社交ダンス |
| ⑪ 舞踊 | ⑫ 詩吟 | ⑬ 楽器 | ⑭ 合唱 | ⑮ フラダンス |
| ⑯ 手芸 | ⑰ 俳句 | ⑱ 短歌 | ⑲ 川柳 | ⑳ 文芸 |
| ㉑ 外国語 | ㉒ パソコン | ㉓ 手話 | ㉔ ガーデニング | |
| ㉕ その他（ ） | | | | |

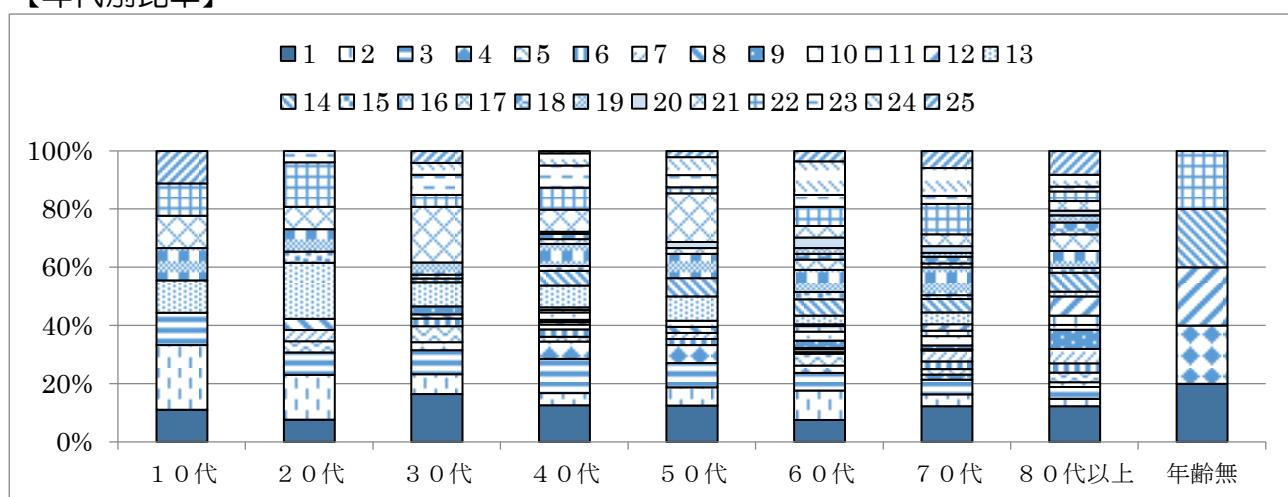
【文化活動について、以前は、ガーデニングの割合が高い状況でしたが、書道・手芸・パソコン・外国語などに対する活動の割合が高くなっています。】



【男女別比率】



【年代別比率】

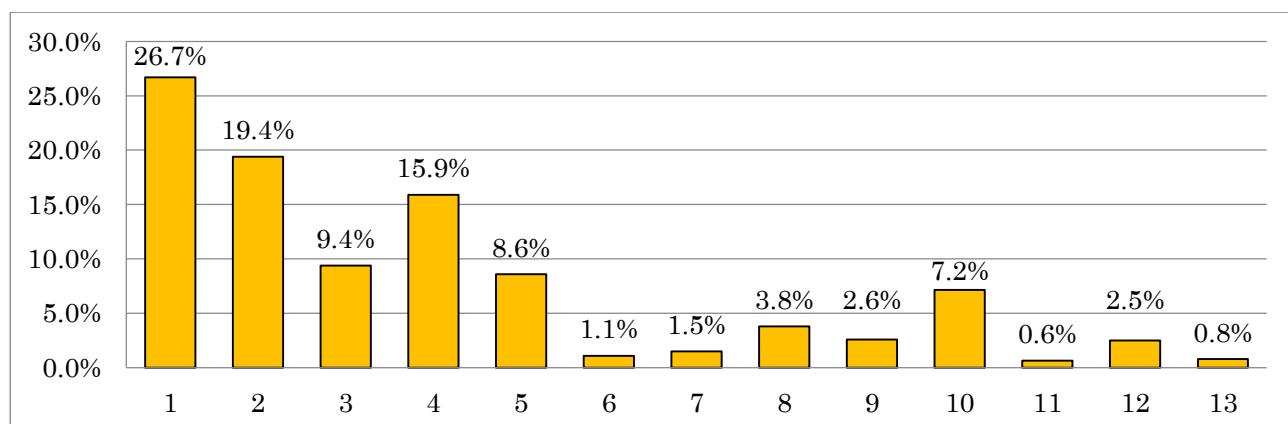


IX 学習施設について

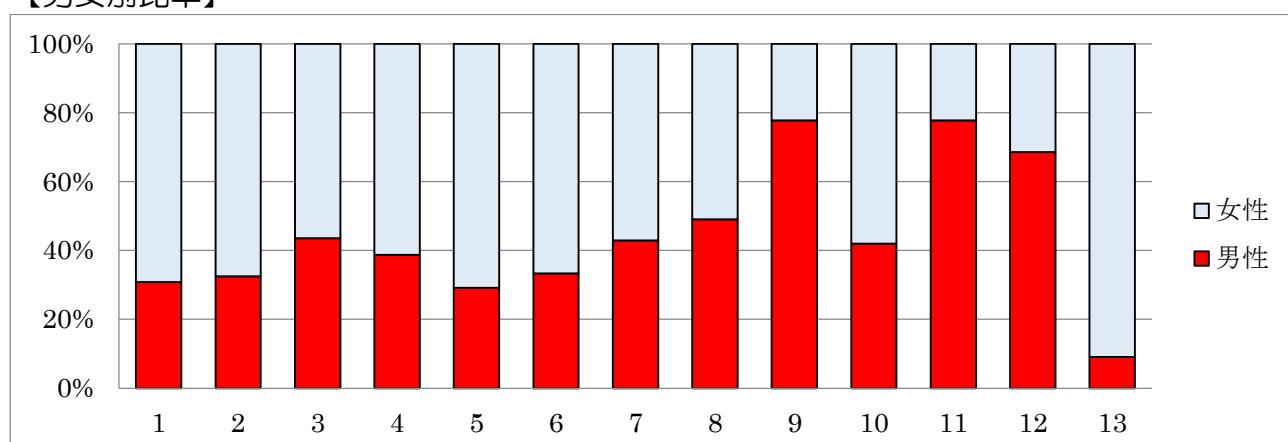
問26 現在ある学習施設の中で、利用したことのある施設をお答え下さい。（複数可）

- | | | | |
|---------|-----------------|-----------|-----------|
| ① 中央公民館 | ② 図書館 | ③ 水産博物館 | ④ 総合体育館 |
| ⑤ 温水プール | ⑥ 沢西児童生徒あけぼのプール | ⑦ テニスコート | |
| ⑧ 陸上競技場 | ⑨ 野球場 | ⑩ パークゴルフ場 | ⑪ ジャンプ競技場 |
| ⑫ 自由広場 | ⑬ その他の施設 () | | |

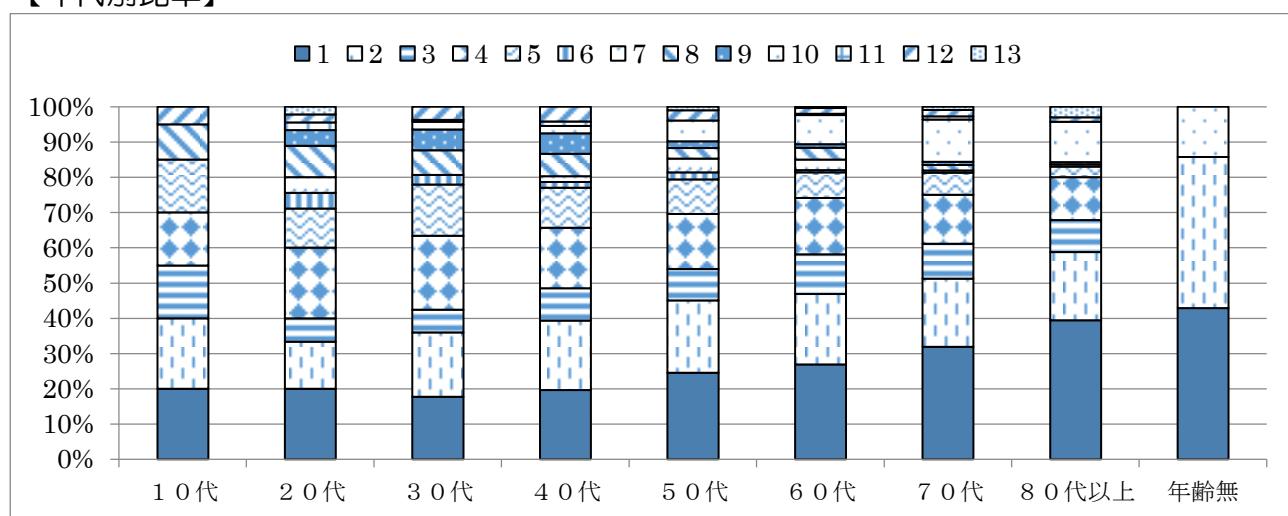
【学習施設の利用に対する新規の設問として、学習場所としては公民館、図書館、体育館が62%を占める結果となっています。】



【男女別比率】



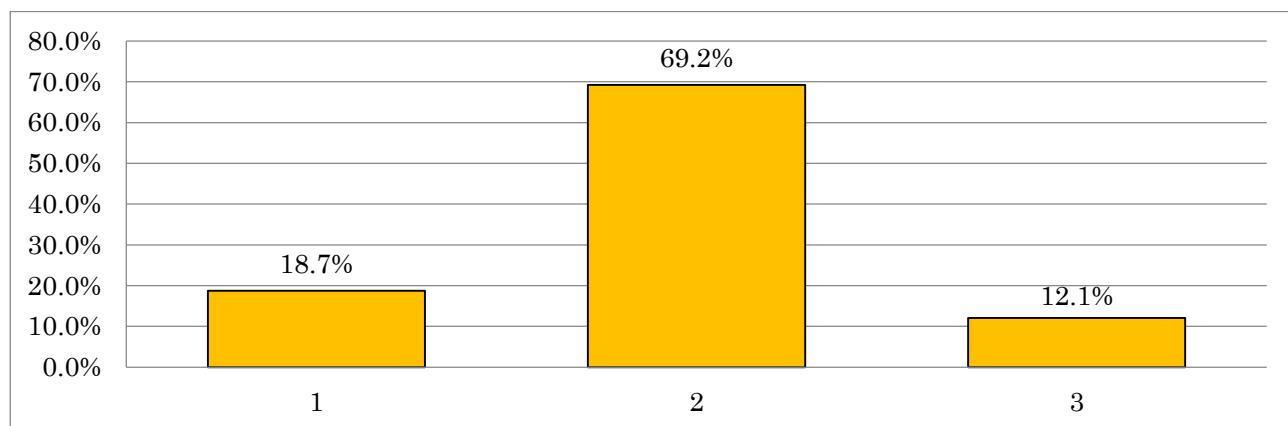
【年代別比率】



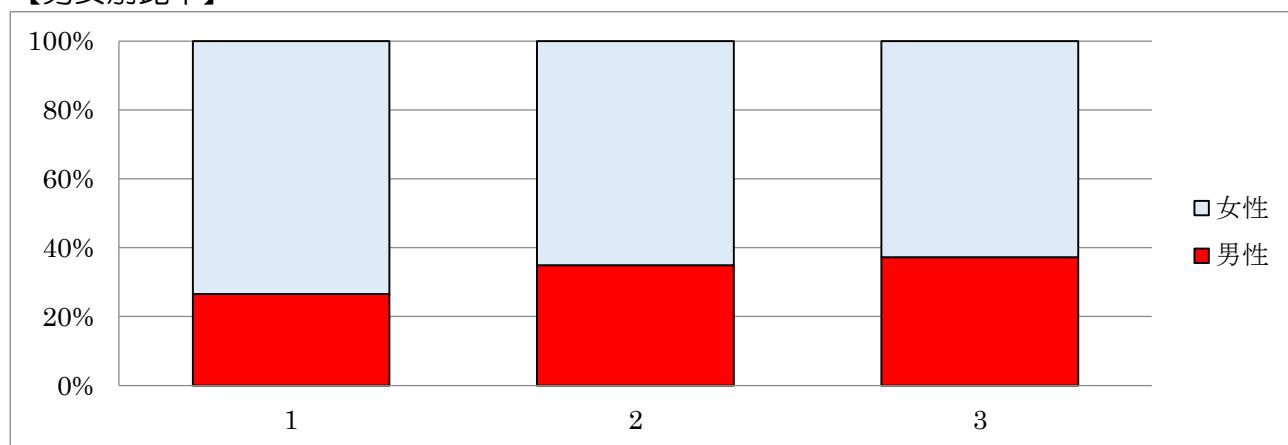
問27 町内の学習施設を利用した方に伺います。施設は利用しやすいですか。

- ① 利用しやすい ② ふつう ③ 利用しにくい

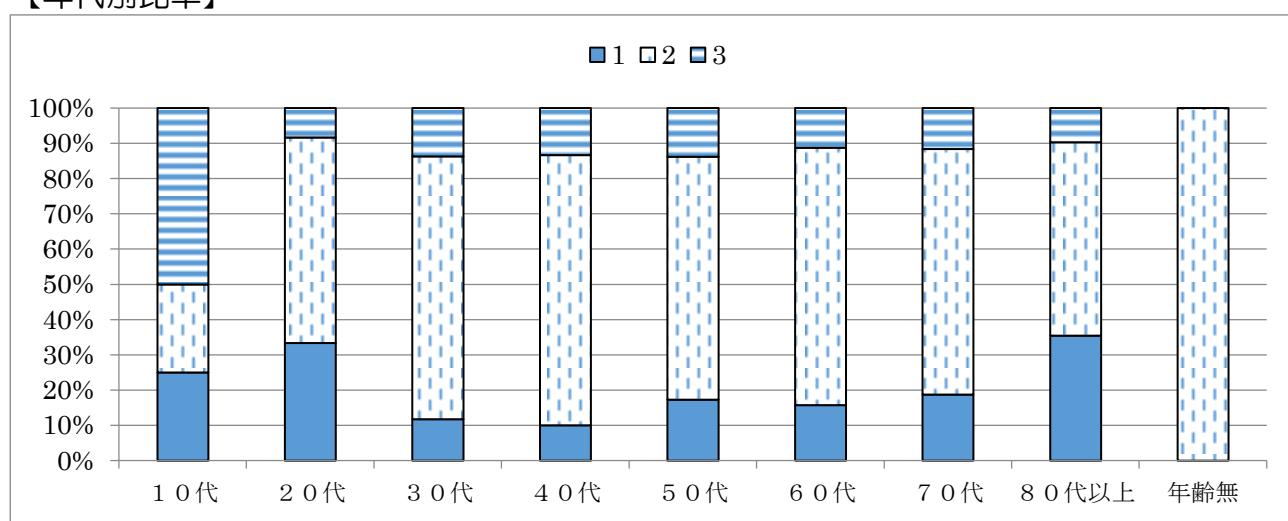
【施設利用については、ふつうの割合に変化はなかった。】



【男女別比率】



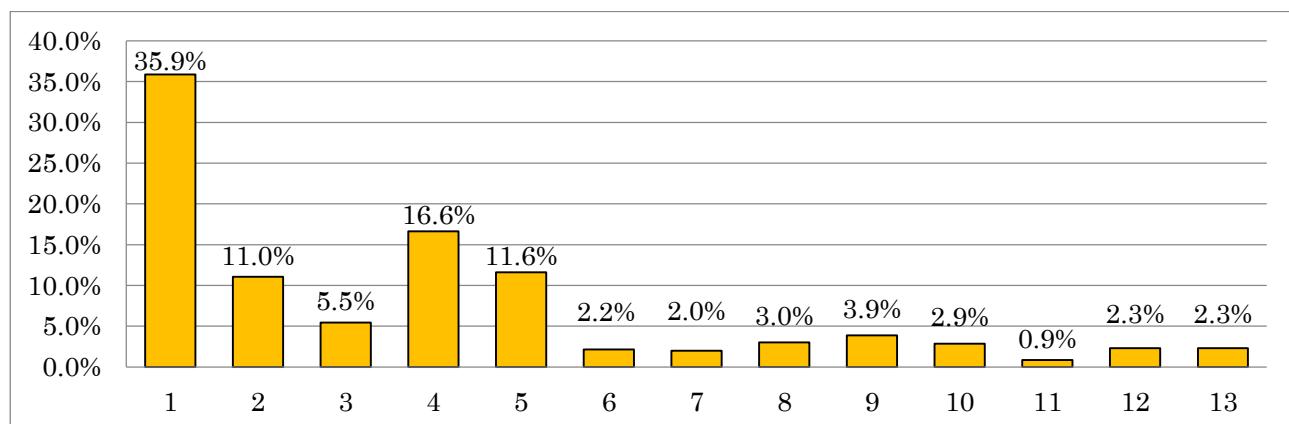
【年代別比率】



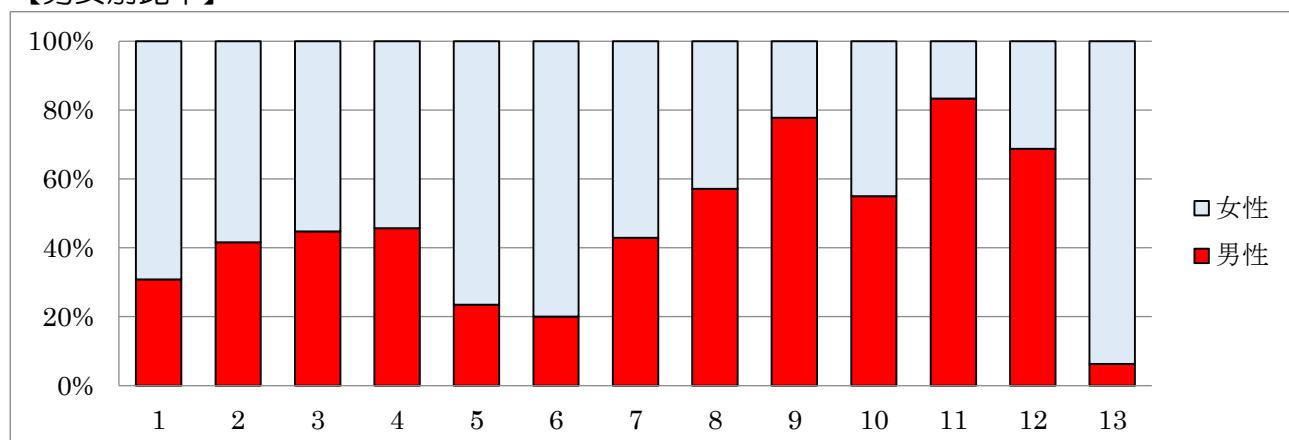
問28 現在ある学習施設の中で、今後学習活動を進める上で整備・充実が必要と思う施設をお答え下さい。(複数可)

- | | | | |
|---------|-----------------|-----------|-----------|
| ① 中央公民館 | ② 図書館 | ③ 水産博物館 | ④ 総合体育館 |
| ⑤ 温水プール | ⑥ 沢西児童生徒あけぼのプール | ⑦ テニスコート | |
| ⑧ 陸上競技場 | ⑨ 野球場 | ⑩ パークゴルフ場 | ⑪ ジャンプ競技場 |
| ⑫ 自由広場 | ⑬ その他の施設 () | | |

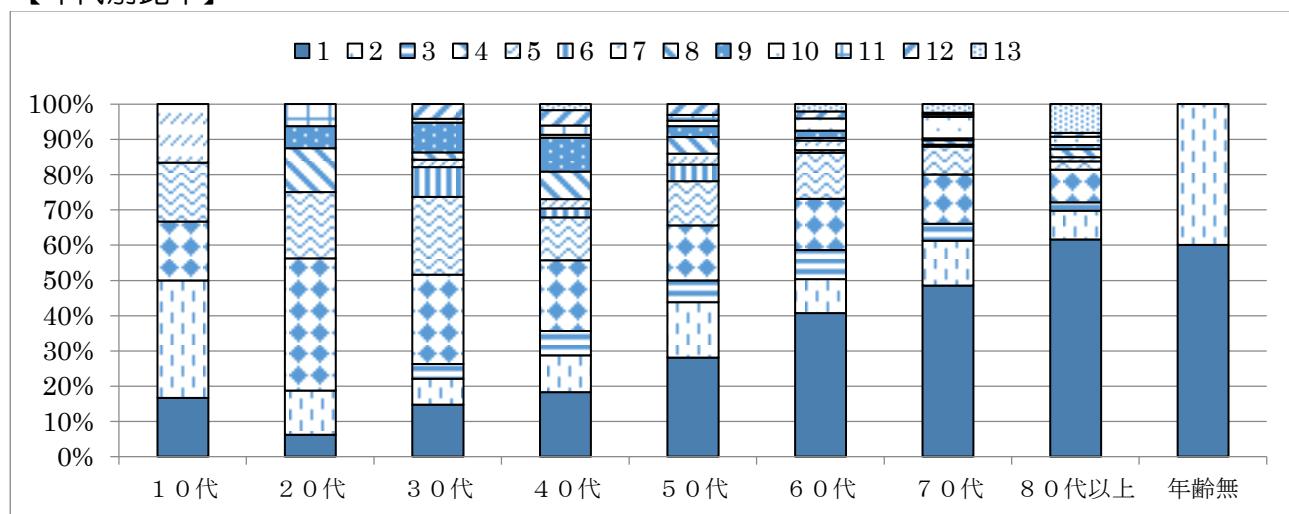
【各施設の整備・充実は、前回同様、公民館・体育館の整備に対する要望が多い結果となっています。】



【男女別比率】



【年代別比率】

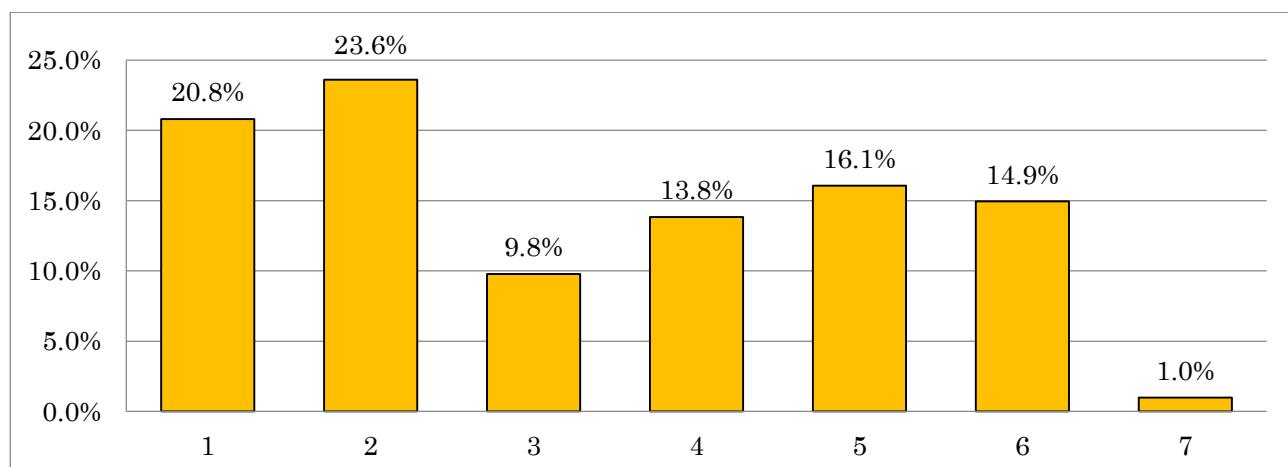


X 今後、社会教育行政に望むこと

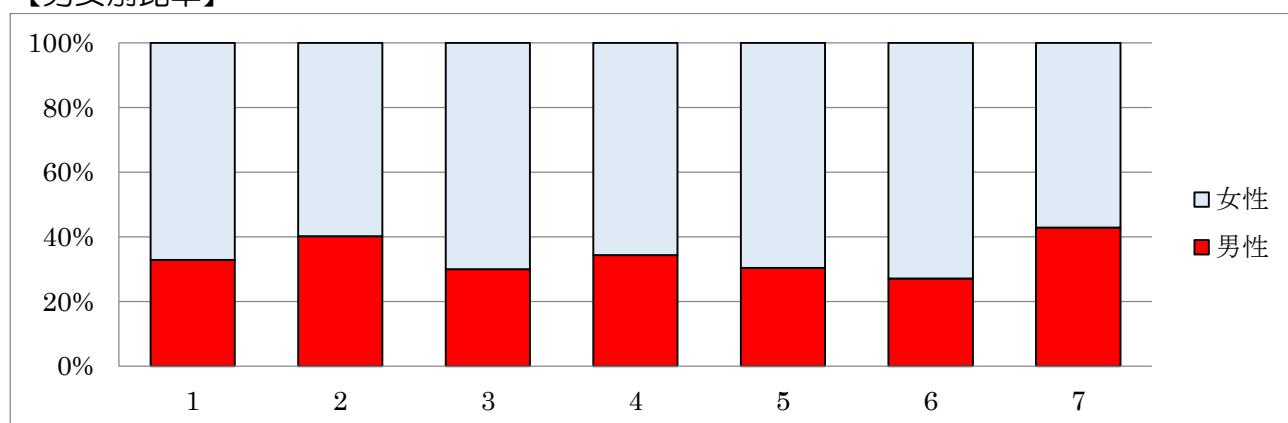
問29 今後、社会教育を推進するにあたり、どのようなことを望みますか。（複数可）

- ① 学習に関する情報提供
- ② 学習施設の整備
- ③ 学習の成果を生かす場や機会の提供
- ④ 学習サークル・団体の育成
- ⑤ 学習活動に関するイベント（講習会、芸術鑑賞等）の開催
- ⑥ 学習活動を支援する人材の確保、養成、派遣
- ⑦ その他（ ）

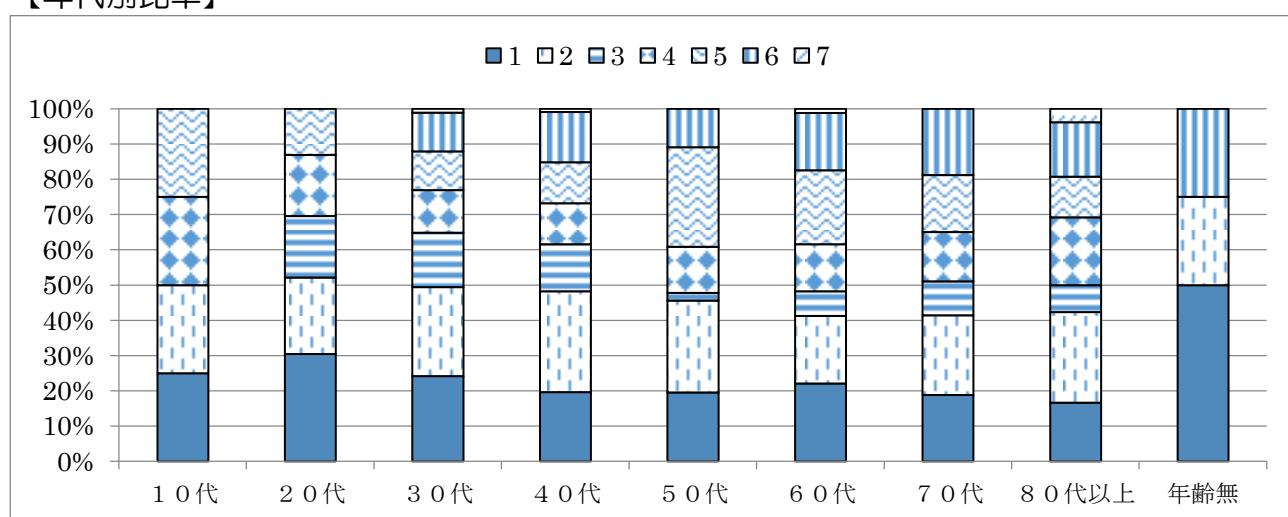
【学習機会の提供・人材確保の要望から、施設整備に対する要望が多くなっています。】



【男女別比率】



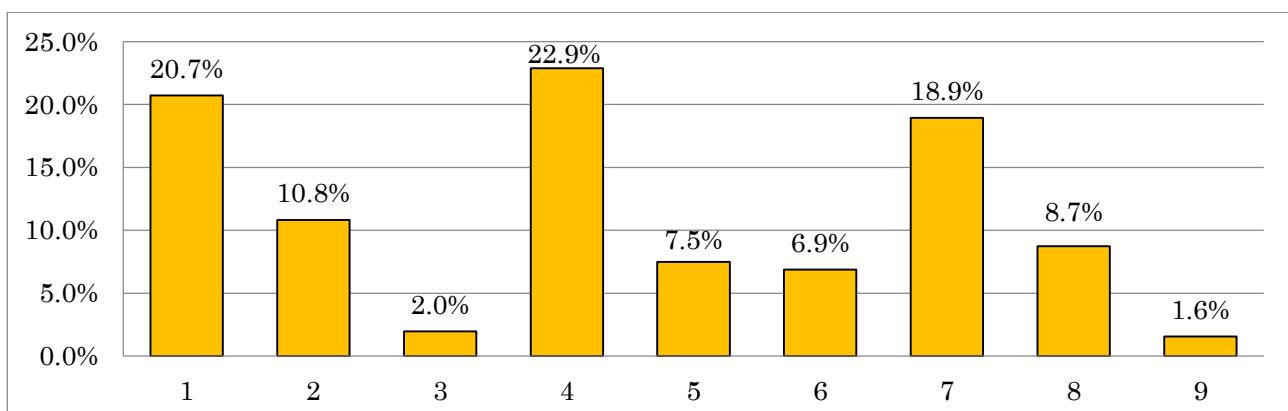
【年代別比率】



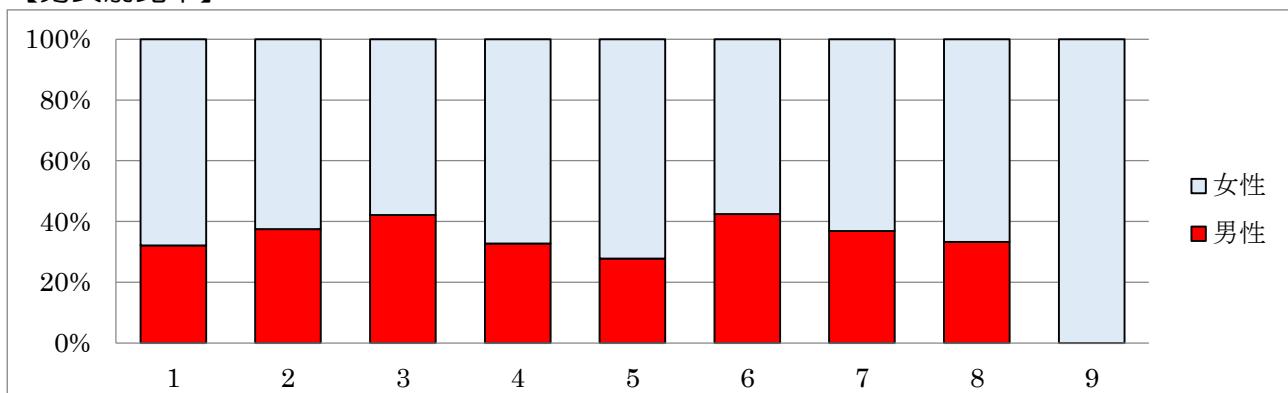
問30 あなたは、今後社会教育を振興するために特にどの分野に力点を置いて推進すべきだと思いますか。(複数可)

- ① 子育て支援や家庭教育の充実に関する取組
- ② 青少年の体験活動の推進や健全育成
- ③ 男女共同参画型社会の実現に向けた取組
- ④ 高齢者の生きがいづくりや社会参画に向けた取組
- ⑤ 読書活動など芸術文化活動の振興
- ⑥ 文化財の保護と活用
- ⑦ 健康づくり、スポーツ・レクリエーションの振興
- ⑧ 地域の課題解決などまちづくりに向けた取組
- ⑨ その他 ()

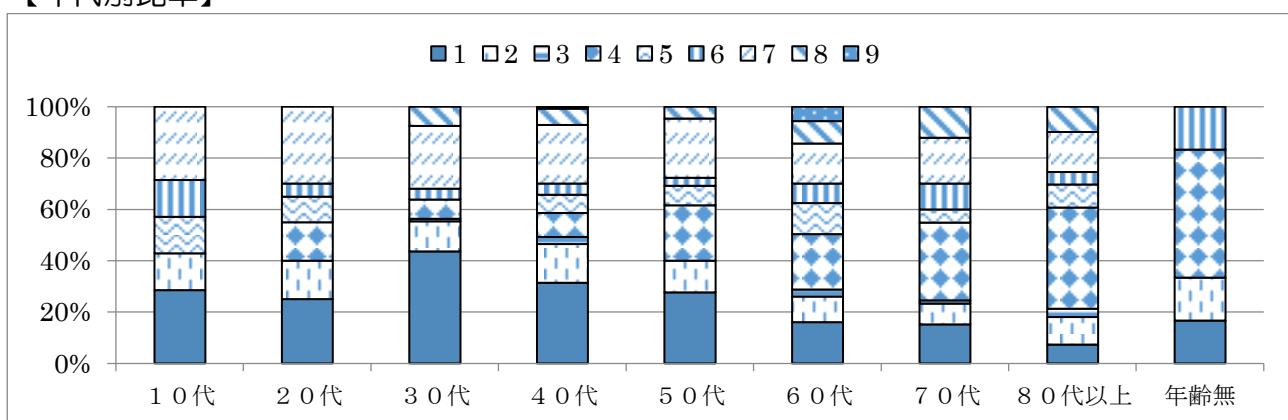
【社会教育の振興について、依然、子育て、生きがいづくりや社会参画、健康づくりに対する推進要望が高くなっています。】



【男女別比率】



【年代別比率】



各設問のその他記入内容（重複・社会教育に関する事項を抜粋）

問4	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の出場する試合を見る（30代女性） ・子供の部活動（40代男性） ・ウォーキング（50代女性） ・料理、畑つくり（60代男性） ・俳句・絵画（80代以上男性）
問5	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教神学【新約聖書神学】（30代男性） ・ガーデニング（60代女性） ・菊づくり（80代女性）
問6	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽商大市民講義（40代女性） ・ボランティアの会、社協講座（60代女性）
問7	<ul style="list-style-type: none"> ・家にこもらないように、自信を持つ為（60代女性）
問11	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性がない（60代男性）
問12	<ul style="list-style-type: none"> ・この辺で習えないようなこともして欲しい（40代女性） ・心身の健康に関すること、障がい者に関すること（50代女性） ・スマホ等の操作（60代男性） ・後期高齢者がどのように生きるか？（70代男性） ・陶芸（70代女性） ・芸能関係の種類がない（80代以上男性） ・川柳（80代以上女性）
問13	<ul style="list-style-type: none"> ・研修費のかからない研修会、教室（60代男性） ・音楽は楽器。個人レッスン。（80代以上女性）
問17	<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文コンクール表彰式、仕事で見学（40代女性） ・勉強の為（50代女性） ・工作、紙芝居を借りた（60代女性）
問18	<ul style="list-style-type: none"> ・その他のことに時間を使っていて興味はあるが（本は読みたいが）使っていない（30代男性） ・車が無い、時間が無い（30代女性） ・忙しいため（50代男性） ・本を読む時間が無い（50代女性） ・行けないことはないが自転車で気軽にには行けない距離です・調べ事は、インターネットで出来た（60代女性） ・介護で時間が無い（70代女性）
問20	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の1日の仕事をしてみたい（40代女性） ・体の不自由（80代以上男性）
問22	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング（50代女性） ・ラジオ体操・ヨガ・簡単な体操・散歩（60代女性） ・体の不自由、ウォーキング、リハビリで運動（80代以上男性） ・体操（80代以上女性）

問23	<ul style="list-style-type: none"> ・空手（20代女性） ・ヨガストレッチ、ウォーキング、スノーボード（30代女性） ・カーリング（40代女性） ・ウインドサーフィン（50代男性） ・ソフトバレー、ピラティス、弓道（50代女性） ・ボウリング（60代男性） ・太極拳、テニス、 ふまねっと運動、高齢者用室内軽スポーツ（60代女性） ・合気道（70代男性） ・ハイキング、サイクリング（70代女性） ・スクエアダンス（80代以上女性）
問24	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスカントリースキーコース（40代男性）
問25	<ul style="list-style-type: none"> ・版画、ヨガ（30代女性） ・民芸品（40代女性） ・ワインの知識（50代女性） ・麻雀、そば打ち（60代男性） ・太極拳、料理、民踊（60代女性） ・古文書、麻雀、写真（70代男性） ・編物、押花教室、フォークダンス、コーラス、禪についての講話、ハーブ・パン作り、ウクレレ、大正琴、ゆみ琴（70代女性） ・写真、手品の技（80代以上男性） ・絵手紙を書くこと、スクエアダンス、マジック（80代以上女性）
問28	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館利用の駐車場充実整備（80代以上男性）
問29	<ul style="list-style-type: none"> ・子連れで参加が可能なものの（40代女性） ・若い人の参加、夜・休日の行事。（60代女性） ・町場の人だけ利用しているイメージがある。一次産業の人も利用できるような内容の工夫が必要と思う。（60代女性） ・高齢化対応、施設の利用についてもう少しあたたかい気持ちであたってもらいたい（80代以上男性）
問30	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て終了世代の活動を増やす（40代女性） ・施設の老朽化が見える。補修でも構わないので、事故防止の為にも対策を講じて欲しい。（60代女性） ・公民館の文化活動（定期的な講座など）そば打ち・英会話等、似たものが多く、内容を検討してはどうか？希望をとるか？ 宇宙記念館の科学的講座は数多く、定期的にやっていて、いいと思います。（60代女性）

問30

- ・現在の学習施設にバスが、巡回して行きやすくして欲しい。老人の引きこもり、不健康防止の為になると思います。(60代女性)
- ・夜間の部の無料パソコン講座を希望【高齢者用】(60代女性)
- ・社会教育、高齢者福祉、社協活動、子ども会育成、保健推進健康係などの横の繋がりと柔軟な取組、対応を期待します。(60代女性)
- ・余市町にも新しい住人が移住し、多様な価値観を持つ多才な人々が住み始めています。それを強みとして、文化的・芸術的な分野をいかし、発展的な町づくりを進めて欲しいと思います。(60代女性)
- ・施設の整備は大きな課題だと思います。何の行事をするにせよ、建物に愛着が持てない。特に文科系の活動は、後回しにされがちながら残念です。整備費や人件費が削減されている中での維持は本当にご苦労が多い事だと思いますが、取り繕う修繕でなく、本腰を入れて、清潔感のある建物に変える時期ではないでしょうか。<中央公民館について>(60代女性)
- ・学習活動を支援するボランティアの派遣員確保を望みます。(60代女性)
- ・沢町の住人です。何かと公民館・体育館・図書館とバスを利用しなくてはなりません。福祉センターでも、テニポンは出来ると思います。広い場所もありますので、もっと利用して、活動させて頂きたいと思います。ご一考下さいませ。(60代女性)
- ・沢西プールの夜の開放。(60代女性)
- ・車イスなどの方でも参加できる体制。高齢の方でも軽い運動が出来るようなイベント。大橋さん(?)の手品・マジックなども素人向けの教室があれば楽しいかも... (60代女性)

社会教育（生涯学習）に対する、ご意見・ご要望がありましたら記載下さい。

（重複・社会教育に関する事項を抜粋）

- ・子供達が、余市町が地元であることを自信を持って話せるようなすばらしい体験をする機会を多く提供して欲しい。お年寄りばかりのイメージが強いので、なにか企画するときには年代を区切ってくれると参加しやすくなるかもしれません。
- ・子供達が参加しやすいイベントがたくさんあると色々な体験ができるきっかけになつてありがたい。
- ・サークル活動などが分かりづらい。
- ・このアンケートの設問の目線が貴殿寄りすぎて答えにくいです。町民の目線に寄り添って下さい。姉妹都市に関する事業が全くといつていよいほど行われている気配がありませんがどうなっているのですか。このアンケートの結果は集計後に公表すべきと思います。
- ・施設の充実のための予算拡大。各団体への補助金の増額。
- ・中央公民館の部屋を個人でも借りれるようにしてほしい。
- ・他地域の学校との連携、英語学習。
- ・陶器の金つぎの方法学習会。図書館のコピー機導入（有料も良い、カラーで）。サークル活動入会紹介。
- ・語学（ロシア語）に興味があるので各種受講できる機会があればぜひ活用したい。ロシア語を受講するのに小樽に行きました。楽器を習える講座もあればおもしろいと思います。
- ・町財政が厳しい中、設備の充実を求めるのは現実的ではないと思いますが現存する施設を補修整備しながら大事に使用できたらと思っています。特に体育館を週3回程度使用させていただいているが、少年団活動等に携わる指導者の方々のお陰や関わる方々の支えがあり、小中学生が健やかにたくましく自信をもって生活していく力を身につけているように感じます。子供たちが全道、全国そして世界へ出て活躍できる礎となる場、さらに町民が活気をもって生き生きと過ごせる町づくりを希望します。
- ・絵画と写真のサークルに入っているが、人数が少なくなって、人が集まる事を考えて欲しい。
- ・仕事を持っているので、ボランティアや社会参加が出来ない。
- ・健康づくりから医療費削減に繋げ、財政負担を軽減し人とのつながりを考えた明るい未来構想を期待します。
- ・以前一時あったのですが、できればロシア語講座を再開して欲しいです。
- ・若年層・高齢者共にある程度の経済的余裕が無いと仕事が優先され、社会教育の活動に参加出来ないと考えます。仕事が終った後の時間帯の研修会、講習会開催も必要ではないか。
- ・開催時期、曜日、時間等を学習内容により考えて欲しい。（参加対象年齢等）
- ・より参加しやすく、充実した方向への発展を大いに期待しています。
- ・広報でサークル活動の報告がありますが、サークルに参加希望の方が居る事を考えますので、参加の為の連絡先、活動の日程、費用等を記して、活性化を計る。というのはどうでしょうか。

- ・世代間交流型の学習。高齢者38%を超える余市町らしい事業学習。
- ・少人数でも利用できる場の確保（無料で）
- ・高齢者が自由に集える場所があればと思っています。
- ・時々散歩していて思うのは、町内空地があります。今、笹藪の中にダニがいると報道で聞いておりますが、歩道を歩いていても夜は暗いし、気持ちが悪いので刈って欲しいです。
- ・1ヶ月2回ですので、14日に1回になれば最高です。
- ・健康な間は、色々と参加したいと思います。
- ・地域の交流施設（町内会館など）の整備・充実を進めてほしい。
- ・どの施設も中途半端。長く町民税を納めてきた高齢者を無料にして欲しい。
- ・終活を迎えた人達がいかに自分を見つめ自分を励まし人生を大切に生きていきたいと思える慈しみ合う場が大切の様に思います。
- ・社会教育主催の教室に参加したいと希望しても、公共交通の無い地区が多い余市では車の運転が出来ない人々の為にコミュニティーバスを運転するべきだと思います。活動へ参加したくても出来ない老いた方々が多いと思います。その方々へのサポートを考えて欲しいです。
- ・観客席に高低差がないので、前列の人が壁になり、十分に鑑賞出来ません。音響なども整備の必要を願います。大湊海上自衛隊コンサートで、ホール入り口でつまずき転んだ方がいました。安全で楽しめる施設を望みます。
- ・このアンケートは、町民のどのような方々に質問されているのでしょうか？すでに施設を利用している人々が大半でしたら、魅力ある回答が、得られるかも知れませんが、町民の何%が利用しているのでしょうか？施設の老朽化、人口減少に伴い、魅力のない施設になっているのは確と思います。健康診断のみに利用する場所ではなく、町民が是非利用してみたいと思う施設が必要と思われます。
- ・全体的に見て社会教育行政の内容は良好と思います。あえての希望は利便性からすると、駐車場等の付帯施設整備拡充、利用者の高齢化に伴う机・イスの移動を不要とする内部施設の利便向上、各種イベントの随時広報等を望みます。（悪いという事ではありません。）又、公民館職員は少ない人数で多くの事業をよく推進していると思い評価し、感謝致しております。
- ・中央公民館の利用について、もう少し町民の希望についてあたたかい気持ちで対応してもらいたい。そして希望を受け入れてもらいたい。
- ・学習の年代は過ぎた。健康維持の毎日です。
- ・余市町の町民の誰もが、余市に住んで良かったと認識され、余市の施設に依って、社会に住む住民の社会的教育度の効果が期待されるものなのです。一口に社会教育と言う言語の意味を思うとき、奥深い内在された物々に考え至らなければなりません。目の施設に及ばず、大きい意味での定義付けとその具体性に及び予算との相談等、生涯学習を考えて欲しい。お世話頂きます。ご苦労様です。
- ・講演会、講座等を定期的に開催して欲しい。

- ・社会教育といえば、公民館・サークル活動のみを重点的に企画・運営されている感じを受けます。町民全体が集える場所、それになっているのが公民館であり、行政の各係を越えた広い心、多面的な、やさしいリーダーシップを期待しています。高齢化比率も上がる一方、それ等の住民が気軽に集える地区の会館の整備、又、健康づくりの面から「保健センター」の常設を強く望みます。
- ・高齢者であること、一人暮らしであること。一病・二病を持ちながらも通院しながら元気であること。なのでイベントの参加や勉強のチャンスは逃さず習得したく思うが、バス乗り場までに疲れる。冬場は道路までの道開けの除雪が大仕事。何もせずにタクシーばかりは使えない。涙ほどの道町民税を払ってるが為、84歳の声は通らず何から解決したら援助を受けられるのかと思っている。雪は業者に依頼40,000円を支払っているが、玄関から道路までに悩んでいる。
- ・今や生涯学習は、一層人口の高齢化で、多くの多趣味を希望する住民に進化した今、最も生涯学習は面倒になって来ています。生涯学習は今にして始まった事ではなく、かなり以前から心配されていた事項であった事は、社会教育係では大分以前から、計画策定中であったと思いますが、私は何一つ趣味的活動はしていませんが、町内各施設で開催される講座には出れるだけ、参加させて頂いています。有難うございました。これからは、多趣味の高齢化社会になります。それに伴う施設の拡充が必要と思われます。「多目的集会所」特に1階平面床。2階以上はエレベーター＆エスカレーター。町民が望むもの、余市町立公民館（町民の・最大研修室・大講演会場・大演舞場）。町民の健全育成の根源は食にあり、食事に関する最新的施設の備品整備を望みます。町民の模範・先進と成る器具等。町民の生活機能を統括する町役場こそ、住民の安全管理統括機能を有する「余市町役場庁舎」の新庁舎建設こそ近々に求められる事と思います。希望や望む物なら幾らもあるが、それなりに財源も乏しいと考え最も希望するものを思いつくまま記録しました。
- ・図書返却窓口をコーブやイオンなどにも出して下さい。温水プールの老朽化が進んでいる印象があります。高齢者が集えて、食べて、楽しめる場を作って下さい。
- ・子供の体力向上のために温水プールの通年化と施設の老朽化がひどいので修繕できれば建て替えを考えて欲しい。
- ・体育館の筋トレマシンを新しくしてほしい。
- ・スポーツ大会に対する町の支援を拡大すること（味覚マラソン等）町の施設の更なる有効活用（例）ジャンプ台～大川町のような活用各種団体の合宿等の招へい。
- ・総合体育館のトレーニングルームの器材が有料ですが、無料にしていただきたい。中央公民館の建て替えを検討してもらいたい。
- ・総合体育館のシャワーなど必要なものの整備は必要です。他地域からも大会等で訪れる人達が沢山います。その時の印象として、あまりにも不便な感じがする事は、余市町の印象として、他地域の話題になる事でしょう。もちろん良い所もありますが。
- ・総合体育館のシャワーを温水で使用できる様にして欲しい。総合体育館の暖房について、今まで使用した中で一番寒い所です。小樽地区でも余市の体育館は、寒いと有名です。何とかして欲しいです。
- ・PRや情報（広報）があまり行き届いていないように感じる。水産博物館やフゴッペ洞窟等おもしろい施設がたくさんあるのだから上手に宣伝して欲しい。

- ・余市町に住んで28年になりますが、水産博物館に最初の頃2度くらい行きましたが、その頃は又見学してみたいと思うほどではなかったように思います。急な坂の上にあるので行きづらいという事もありますが、余市にとって水産博物館は大切な学びの場だと思うので、また行ってみたいと思うような展示の仕方や、予算に限りがあるかもしれませんのがリピーターを増やす意味でも大きく改裝して、お金もかけてより充実した場所があってほしいと思います。(また行ってみたいと思っているのです。変わっているかもしれません。とっても良くなっていたらごめんなさい。)
- ・久しぶりに水産博物館を訪れた。展示品が多くきちんと整備されているのに驚いた。とても楽しく見せて頂いた。もっと町内外の人々にも是非見て頂きたい。PRすべきだ。水産博物館と言うネーミングも悪いと思う。水産をつける必要があるのだろうかと疑問に感じた。係の方々の展示品に苦労も伝わった。感動した。

パブリックコメントの結果について

【件名】第6次余市町社会教育中期計画

※「ご意見等に対する教育委員会の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

区分	意 見 等 の 反 映 状 況
A	ご意見等を受けて計画等の案を修正したもの
B	計画等の案とご意見等の趣旨が同様であるもの
C	計画等の案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	計画等の案の運用にあたって参考となる情報提供
E	計画等の案に対するご質問等

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
1	暖房の期間、11月から4月以外でも寒い日には、暖房をつけて下さい。公民館は冷えるので風邪を引く人がいます。手仕事関連のサークルに参加した時、暗すぎてよく見えず大変です。針が落ちていても気付かず踏んでしまいました。電気を明るくして下さい。来館される方も高齢化が進み足腰が弱っております。洋式トイレの数を増やして下さい。サークル活動で身に付けたスキルを生かして収入につながる様な方策を考えていただきたい。例として、手作り品の店、おばさん食堂、弁当の宅配、お菓子屋さん、編み物きものリフォーム等。	いつも公民館をご利用頂き有難うございます。公民館の温度管理、照明に関するご指摘につきましては、その場において職員ができる限りの対応に努めたいと考えます。トイレの数につきましては、予算を伴うことではありますが洋式化に向けて検討いたします。 サークル活動での身に着けたスキルを生かすにつきましては、収入に繋がるまでは難しいことと考えますが、習得したスキルを社会貢献に生かす方法について助言などさせて頂きたいと考えます。	D

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
2	文化祭、合唱の集い、公民館での様々な催の時、臨時バス（町の）が出ると行きやすいと思う。ふれあいバス券がほしい。エルラプラザを観光客が喜ぶ様な物を展示したほうが良いのではないか？空き家を活用して高齢者が集い手作り活動や健康作りや子供食堂等のできるスペースを作って欲しいです。	当意見は、他の担当課に関わる部分であることから、関係する課への貴重な意見として取扱いをさせていただきます。	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
3	社会教育の充実は、住む人の満足・誇り・豊かさにつながります。現代社会の持つ少子高齢化、ボランティアの人材不足、核家族化による世代間断絶等の課題に現行のシステムをマッチさせていく必要があると思います。家庭教育では、子育て世代は男女機会均等法施行から30年ほどになり、半数以上が共働き世帯となっています。家庭教育講座の夜間開催も視野に入れた再検討が必要です。社会教育の活性化のために各種委員の公募枠の設定。ボランティアの確保のために、資格や専門性を求めずハードルを低くし、「つなぐ」こと「情報の共有」が重要です。新規ボランティアの発掘、育成とボランティアリストの作成が必要です。具体例として、農協、漁協関係者による地元産品の料理講座、退職教職員の方の授業（趣味的分野・家庭教育分野）、転入者へのボランティア登録推奨、町内会、老人会を通して特技の登録（昔遊び等）を行なってはどうか。	本計画に基づき、各振興方策に取り組み、社会教育の推進を図ってまいりたいと考えています。	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
4	都市部では仕事帰りにカルチャーセンターを利用する人も多いことから、勤労青少年ホームの活用のために、20代から30代を対象とした魅力的な講座やサークル、子育て中の家庭を対象とした親子で参加できる料理教室やスポーツサークル等を行なえば利用されると思います。読書推奨のため学校図書館や学校新聞の活用や、また、コミュニティバスの導入を検討してはどうでしょうか。	社会教育で実施する各種事業の内、20~40代の参加が少ないので現状です。親子対象事業や学校図書館の利活用など、今後求められると思われます。コミュニティーバスなどは、他の担当課に関わる部分が多くあることから、関係する課への貴重な意見として取扱いをさせて頂きます。	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
5	余市町社会教育中期計画案は、町民に読んで欲しいならもっとわかりやすく図案化し読みやすくして欲しい。町民に見てもらうための工夫が必要です。また、報告や意見を言い合える場が必要だし、アピール不足を感じます。 一方的に理想をかけても、どのサークルも参加者の減少傾向を理由に実施縮小、中止等になっている。どうしてなのか、良かった、悪かったではなく、事業づくりにアイデアを注いで魅力的なものにして欲しい。 高齢者教育については、老人クラブ、寿大学も高々高齢になり、あとに続く高齢者が団体に加入をしたがらない。ひとりでも参加できるものを考えて欲しい。たとえば落語や演奏会等行ってほしい。 町に要望しても、必ず「お金がない」と言う答えしか返ってこない。遣り繰りして考えて「お金がない」と言う言葉は、やめて欲しい。（アルバイトが多いのではないのでしょうか？）	本計画に対しまして、町民に分かりやすくするための図案化や意見の言い合える場の提供、高齢者教育での落語や演奏会など、それのご提案につきましては、貴重なご意見として、今後の運用の中で検討させていただきます。 また、要望に対する回答につきましては、町民の方にご理解いただけるよう、丁寧な説明となるように心がけてまいりたいと考えます。	D

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
6	学校が週休2日制になり、現在行われている活動は、何を目的で行っているのですか。目標があれば具体的な施策を示して欲しい。	学校の週休2日制にともない、スポーツの普及と推奨を目的として、体育館と温水プールにて土曜日午前を町民対象に、無料で一般開放を実施しています。また、週休2日制をきっかけとして、障害のある子ども達とその家族及び町民ボランティアが交流することを目的とした事業を実施しています。	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
7	余市町の社会教育事業に関して、このような計画が立てられ、いろいろな事業がある事が解りました。自分が学生時代の頃、子育て中の頃、仕事をしている年代、そして60代となり、余市に住んで長いのですが、年代ごとにニーズも変わり、利用する施設が変化し感心のある事業も変化してきました。ですから、乳幼児から高齢者までの長い、いろいろな内容の事業計画となっているのだと解りました。ただ、高齢者教育の文化伝承活動での、「ソーラン太鼓少年団」について、また、博物館での伝統文化の奨励については、なんとなく高齢者のボランティア事業かと思われますが。「ブックスタート事業」も高齢者がかかわっているのだろうかと感じました。「ソーラン太鼓を伝承していく」ということであれば、文化活動事業の方に入れた方がわかりやすいかと感じました。また、「ブックスタート事業」も「子育て・家庭教育」または「図書館事業」内容の方にも関わってくると思いますが、高齢者のボランティア事業としてどうなんだろうと思います。	<p>高齢者教育の現状と課題に記載された「ソーラン太鼓少年団が活動している」との記載ですが、活動自体は伝統文化芸能の伝承活動の一環として記載させていただきましたが、理解しにくい文面であると認識します。<u>高齢者教育のこの文言につきましては削除し、文化活動の現状と課題に記載させていただきます。</u></p> <p>ブックスタート事業は、高齢者の読書ボランティアが活動しており、高齢者の生きがい作りや知識や技術の地域貢献を促すことを目的としてご協力頂いております。</p> <p>また、同事業につきましては、保健課、町民福祉課、図書館、ボランティアが一緒に実施している、子育て支援事業として、対象別推進目標と振興方策の子育て支援・家庭教育の重点項目として、ブックスタート事業の推進を進める内容となっておりますのでご理解願います。</p>	A

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
8	<p>世代間交流は（高齢者教育や文化活動・青少年教育他）いろんな項目に出てきています。学校との関わり（学校も時間には厳しい状況の中だと思いますが）も大切かと思います。授業の中で「昔あそび」がありますので、町内でのいろんな世代が「昔の余市」「未来への余市」として集える場（事業）は、いろんな世代の教育計画の中で継続していただきたい事業かと思います。博物館広報は、ぜひやってほしいです。（年に数回でも）余市の広報の中にも「余市でおこったこんな話」もいいですが、（これも続けてほしい）余市の文化財の紹介や、余市の昔のお話など（写真入り）。今年度でしたか「アイヌの絵から～昔の余市」の講演があったと思いますが、参加してとてもおもしろかったです。このような重要な資料の時は、多くの町民に参加していただけて良かったのではないでしょうか。図書館の事業内容も多く計画にもりこまれていると思います。学校図書館との連携で、大川小ブックママ（保護者の方？ボランティアの方の朝の読み聞かせなど、本の広場の方なのか）のような事をやられていると思いますが、黒小や沢小、登小などにはいらっしゃるのでしょうか。学校の図書司書になるのではないかでしょうか。図書館職員の方が定期的に学校の図書室訪問（その時にブックイベントなど）なども良いのではないかでしょうか。だいぶ無理を書いているとおもいますが。</p>	<p>ご意見は、社会教育全般にわたり、概ね同様の意見と考えます。本計画に基づき、各振興方策に取り組み、社会教育の推進を図ってまいりたいと考えています。</p>	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
9	<p>社会教育とは違うと思うのですが。福祉行政になるのでしょうか。児童館に関しても、子育て・家庭教育の項目に福祉行政と連携という事があるといいなと感じました。</p>	<p>当意見は、他の担当課に関わる部分であることから、関係する課への貴重な意見として取扱いをさせていただきます。</p>	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
10	<p>ボランティアを求めると言う言葉が多くあるが、具体的に示して欲しい。高齢者の町と良く言っていますが、資格が必要か、特技がなければだめなのか、その事について明確に示されていない。</p>	<p>社会教育の各分野におけるボランティアは、公民館では文化教室や各種事業、スポーツでは生涯健康スポーツ教室及び各種大会、文化財各施設における説明員や講演会への協力、図書館でのブックスタートや学校での読書イベントやお楽しみ会などの事業において、資格や特殊な技術によらない、ボランティア活動を頂いております。今後とも、ボランティアの育成に努めることで、多くの方々に、社会教育の各種事業のみならず、社会貢献としてのボランティア活動への参加者が増えることが望ましいと考えます。</p>	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
11	文化活動を充実して欲しい。近年、健康で元気な老後をと言う事で、検診や運動面においては、かなり色々な取り組みを行っていますが、文化活動面はもう少し力を入れて欲しい。公募展を観て、工芸楽焼等は町民の作品が少なく、仁木町や積丹町の方々の作品が目立った、人口の多い余市町に仁木町の様な「陶芸窯」を設置して欲しい。身体も心も充実できる場所が必要と思います。高齢社会に向けて考えて欲しい。	スポーツに関する取り組みについて、ご評価いただきありがとうございます。「陶芸窯」の設置には予算の問題があり難しいことと考えます。公募美術展への町民の出品数は減少傾向にあり、公募美術展に興味と感心を持ってもらえる取り組みについて今後この計画を進める中で、体も心も充実できる場所の確保に努めて参りたいと考えます。	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
12	読書普及活動について、当町の図書館は、後志管内の町村で本格的図書館として初めて開館したものだと承知しています。それまでは、小樽市に市立図書館があるだけで、多くの町村では公民館の一部を利用しての図書室があったに過ぎないものと理解しています。余市町図書館は、地方公共団体の図書館の後志管内の先駆けと言ってもいいものです。しかしながら、資料費が年々減少しているのではないかと思っています。図書館の役目は、何よりも資料の充実に他ならないものと思います。近年個人の書籍購入の減少が危惧される中、図書館が資料の収集費用の予算を確保できない現状は大いに問題のあるところではないでしょうか。個人で書籍を購入する場合、高額な書籍、発行部数の少ない書籍（このような書籍は、発行時点で入手しないと、初版即絶版ということになる）の整備は図書館の使命だと思います。 個人の小遣いで購入できない書籍を図書館の資料として整備してほしいと思っています。	図書館をいつもご利用いただき誠にありがとうございます。図書費のご意見についてですが、平成28年度から余市町子どもの読書活動推進計画に基づき、読書普及に努めており、この計画の実施年度より図書費が50万円の増となっておりますのでご理解願います。 また、高額な書籍や発行部数の少ない書籍についての取り扱いですが、図書の選書には、図書館司書が、ほぼ毎週選書会議を開き、より利用される本であることはもとより、全分野に渡り、網羅的な選書に努めているところです。また、余市町図書館に所蔵していない書籍につきましては、リクエスト用紙にご記入いただき、道立図書館やネット環境を整備した図書館に対し、瞬時に所蔵調査を行い、相互貸借制度を利用し他の図書館との貸し借りにより、利用者に提供しているところでございますので、是非図書館職員にお尋ね下さいますようお願いいたします。	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
13	学校図書館との連携です。かつて、余市町には小学校6校、中学校3校、高校1校の10校の学校がありました。小学校は現在4校ですが、今後の少子化から見ると、小学校2校、中学校1校、高校0校となることが、それほど遠くない将来予想されます。そうなると、学校図書館の充実と、町民向き図書館とのコラボレーションを考えられます。図書館のネットワークを図ることより、知的財産としての図書の活用が考えられると思います。小さな規模の自治体では、すでに実施されているところもあると聞いています。当町も研究する価値があるものと思います。	学校図書館との連携につきましては、余市町子どもの読書活動推進計画に基づき、町内小中学校及び養護学校も含めて情報交換の場を設けるとともに、各学校に図書館司書が出向き、学校の要望を聞きながらブックイベントを実施することで、学校との連携強化に努めています。将来予想される少子化と人口減少につきましては、将来を見据え町の重要な案件として検討していかなければいけないことと考えます。	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
14	<p>スポーツ・健康づくりについて、町の社会教育に関わらないことかもしれません、学校体育と社会スポーツとの関係です。学校体育のうち、中学校の部活動の指導で、教員の過重労働が話題になってきています。明治以来、日本のスポーツは、学校から始まつたために今日に至っても、学校に依存する傾向があります。スポーツに関して、思い切って学校から切り離し、すべての世代のスポーツを社会教育として捉えなおすことはできないでしょうか。このまま少子化が進むと、学校の施設にも余剰が生じることもあるかと思います。そうなれば屋内・屋外のスポーツ施設をもち、教室等もスポーツ施設に容易に転用できることから、施設については新たに用意する必要はないのです。後は指導者の問題です。町民のボランティアによる指導も考えられますが（スポーツ少年団の指導は多くの場合そういう例が多いかと思います）、ボランティアの指導では限界があります。専門の教育を受けた指導者を雇用するのが一番です。日本の体育大学の卒業生のほとんどが、学校の体育の先生になるか、スポーツ関係の企業に就職しているものと思われます。また、日本を代表するレベルのアスリートも競技生活が終わったら、何をして生活の術を得ようかと思案していること思います。指導者の潜在供給先は十分にあると考えています。余市町だけで考えることは困難かと思いますが、体育協会を法人化して、町の予算と民間の寄付等を財源にして、幼児から老人までの生涯スポーツ推進の組織を作ることを考えてもいいのではないかと思っています。</p>	<p>学校教育における部活動の比重も変化してきていると感じております。日本では、学校教育の一環として部活動が取り組まれ、学校単位での活動が成り立っていましたが、今や学校を跨いだ活動へシフトされてきています。青少年期における部活動の在り方、指導体制や施設など、さまざまな条件整備が必要と思われますが、非常に貴重なご意見と考えます。</p> <p>社会教育の立場から、生涯スポーツ・健康づくりについて、状況の変化や現状の把握に努め、事業推進に反映すべく、取り組んでまいります。</p> <p>ご意見と致しましては、ほかの担当課及び団体に関わる部分や連携が必要なことが多くあることから、関係する課及び団体への貴重な意見として取扱いをさせていただきます。</p>	E

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
15	<p>計画案を読んで、実態把握と分析、今後の課題などの確に記述されていると思いました。時々あらわれる「飽きさせないように」という表現が少々気になりました。</p>	<p>ご意見をいただいた文言につきましては、成人教育の現状と課題の6行目の「飽きさせないよう」については削除とさせていただきます。また、同じ頁の12行目から13行目につきましては、上記文言を「より充実した講座内容となるよう」に替えさせていただきます。</p>	A

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
16	少子高齢化が進んでいる余市町でも、今後社会教育の分野の重要性はより高まるものと思われます。東川町のように、子育てを核にした町づくりを実践し、若年層を中心に人口増を実現した前例などが参考になるのではないかでしょうか。町全体の施策と連動し、十分な予算と人員が確保され、社会教育が一層充実していくこと「余市は子育てに、住民活動に力を入れて、住みやすい町」といわれるようになってほしいと思います。せっかくできた「計画」が実現されていくことを願っています。	子育て支援・家庭教育につきましては、本計画に基づき、各振興方策に取り組みながら、社会教育を推進して参りたいと考えています。少子化と人口減少につきましては、将来を見据え町の重要な案件として検討していかなければいけないことと考えます。	D

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
17	成人教育について、公民館文化教室（英会話）に継続して参加している者の感想です。英会話教室については、ALTの力量と努力もあり、毎回新メンバーが加わることで刺激があり、とても楽しく活発な活動が行われています。町（公民館）の事業として提供されているのはとても有意義で、ありがたいことなので、ぜひ今後も継続を希望します。 文化教室についての記述では、「参加者の固定化」や「講師探しの難しさ」が課題としてあげられています。講座の開設までには様々なご苦労があるものと思いますが、予め町民のニーズを探る試み、事前の講師発掘など、広く情報を集めることで、次の展望が見えてくるのではないでしょうか。余市町内にも、まだまだ埋もれた人材がいることでしょうし、小樽市に広げて情報をとったら、新展開が見えるのではないかと思います。	公民館文化教室に参加いただき誠に有難うございます。今後とも英会話教室を継続して実施していくように努めてまいります。 町民に満足いただける教室の実施に向け、計画策定に当たり、町民へのアンケート調査を実施いたしました。そのデータに基づき、ニーズに応えるべく策定したところでございます。今後、本計画に基づき、社会教育推進に取り組んでまいります。	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
18	学校ボランティアについて、どの学校にも、それなりの潜在的なニーズはあるものと思われます。以前よく言われた「学社連携」がうまく行ってないので、需要と供給のどちらも低調になるのではないかでしょうか。誰が、どうつなぐか、社会教育のコーディネーターとしての役割が問われている場面だと思います。先日、NHKEテレの「うわさの保護者会」で、(たしか神戸で) 500人程の学校ボランティアがいて、すべての小学校に複数配置しているという例が紹介されました。元々は発達障害のある子どものサポートを主眼にスタートしたそうですが、障害のある無しに関わらず、子どもの心の安定に寄与している様子でした。年10回のボランティア講習を受け、登録する。小学校から中学校にも広がっているという報告でした。支援員を含む教員とは別に、見守りを中心とした活動ですが、マンパワーの重要性がよくわかりました。参考になるかと思います。	ご意見は、社会教育が実施している学校支援地域本部事業に関する考え方です。学校と社会教育が連携を図りながら実施することが大切なことから、NHKEテレの事例なども含め、今後の運用にあたり参考とさせて頂きます。	D

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
19	<p>子育て支援・家庭教育について、図書館をベースにした様々な活動がすばらしいと思います。後志の中で最初の町立図書館であることも誇らしいですが、その後も継続して様々な企画に取り組み、実践していることに敬意を表します。特に、絵本の作者本人を招いての講演会は貴重な体験でした。また、企画して欲しいです。</p> <p>「子育てサークルとの関わりは・・強化が必要です。」の部分は全く同感です。社会教育の本来の役割として、自主的、自発的な活動を支えることは、とても重要です。その際のスタンスは、してあげることより、コーディネートとして、人と人を繋げる、グループとグループを出合わせることが、これから求められていると思います。今後も中期計画や推進事業計画を基に、小中学校までの子どもを対象として、図書館を中心とする活動を着実に実践していってほしいと思います。</p>	<p>図書館で実施しました講演会に参加頂き有難うございます。今後も利用者の皆様に満足のいただける事業を進めて行ける様努めてまいります。</p> <p>また、子育てサークルへの強化につきましては、本計画に基づき、各振興方策を進めるとともに、小中学校と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。</p>	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
20	今後は、少子高齢化など様々な課題が山積しておりますが、推進目標に記載されているように、健やかな心身を育み、やさしさと生きがいが実感できるよう社会教育の推進が実現されるよう期待しております。	本計画に基づいて、各施策にしっかりと取り組み、社会教育の推進を図ってまいります。	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
21	子どもが自然とふれあうイベント等がもっとあるといいと思います。	青少年教育における施策にて、取組みを検討させて頂きます。	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
22	<p>中学生になっても、図書館へは小学校の遠足等でしか行ったことがなく、利用のしかたがよく分からぬといふことが少なくないようです。また、行ってみたところで、児童書の棚を見たらいいのか、大人の棚を見たらいいのか、迷うということもあるようです。中学生くらいの子供たちに、図書館のカウンターでの利用者カードの作り方、パソコンでの検索のしかた、読みたい本のリクエストのしかたなど、教える機会があるとよいと思います。夏休みや、冬休みの前に、余市町図書館が選んだ「中学生はこれを読め」のようなりストを学校を通して配付するなどのアプローチもあると思います。その場合、その本がどの棚にあるかがわかるような工夫もいるでしょう。児童書と一般書の垣根を越えて、幅広く本に出会えていくように手助けをお願いしたいと思います。</p>	<p>図書館事業に、「図書館探検キッズ隊」と題し、図書館での体験学習や、「めざせ！図書館の達人」事業では、職員によるパソコンでの検索、本探しのコツなど利用指導を実施しており、十分に事業周知を図り、取り進めてまいります。また、リストに関しても、中学校との連携を図り、検討させて頂きます。</p>	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
23	<p>私が勤務している町には、文化センターの中に町の図書館（図書コーナー？）が存在するものの、特に担当者がいるわけでもなく、借りたいと思うような本もほとんどなく、とにかく、立ち寄ってみようという気にさえならない…というのが現状です。</p> <p>学校でも、毎年町の予算で図書を購入していますが、年間の予算が限られていますので、購入できる数も当然限られてしまいます。子どもたちに少しでも多くの本に触れさせたいという思いで、今年度は、学校間で本を借り合うといった取り組み（一部の学校で）もスタートさせたところです。</p> <p>そこで、具体的な施策の中にある「移動巡回文庫、動く図書館の充実」「ブックイベントの実施」と関連すると思うのですが、このような施策を範囲を広げて、余市町外の小中学校も対象に実施していただけないものでしょうか。学期に一度でも学校の方に来ていただけると、子どもたちの読書への関心もさらに高まることと思います。ぜひご検討ください。よろしくお願いします。</p>	<p>「移動巡回文庫、動く図書館」につきましては、他町村へ出向くことは難しいと思いますが、他町村の学校から学習活動として、毎年来館があり、図書館の案内を行なっております。また団体貸出として、近隣の町外学校から要望があれば貸出も行っており、これらの事業につきましても、しっかりと取り組んでまいります。</p>	B

NO	ご意見等の概要	ご意見等に対する教育委員会の考え方	区分
24	<p>図書館の活動に関して一言申し上げます。ITの発達、特に電子書籍の出現に伴い、本が直かに読む文化が大きく衰退しております。読書は「精神の健全化を促すスポーツ」と捉えています私は、これは早急に是正すべき問題と考えます。他の自治体では、指定管理方式で、民間と連携したり、試行錯誤も色々漏れ聞こえますが、どちらにしましても現場の人々（図書館の方々）こそ、重大事とお考えのことでしょう。読書は薄暗くアガデミックな空間で成すべきという既定概念を破つることです。そこで御提案いたします。</p> <p>晴れた日には、庭の木蔭で池の噴水の静かな水音を聴きながら、雨天の時は高い天井の広間で、そして冬の寒さの日は、炎立つ薪ストーブの前で読書に親しむというのは、心落ち着くものです。現に私自身が貴館より貸し出した書籍は、そのようにして楽しんでおります。このような場所へ、移動図書館を企画なさいませんか。</p>	<p>「移動巡回文庫、動く図書館」につきましては、現在は小学校、介護施設等の稼働となっております。巡回文庫には、かなりの作業量が伴うことから、計画的な稼働が必要となってきます。現在も、子ども対象ではありますが、野外のおはなし会など、環境を変えた取り組みも実施しております。今後の移動図書館の企画として、参考とさせて頂きます。</p>	D

余 教 社 号
平成 30 年 12 月 26 日

余市町社会教育委員の会議
委員長 金澤 治様

余市町教育委員会
教育長 佐々木 隆

第6次余市町社会教育中期計画案の策定について（諮問）

このことについて、次のとおり理由を付して諮問いたしますので、答申くださいますようお願ひいたします。

（理由）

余市町教育委員会は、第5次余市町社会教育中期計画を指針として、社会教育の振興に努めてまいりました。

この間社会情勢は、少子高齢化が益々進み、人口減少は地域社会の取り巻く環境や生活意識にも、大きく影響を及ぼしております。

いま、第5次余市町社会教育中期計画の最終年次にあたり、このように社会が急激に変化する中で、町民が生涯にわたって学習活動が続けられる、生涯学習社会の実現に向けて、計画的な事業推進を図る必要があります。

このことから、町民が学習した成果を社会に活かしながら、幸せを実感できる生涯学習社会を実現することを目的として、社会教育中期計画の見直しを進め、平成31年度以降の適切な推進方策を導き出すため「第6次余市町社会教育中期計画」の策定について諮問いたします。

○計画策定の観点

余市町社会教育振興のための社会教育中期計画について

- ① 余市町の社会教育の現状と課題について
- ② 今後の余市町の社会教育振興方策について

○計画の期間

平成31年4月から平成36年3月（5ヶ年間）

余社委第1号
平成31年1月11日

余市町教育委員会
教育長 佐々木 隆 様

余市町社会教育委員の会議
委員長 金澤治

第6次余市町社会教育中期計画について(答申)

平成30年12月26日付けで諮問のあった「第6次余市町社会教育中期計画案」について別添のとおり答申します。

記

第6次余市町社会教育中期計画の策定については、余市町民憲章の精神を踏まえ、第4次余市町総合計画における目標である「住み良く安心して暮らせる元気なまち」にふさわしい生涯学習社会の実現をめざして、社会教育委員の会議において第5次余市町社会教育中期計画の反省評価や社会教育の現状と課題、更には長期的な視野に立った施策のあり方について審議を重ね、その結果を本答申としてまとめました。

今後の社会教育の推進にあたっては、本答申の趣旨が生かされ、また、町民のニーズに対応した社会教育が更に発展し、町民の主体的な学習活動に寄与されますことを期待いたします。

第6次余市町社会教育中期計画策定経過

年月日	策定経過
平成30年 5月18日	教育委員会5月定例会にて計画を策定する議案を提出
5月21日	余市町議会総務文教常任委員会へ計画策定の概要、スケジュール報告
5月24日	第1回作業部会
6月 7日	第2回作業部会
6月14日	余市町図書館協議会へ計画策定の概要、意見聴衆
6月25日	第3回作業部会
6月26日	教育委員会6月定例会へ町民意識調査（アンケート）議案を提出
7月 2日	町民意識調査（アンケート）実施 7月2日～31日
7月 3日	余市町文化財関係施設管理運営委員会及び余市町文化財専門委員会へ計画策定の概要、意見聴衆
9月10日	スポーツ推進員会議へ計画策定の概要、意見聴衆
9月17日	第4回作業部会
10月 4日	教育委員会10月臨時会にて計画案の承認
10月 9日	余市町議会総務文教常任委員会へ計画案の報告、パブリックコメント実施予定報告
11月 1日	パブリックコメント実施 11月1日～30日
11月22日	第2回社会教育委員の会議において計画案の提示
12月11日	第5回作業部会、パブリックコメント集計結果と計画素案作成
12月22日	教育委員会12月定例会にパブリックコメント結果報告、計画案決定及び諮問の承認
12月26日	教育委員会教育長から社会教育委員長へ諮問 第3回社会教育委員の会議において計画案の協議、答申の承認
平成31年 1月11日	社会教育委員長から教育委員会教育長へ答申
1月18日	教育委員会1月定例会において、答申の報告及び計画の決定
1月30日	余市町議会総務文教常任委員会へ計画決定の報告
3月26日	第4回社会教育委員の会議へ計画を報告
4月～	パブリックコメント結果及び計画、町民及び関係機関へ周知